

8

令和7年度

主要な施策の成果に関する報告書

< その2 >

多賀城市まちづくり報告書

(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

令和8年9月

多 賀 城 市

目 次

8<その2>

この報告書は、3分冊で構成されています。この冊子は「8<その2>」です。

IV	多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)	5
1	多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは	
(1)	施策別評価の概要	7
2	全体の動向	
(1)	将来都市像指標のうごき	8
(2)	指標全体のうごき(施策・基本事業別)	8
(3)	政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)	9
(4)	指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)	10
(5)	政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)	11
3	施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)	
(1)	施策・基本事業評価の見方	12
	政策1 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり(安全安心)	15
	政策2 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり(健康福祉)	27
	政策3 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化)	51
	政策4 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり(生活環境)	67
	政策5 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気)	81
	政策6 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり(地域創生)	93
	政策7 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営(行財政経営)	101
	(参考)多賀城市まちづくりアンケート調査結果<令和7年度実施>	113

この「主要な施策の成果に関する報告書」は、第六次多賀城市総合計画に基づく令和7年度の事業と決算のあらましについて、3分冊で構成されています。

7<その1>では、「各会計の決算概要」を掲載しており、あわせて参考資料も掲載しています。
8<その2>では、「多賀城市まちづくり報告書」として施策・基本事業の動向等を掲載しています。

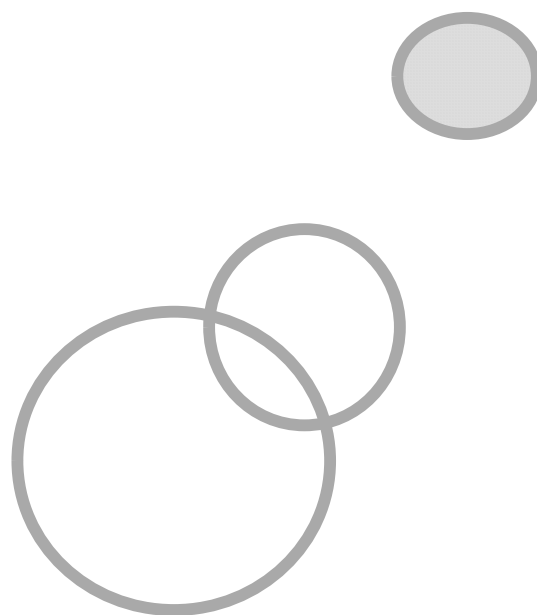
9<その3>では、実施計画事業及び主要事業の「事務事業評価表」を掲載しています。

この報告書は、市民と行政とがまちづくりの進み具合を共有するための資料として作成し、公表しています。

なお、すでに公表している令和6年度までの本報告書については、市ホームページでもご覧いただけます。

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書

（第六次多賀城市総合計画進捗状況報告）



Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

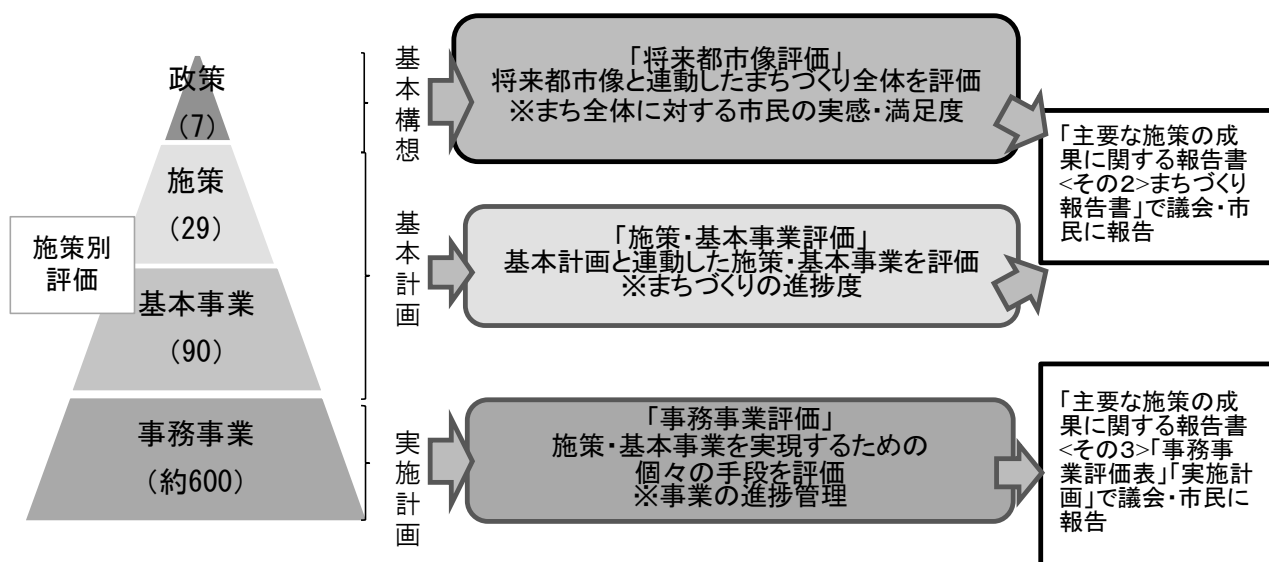
1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和7年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政経営資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



(1) 施策別評価の概要

① 施策別評価とは

施策別評価は、階層分けした施策及び基本事業について、指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を施策ごとに示すものであり、これにより総合計画の進捗状況等を明らかにするとともに、その評価結果を次の施策や事業展開に活かしていくこととしています。

施策や基本事業に対して、その目的がどの程度達成されたのかを測るものさしとして「指標」を設定し、成果状況を数値で表すことで、総合計画の進捗状況や事業の成果状況を客観的に把握し、分析していくこととしています。

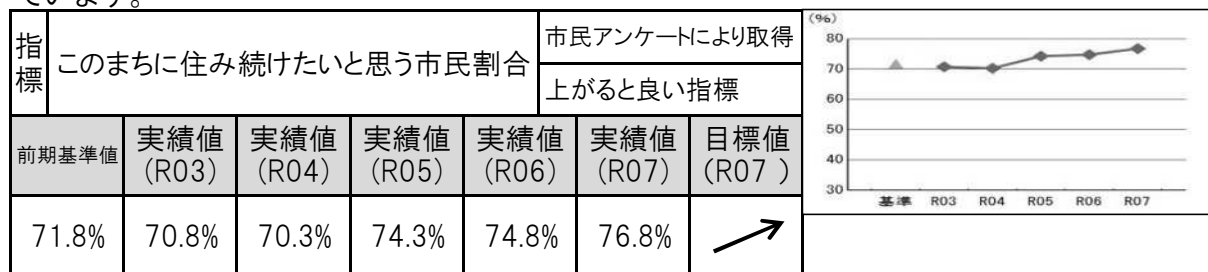
② 指標のうごきからみるまちづくりの状況

施策・基本事業の指標の動向を前期基準値に対する「指標のうごき」で捉えるとともに、指標の令和7年度前期目標値に対する「目標達成度」を捉えることとし、これらをもとに総合計画の進捗状況を示しています。

2 全体の動向

(1) 将来都市像指標のうごき

本市の将来都市像「日々のよこびふくらむまち 史都 多賀城」実現に向けたまちづくり全体の達成状況とまち全体に対する市民の実感・満足度を測るものとして、次の指標を設定しています。



(2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)

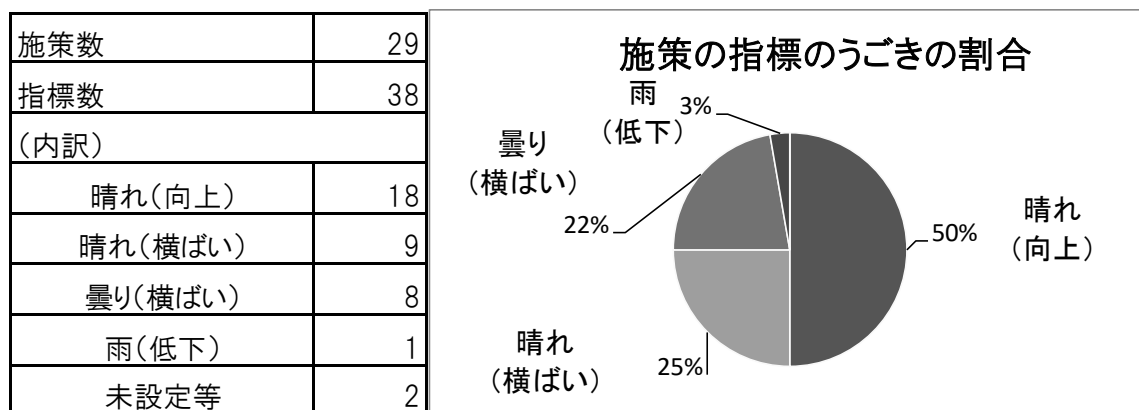
指標のうごきは、指標の前期基準値からの推移状況をもとに下表のとおりです。「晴れ(向上)」、「晴れ(横ばい)」、「曇り(横ばい)」、「雨(低下)」の4段階の区分で表しています【13ページ「指標のうごき」参照】。

施策と基本事業の「指標のうごき」の状況は下図のとおりとなっています。

成果が向上している主な施策・基本事業の指標は、「市民が第1当事者となった交通事故発生件数」、「認知症の方への対応方法を知っている市民数」、「運動・スポーツ機会に満足している市民割合」、「活用されている文化財の面積」、「市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合」、「快適な生活環境になっていると思う市民割合」、「市民1人当たり年間最終処分量(家庭ごみ)」、「まちの景観に満足している市民割合」、「水道管耐震化率」、「遊休未利用農地面積」、「市の創業支援を受けて創業した人の数(累計)」、「新たな魅力が創出された地域資源等の個数(累計)」、「まちづくりへの意見を伝える機会や手段に満足している市民割合」、「組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合」、「効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合」です。

成果が低下している主な施策・基本事業の指標は、「学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている生徒の割合(中学生)」、「市内所在の文化財等訪問者数」、「市内の飲食店を利用する市民割合」、「地域自治活動に参加している市民割合」、「自治会・町内会の加入率」です。

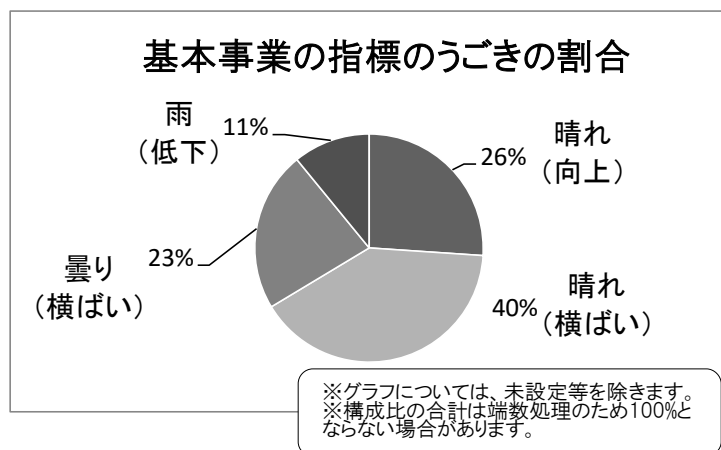
① 施策数、指標数及び指標のうごきの割合等



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

②基本事業数、指標数及び指標のうごきの割合等

基本事業数	90
指標数	142
(内訳)	
晴れ(向上)	31
晴れ(横ばい)	48
曇り(横ばい)	27
雨(低下)	13
未設定等	23



(3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の指標のうごきの状況は下図のとおりとなっています。

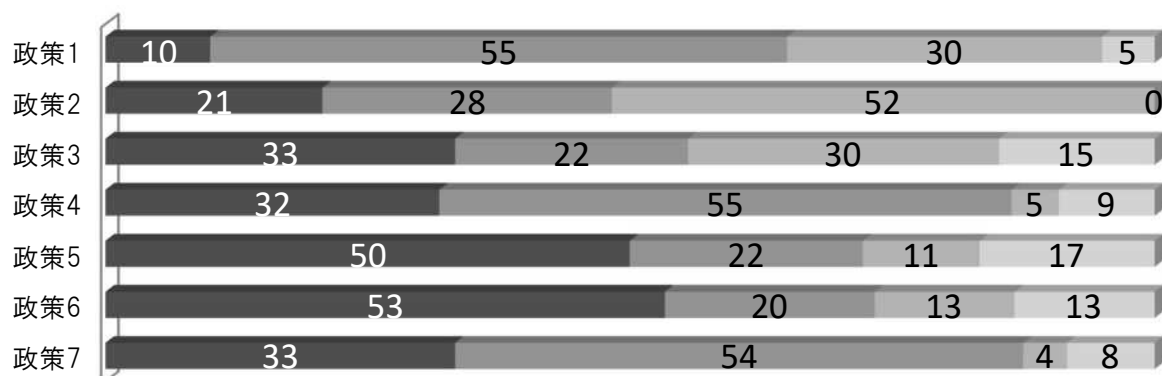
◎施策・基本事業の指標数及び指標のうごき

	晴れ(向上)	晴れ(横ばい)	曇り(横ばい)	雨(低下)	未設定等	計
政策1	2	11	6	1	0	20
政策2	6	8	15	0	13	42
政策3	9	6	8	4	2	29
政策4	7	12	1	2	4	26
政策5	9	4	2	3	0	18
政策6	8	3	2	2	0	15
政策7	8	13	1	2	6	30
計	49	57	35	14	25	180

単位:%

施策・基本事業の指標のうごきの割合(政策別)

■ 晴れ(向上) ■ 晴れ(横ばい) ■ 曇り(横ばい) ■ 雨(低下)



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%
としない場合があります。

(4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)

指標の令和7年度における前期計画目標値への目標達成度を、「達成(前期目標値を達成しているもの)」、「高(前期基準値からの前期目標値に対する達成度合いが8～9割程度であったもの(前期基準値より悪化・低下したものを除く)及びアンケート指標について統計誤差の範囲であったもの)」、「低(達成と高に該当しないもの)」の3段階の区分で表しています【13ページの目標達成度参照】。

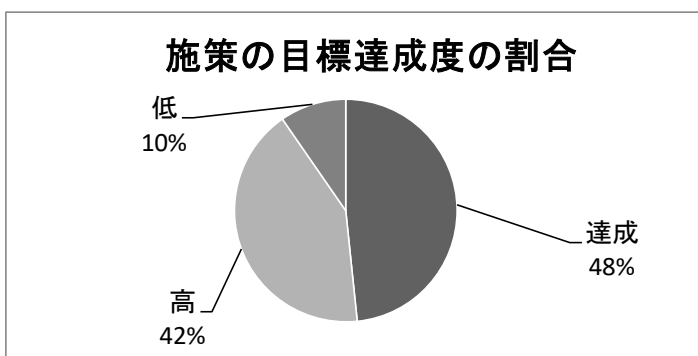
施策と基本事業の「目標達成度」の状況は、下図のとおりとなっています。

前期目標値を達成している主な施策・基本事業の指標は「教育・保育施設等の待機児童数(国定義)」、「国民健康保険税の現年度収納率」、「運動・スポーツ機会に満足している市民割合」、「市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合」、「快適な生活環境になっていると思う市民割合」、「まちの景観に満足している市民割合」、「まちづくりへの意見を伝える機会や手段に満足している市民割合」、「例月出納検査の指導件数割合」、「職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合」、「組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合」、「研修受講等によって、能力等の向上が図られたと思う職員割合」、「能力等を発揮し、意欲的に業務に取り組める職場だと思う職員割合」、「健康で安心して働くことができると思う職員割合」、「企業債残高対給水収益比率」、「効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合」です。

前期目標年度で達成することが難しかった主な施策・基本事業の指標は、「災害用備蓄品の備蓄率」、「自分の子ども(乳幼児)に対して、育てにくさを感じている保護者割合」、「市内所在の文化財等訪問者数」、「市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数」、「市内の飲食店を利用する市民割合」、「地域自治活動に参加している市民割合」、「経常収支比率(水道事業)」です。

①施策数、指標数及び目標達成度の割合等

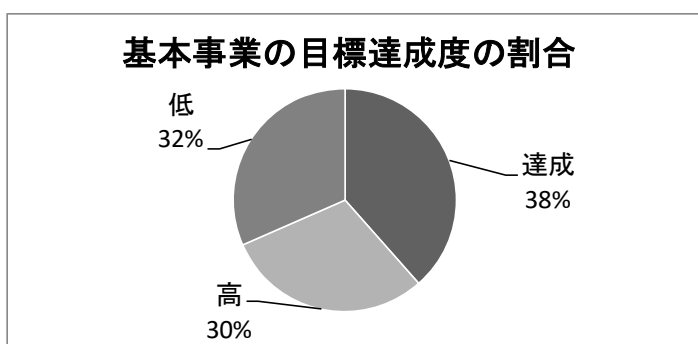
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
達成	15
高	13
低	3
未設定等	7



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

②基本事業数、指標数及び目標達成度の割合等

基本事業数	90
指標数	142
(内訳)	
達成	45
高	35
低	37
未設定等	25



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

(5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

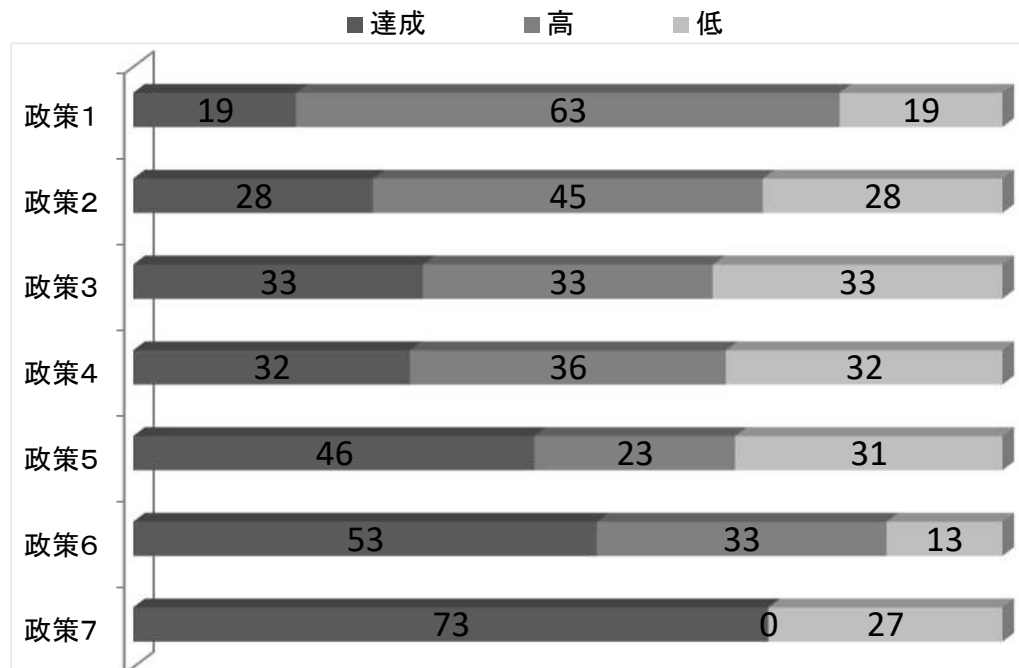
施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の目標達成度の状況は下表のとおりとなっています。

◎施策・基本事業の指標数及び目標達成度(政策別)

	達成	高	低	未設定等	計
政策1	3	10	3	4	20
政策2	8	13	8	13	42
政策3	9	9	9	2	29
政策4	7	8	7	4	26
政策5	6	3	4	5	18
政策6	8	5	2	0	15
政策7	19	0	7	4	30
全体	60	48	40	32	180

単位:%

施策・基本事業の目標達成度の割合(政策別)



※グラフについては、未設定等を除きます。
 ※構成比の合計は端数処理のため100%とならない場合があります。

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができます。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果：目指す姿の達成度を示すもの

社会：事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替：成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート：毎年定期的に市民3,000人を対象に行う多賀城市まちづくりアンケートにより取得する方法

職員アンケート：毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得：業務内で取得する方法

課独自調査：指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い：数値が上がると良い指標

下がると良い：数値下がると良い指標

その他：数値の増減で良し悪しを判断できない指標

【担当部署】令和8年度担当部署を記載しています。

【前期基準値】

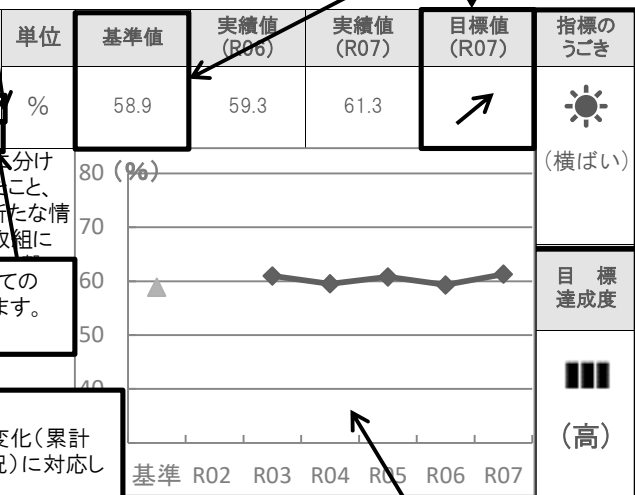
原則として、次のような取得年度となっています。これ以外の年度に取得している場合には、評価欄に記載しています。

市民アンケート、職員アンケート指標：令和2年度に取得
業務取得、課独自調査指標：平成31年度に取得

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合

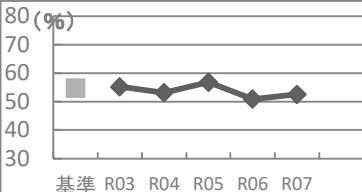
① 成果 市民アンケート 上がると良い 危機管理課



【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

基本事業の成果状況は、はじめりが右側のページとなるよう調整しています。

施策評価と見方は一緒です。

基本事業01 地域防災力の促進(自助・共助)										
指標 ①	災害への備えをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	54.8	50.9	52.5	➔	
	災害への備えを4つ以上していると回答した市民割合									
評価	(原因)防災ハザードマップや総合防災訓練、広報多賀城、出前講座などを通じて、備えの重要性について周知啓発を図っているところですが、令和7年10月1日に発生した大雨被害により、実被害が生じたことから、日ごろの備えに不足、不安を感じた住民等がいたことなどが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(横ばい)
										目 標 達 成 度
										 (高)

【目標値】
目標値は、次の3つのパターンで表しています。
数値：業務データから現状値を把握するもの
矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握、取得方法変更等)と現状維持のもの
※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表しています。
ー：指標区分が「社会」のものと及び目標設定がなじまないもの

【指標のうごき】
前期基準値(又は取得初年度)と比較した際の令和7年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。
なお、市民アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。
☀(向上)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ向上しているもの
☀(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微向上(横ばい)であるもの
☹(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微低下(横ばい)であるもの
☹(低下)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの
ー：累計以外で前期基準値がないもの、令和7年度に実績値がないもの、指標特性が「その他」のもの、取得初年度のもの
※累計については、目標値に対する数値(成果)の進捗状況に応じて、区分しています。

【目標達成度】
成果指標の令和7年度の前期目標値への達成度合いを示しています。
👑 (達成)：前期目標値を達成しているもの
👑 (高)：前期基準値からの前期目標値に対する達成度合いが8～9割程度であったもの(前期基準値より悪化・低下したものを除く)及びアンケート指標について統計誤差の範囲であったもの
👑 (低)：達成と高に該当しないもの
ー：前期目標値が「ー」のもの、令和7年度に実績値がないもの

政策1

みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり
(安全安心)

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	58.9	59.3	61.3	➔		
評価	(原因) 地域の自主防災組織の活動や市内を3ブロックに分けて実施するブロック地区訓練を総合防災訓練に導入したこと、災害情報を発信するため防災行政無線(同報系)の更新や新たな情報発信手段である多賀城市防災ビジョンの運用などの取組により、本市の防災・減災体制に対して一定の理解や安心に繋がっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07						(横ばい)
										目標達成度	
											(高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域防災力の促進（自助・共助）

指標①	災害への備えをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	54.8	50.9	52.5	→	
評価	災害への備えを4つ以上準備していると回答した市民割合									 目標達成度 (高)
	(原因) 防災ハザードマップや総合防災訓練、広報多賀城、出前講座などを通じて、備えの重要性について周知啓発を図っているところですが、令和7年10月1日に発生した大雨被害により、実被害が生じたことから、日ごろの備えに不足、不安を感じた住民等がいたことなどが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業01 地域防災力の促進（自助・共助）

指標②	災害時に地域で助け合いができると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	57.4	58.2	60.2	→	
評価	災害時に地域で助け合いができると思う市民割合									 目標達成度 (高)
	(原因) 総合防災訓練を通じて、地域の自主防災組織の活動機会が創出され、共助の意識が高まっていることや令和7年10月1日に発生した大雨被害により、地域で災害について向き合うきっかけが生じたことなどが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業02 公的機関防災体制の確保（公助）

指標①	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	危機管理課	%	100	98.9	99	→	
評価	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員割合									 目標達成度 (低)
	(原因) ほぼすべての職員が、災害時に行うべき初動体制や果たすべき役割について、総合防災訓練や現地班職員研修などを通じて理解浸透を図ったことが要因と考えられます。									

基本事業02 公的機関防災体制の確保（公助）

指標②	災害用備蓄品の備蓄率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	危機管理課	%	100	76	81.6	→	
評価	必要数を超えている場合、備蓄率は100%と表現									 目標達成度 (低)
	(原因) 令和4年度に宮城県が公表した津波浸水想定により、避難者想定人数が増えたことから、令和5年度に備蓄食料の目標数量を72,000食から198,000食に見直したことが要因です。保存年限を考慮しながら毎年度計画的に備蓄しています。 ※備蓄率の推移計画 令和7年度 82% 令和8年度 88% 令和9年度 96% 令和10年度 100%									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 災害経験の伝承

指標①	市民に災害経験を伝承する機会を設けた数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	危機管理課	回/年	5	11	12	5	☀ (横ばい)
評価	(原因) 全国各地で発生している地震、津波、風水害、火災などの災害を目の当たりにし、出前講座等を通じて、過去の災害経験を振り返り、事前防災に活用しようとしていることが要因と考えられます。									目標 達成度
										☀ (達成)

基本事業03 災害経験の伝承

指標②	災害の経験を周囲に伝えている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	69.2	64.8	65.1	➡	☁ (横ばい)
評価	(原因) 東日本大震災の発生から15年が経過し、一つの節目の年となったことで、当時の体験等を振り返る機会が一定程度創出されたものと思われそうですが、時代の変化、人の移り変わりなどもあり、震災経験の伝承と記憶の継承が少しずつ難しくなっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標 達成度
										■■■ (高)

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 02 防犯対策の推進

施策の目指す姿

犯罪に関する総合的な取組が進み、市民一人ひとりの防犯意識が高まることで、みんなの力で犯罪に遭わない、起こさせない地域が形成され、安全・安心して暮らすことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	刑法犯認知件数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	480	291	251	—	☀️ (横ばい)														
評価	暦年での件数				(件/年) <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>480</td></tr><tr><td>R03</td><td>291</td></tr><tr><td>R04</td><td>251</td></tr><tr><td>R05</td><td>380</td></tr><tr><td>R06</td><td>280</td></tr><tr><td>R07</td><td>251</td></tr></tbody></table>						年次	件数	基準	480	R03	291	R04	251	R05	380	R06	280	R07	251
	年次	件数																						
基準	480																							
R03	291																							
R04	251																							
R05	380																							
R06	280																							
R07	251																							
	(原因) 防犯ボランティア・警察と連携した地域のパトロールや、乗物盗を減少させるための啓発活動を継続してきたことが要因と考えられます。				🎯 目標達成度 ---																			

指標②	犯罪が少なく、安心して暮らせる地域になっていると思う市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき															
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	79.2	81.4	83.3	➔	☀ (横ばい)															
評価	(原因) 地域のボランティアの見守り活動や防犯パトロール等の啓発活動を継続してきたことや、刑法犯認知件数が減少していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>79.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>81.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>81.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>83.3</td></tr><tr><td>R06</td><td>83.3</td></tr><tr><td>R07</td><td>83.3</td></tr></tbody></table>						項目	値 (%)	基準	79.2	R03	81.4	R04	81.4	R05	83.3	R06	83.3	R07	83.3	■ (高)
											項目	値 (%)													
基準	79.2																								
R03	81.4																								
R04	81.4																								
R05	83.3																								
R06	83.3																								
R07	83.3																								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域ぐるみでの防犯体制の促進

指標①	防犯対策に取り組んでいる市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	70.9	69.4	71	➔	☀ (横ばい)
評価	防犯対策を2つ以上していると回答した市民割合									☀ (横ばい)
	(原因) 大半の市民が自宅の戸締りを実施しており、それ以外にも、暗い夜道など人通りの少ない道を回避するなどの防犯対策に継続して取り組んでいることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度 ■■■ (高)

基本事業01 地域ぐるみでの防犯体制の促進

指標②	防犯活動に取り組んでいる市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	24.6	21.8	20.5	➔	☁ (横ばい)
評価	防犯活動に取り組んでいる市民割合									☁ (横ばい)
	(原因) 防犯パトロールや防犯講習会などの防犯活動は定期的実施しているものの、地域での防犯活動の参加者が減少傾向であり、ライフスタイルの変化により防犯活動に参加する時間の確保が困難な市民が増えていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 防犯機能を有する施設・設備の保全と整備

指標①	防犯機能を有する施設・設備の整備件数 (累計)				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	危機管理課	件	—	35	53	60	☀ (横ばい)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計。防犯街路灯と防犯カメラの合計									☀ (横ばい)
	(原因) 防犯街路灯補助制度によって、自主的に防犯機能を有する施設や設備を設置する地域が増加していることが要因です。									目標達成度 ■■■ (高)

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策 03 安全な消費生活の確保

施策の目指す姿

消費生活に関する知識を深めることで自立した消費者が増え、かつ、相談体制を整備することで消費者トラブルが減少し、安全で安心な消費生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	消費者トラブルに遭った市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	下がると良い	地域コミュニティ課	%	9	12.5	11.6	➡	
評価	(原因) トラブルはないという回答が最も多く8割を超えているものの、何らかのトラブルにあったことがあるとの回答が基準値を超えており、電話勧誘販売やインターネット通信販売、携帯電話アプリに伴うトラブルにあったという回答が多くなっています。これは手口が複雑・巧妙化し、また情報が氾濫する中で年齢を問わず正確な判断が難しくなっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 目標 達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消費生活情報の発信

指標 ①	消費者トラブルに関する対応を知っている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	88.2	90.7	88.7	→	 (横ばい) 目 標 達成度 ■ (高)
評価										
	(原因) 昨今特殊詐欺等の事件の多発によりテレビ等報道に取り上げられる機会が増え消費者側の関心が高まっていることが要因と考えられます。また、トラブルから身を守るための消費者講座及び出前講座の開催に加え、広報多賀城・市ホームページ等で啓発に努めたことも要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業02 消費生活相談の推進

指標 ①	消費者相談で解決策を提示した割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	100	100	100	→	 (横ばい) 目 標 達成度 ■ (達成)
評価	他機関への紹介を含む。									
	(原因) 相談のあった消費生活相談の全てに解決策を提示していることが要因と考えられます。消費生活相談員が研修会へ積極的に参加することや参考図書等での事例案件を整理することで、個々の相談解決スキルの向上が図られています。									

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 04 交通安全対策の推進

施策の目指す姿

市民一人ひとりの交通安全意識とまちの交通安全環境を良好に保つことで、交通事故が減少し、安全・安心に暮らすことができています。

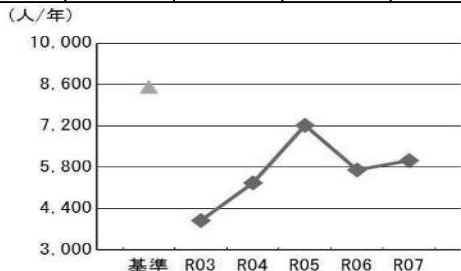
施策の成果状況と評価

指標①	交通事故発生件数（人身事故）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	178	118	119	—	☀ (向上)
評価	暦年での件数				(件/年)					目標 達成度
	(原因) 警察による取り締まりや交通安全関係団体と連携した啓発活動により市民一人ひとりの交通安全に対する意識が高まっていることが要因と考えられます。									—

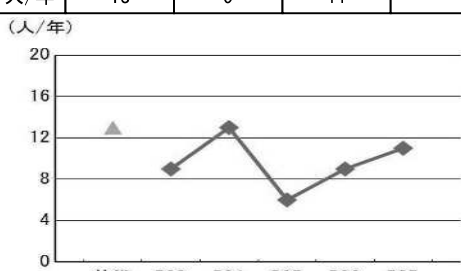
指標②	市民が第1当事者となった交通事故発生件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	169	122	106	—	☀ (向上)
評価	暦年での件数				(件/年)					目標 達成度
	(原因) 警察による取り締まりや交通安全関係団体と連携した啓発活動により市民一人ひとりの交通安全に対する意識が高まっていることが要因と考えられます。									—

□基本事業の成果状況と評価

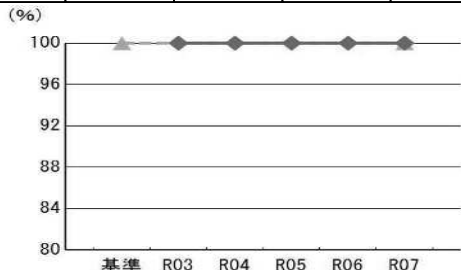
基本事業01 交通安全情報の発信

指標①	交通安全啓発活動人数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	上がると良い	危機管理課	人/年	8,528	5,711	6,028	➡															
評価	(原因)交通安全関係団体による交通安全啓発活動、小学生の登下校時におけるパトロール活動などを定期的を実施していますが、活動参加者の負担軽減を図るため活動内容を見直して効率的に実施し、参集人数を減らしたことが要因と考えられます。				(人/年)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>8,528</td></tr><tr><td>R03</td><td>5,711</td></tr><tr><td>R04</td><td>6,028</td></tr><tr><td>R05</td><td>7,200</td></tr><tr><td>R06</td><td>5,800</td></tr><tr><td>R07</td><td>6,028</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	8,528	R03	5,711	R04	6,028	R05	7,200	R06	5,800	R07	6,028
											項目	値												
基準	8,528																							
R03	5,711																							
R04	6,028																							
R05	7,200																							
R06	5,800																							
R07	6,028																							
					目標達成度 ■■■ (低)																			

基本事業01 交通安全情報の発信

指標②	飲酒運転検挙者数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標の うごき														
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	人/年	13	9	11	—	(横ばい) 目 標 達成度 ---														
評 価	暦年での件数				(人/年) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>13</td></tr><tr><td>R03</td><td>9</td></tr><tr><td>R04</td><td>11</td></tr><tr><td>R05</td><td>7</td></tr><tr><td>R06</td><td>9</td></tr><tr><td>R07</td><td>11</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	13	R03	9	R04	11	R05	7	R06	9	R07	11
	項目	値																						
基準	13																							
R03	9																							
R04	11																							
R05	7																							
R06	9																							
R07	11																							
	(原因) 飲酒運転の根絶に向けて、交通安全関係団体、塩釜警察署、仙台育英学園等と連携し、継続的に交通安全啓発活動を行ったことが要因と考えられます。																							

基本事業02 交通安全環境の保全と整備

指標①	交通安全施設整備率				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	上がると良い	都市整備課	%	100	100	100	100															
評価	(原因) 定期的な道路パトロールによる危険箇所の発見、安全施設設置要望があった場合には、設置基準に基づき迅速な対応の実施及び通学路の路面標示や区画線等を適正に整備していることが要因です。				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>100</td></tr><tr><td>R03</td><td>100</td></tr><tr><td>R04</td><td>100</td></tr><tr><td>R05</td><td>100</td></tr><tr><td>R06</td><td>100</td></tr><tr><td>R07</td><td>100</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	100	R03	100	R04	100	R05	100	R06	100	R07	100	☀️ (横ばい)
										項目	値													
基準	100																							
R03	100																							
R04	100																							
R05	100																							
R06	100																							
R07	100																							
									🏰 (達成)															

政策2

健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり
(健康福祉)

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 01 地域福祉の推進

施策の目指す姿

地域で助け合い、支え合いができる環境が整うことで、誰もが心豊かで安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地域で手助けしたり、されたりする環境が整っていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	46.1	40.1	42.8	➔	
評価	(原因)「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した割合は高くなっているものの、特に10歳代から20歳代までの年代で「わからない」と回答した方の割合が増えています。地域住民同士の関係が希薄になり、地域での助け合い・支え合いのイメージを持ちにくい方が増えていることが要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域福祉意識の醸成と多様な担い手の育成支援

指標①	福祉活動に取り組む意識がある市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	50.3	52.3	47.3	➡															
評価	福祉活動とは、手助けしたり助け合う取組です。				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>50.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>50.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>52.3</td></tr><tr><td>R05</td><td>47.3</td></tr><tr><td>R06</td><td>52.3</td></tr><tr><td>R07</td><td>47.3</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	50.3	R03	50.3	R04	52.3	R05	47.3	R06	52.3	R07	47.3
	項目	値																						
	基準	50.3																						
R03	50.3																							
R04	52.3																							
R05	47.3																							
R06	52.3																							
R07	47.3																							
(原因) 10歳代から30歳代の世代において福祉活動への関心が薄く参加の意向のない方が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】																								
					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)																			

基本事業01 地域福祉意識の醸成と多様な担い手の育成支援

指標②	福祉活動に取り組んだことがある市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	8.4	8	7.6	➡															
評価	福祉活動とは、手助けしたり助け合う取組です。				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>8.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>8</td></tr><tr><td>R04</td><td>8</td></tr><tr><td>R05</td><td>7.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>7.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>7.6</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	8.4	R03	8	R04	8	R05	7.6	R06	7.6	R07	7.6	☁ (横ばい)
	項目	値																						
	基準	8.4																						
R03	8																							
R04	8																							
R05	7.6																							
R06	7.6																							
R07	7.6																							
(原因) 70歳以上の年代では高い割合になっているものの、60歳代では福祉活動を行っている方の割合が減少しました。定年延長などにより、この年代で地域での福祉活動に関わる機会が減少していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				目 標 達 成 度																				
										■■■ (高)														

基本事業02 地域で見守り合う仕組みづくり

指標①	要配慮者を助け合う仕組みが整っていると思う市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	24	20.8	21.9	➡															
評価	(原因) 20歳代から40歳代までの年代で、要配慮者を助け合う仕組みが整っていると感じている割合が低くなっています。「わからない」と回答した方が増えており、地域で助け合う仕組みについて共有できていないことが要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>24</td></tr><tr><td>R03</td><td>20.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>21.9</td></tr><tr><td>R05</td><td>21.9</td></tr><tr><td>R06</td><td>21.9</td></tr><tr><td>R07</td><td>21.9</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	24	R03	20.8	R04	21.9	R05	21.9	R06	21.9	R07	21.9	☁ (横ばい)
										項目	値													
基準	24																							
R03	20.8																							
R04	21.9																							
R05	21.9																							
R06	21.9																							
R07	21.9																							
					目標達成度 ■■■ (高)																			

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 02 健康づくりの促進

施策の目指す姿

一人ひとりが自らの健康管理や病気などの予防に取り組むことで、健康に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自分が健康だと思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	76.7	72.4	74.1	➔	
評価	(原因) 年齢を増すごとに減少する傾向が見られ、高齢化に伴って全体の割合も減少していることが要因と考えられます。健康観は体力や疾病ばかりではなく、年齢に伴う衰えによる健康不安が影響しているものと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 100 90 80 70 60 50 基準 R03 R04 R05 R06 R07					(横ばい)
										目標 達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

指標①	健康に良い生活習慣の平均実践項目数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	項目	5.72	5.62	5.49	➔	
評価	全12項目中				(項目)					☁ (横ばい)
	(原因) どの項目もわずかな減少傾向にあり、実践に至っていない実態が要因と考えられます。健康づくりに関する定期的な情報発信や定期的なイベント開催など機会の提供により、習慣が維持されているものと考えられます。									目 標 達成度 ■ (低)

基本事業01 生活習慣の改善

指標②	毎日朝食をとっている市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	71.8	70.3	71	➔	
評価	(原因) 若い世代ほど欠食率が高く、生活スタイルの多様化による時間的余裕のなさが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■ (高)

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療等の推進

指標①	定期的に健康診査を受けている市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	79.1	80.6	79.8	➔	
評価	(原因) 市ホームページやSNS等に加え、行政情報広告モニターや多賀城市防災ビジョンも活用し普及啓発の機会を増やしたことや、AI分析による受診対象者別の勧奨通知も継続して実施したことなどが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									☀ (横ばい) 目 標 達成度 ■■ (高)

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療等の推進

指標②	各種がん検診を受けている市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	63	68.5	63.7	➔	
評価	(原因) 市ホームページやSNS等の情報発信に加え、行政情報広告モニターや多賀城市防災ビジョンも活用し周知啓発の機会を増やしていますが、隔年で健診を受診することとしている方などが一定数いることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									☀ (横ばい) 目 標 達成度 ■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 母子保健の充実

指標①	乳幼児健診の平均受診率				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	子ども家庭課	%	98.6	96.1	98.1	→															
評価	指標は、集団健診の平均受診率です(個別受診数を含みません。)				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>98.6</td></tr><tr><td>R03</td><td>96.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>98.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>98.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>98.1</td></tr><tr><td>R07</td><td>98.1</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	98.6	R03	96.1	R04	98.1	R05	98.1	R06	98.1	R07	98.1
	項目	値																						
	基準	98.6																						
R03	96.1																							
R04	98.1																							
R05	98.1																							
R06	98.1																							
R07	98.1																							
(原因) 体調不良等の理由により健診当日に欠席し、対象年齢の期間中に受診できなかったことが要因と考えられます。																								
					目標達成度 ■ (低)																			

基本事業03 母子保健の充実

指標②	出産後の支援について満足している者の割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき															
	成果	課独自調査	上がると良い	子ども家庭課	%	90.9	83.7	85.6	➡																
評価	3～4か月児健診時のアンケート調査結果(産後1か月程度の支援状況)				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>90.9</td></tr><tr><td>R03</td><td>83.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>81.7</td></tr><tr><td>R05</td><td>83.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>83.7</td></tr><tr><td>R07</td><td>85.6</td></tr></tbody></table> 基準 R03 R04 R05 R06 R07						項目	値 (%)	基準	90.9	R03	83.7	R04	81.7	R05	83.7	R06	83.7	R07	85.6	(横ばい)
	項目	値 (%)																							
基準	90.9																								
R03	83.7																								
R04	81.7																								
R05	83.7																								
R06	83.7																								
R07	85.6																								
	(原因) 妊娠期から伴走型相談支援を実施していますが、産後の不安や支援ニーズの多様化が要因と考えられます。				目標達成度 (低)																				

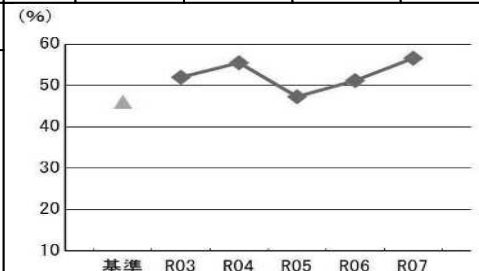
政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 03 子育て支援の充実

施策の目指す姿

子どもの育ちや子育て家庭を支える地域社会が形成されることで、不安なく子育てを行い、子ども一人ひとりが健やかに育つことができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	子育てしやすいまちであると思う保護者割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	子ども政策課	%	46.1	51.2	56.6	➔	
評価	中学生以下の子どもの保護者対象				(%)  基準 R03 R04 R05 R06 R07					
	(原因) こども医療費助成の所得制限撤廃のほか、児童手当の改正や物価高騰対策に伴う給付金等の国の政策が重なったことで子育ての経済負担が軽減されたことや、保育施設等における国定義の待機児童数が0人となったことなどが要因と考えられます。									
					☀ (向上) 目標 達成度 👑 (達成)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 親子の健やかな育ちの支援

指標①	成果	市民アンケート	上がると良い	子ども家庭課	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	妊娠や出産、子育てに関する市の相談窓口を知っている保護者の割合				%	86.4	79.6	82	➔	
評価	小学生までの子どもを持つ保護者対象									(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
	(原因) 妊娠・出産・子育てに関しては、手続きの窓口としての認識はある一方で、相談窓口としての認識が薄いことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業01 親子の健やかな育ちの支援

指標②	成果	課独自調査	下がると良い	子ども家庭課	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	自分の子ども(乳幼児)に対して、育てにくさを感じている保護者割合				%	20.7	24.3	24	➔	
評価	3歳児健診時のアンケート調査結果									(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)
	(原因) 対象指標24.0%のうち、育てにくさを「時々感じている」は23.1%、「いつも感じている」は0.9%でした。育てにくさを感じる要因は、3歳児の発達の要因や子育ての環境的要因などに加え、育児不安や理想とのギャップなど、様々な要因が複合していると考えられます。									

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

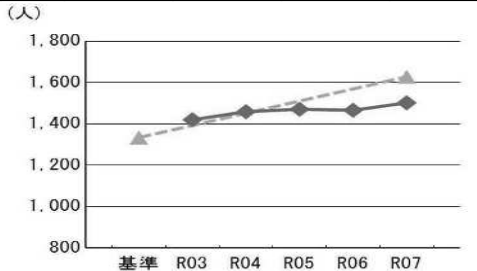
指標①	地域子育て支援拠点の利用者数					単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	上がると良い	子ども政策課		人/年	52,099	54,935	54,723	55,000															
評価	(原因) イベントの充実に努めたことで、乳幼児親子や小学生の利用が増加したことなどが要因と考えられます。					(人/年) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数 (人/年)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>52,099</td></tr><tr><td>R03</td><td>35,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>42,000</td></tr><tr><td>R05</td><td>52,000</td></tr><tr><td>R06</td><td>54,935</td></tr><tr><td>R07</td><td>54,723</td></tr></tbody></table>						年度	利用者数 (人/年)	基準	52,099	R03	35,000	R04	42,000	R05	52,000	R06	54,935	R07	54,723
												年度	利用者数 (人/年)												
基準	52,099																								
R03	35,000																								
R04	42,000																								
R05	52,000																								
R06	54,935																								
R07	54,723																								
						☀ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)																			

基本事業03 安定した保育の提供

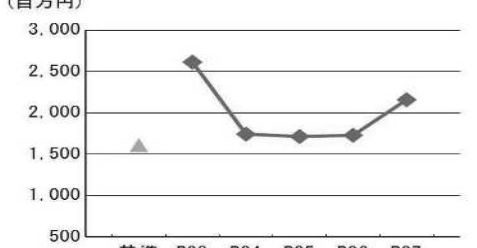
指標 ①	教育・保育施設等の待機児童数（国定義）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき													
	成果	業務取得	下がると良い	子ども政策課	人	46	1	0	0														
	各年度4月1日現在の数値				(人) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>数値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>46</td></tr><tr><td>R03</td><td>16</td></tr><tr><td>R04</td><td>12</td></tr><tr><td>R05</td><td>12</td></tr><tr><td>R06</td><td>1</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td></tr></tbody></table> (向上)						年度	数値 (人)	基準	46	R03	16	R04	12	R05	12	R06	1	R07
年度	数値 (人)																						
基準	46																						
R03	16																						
R04	12																						
R05	12																						
R06	1																						
R07	0																						
評価	(原因) 定員増となった教育・保育施設があったことにより、全体の定員数が増加したことなどが要因です。				目標達成度 (達成)																		

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 安定した保育の提供

指標②	教育・保育施設等の定員数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	子ども政策課	人	1,334	1,466	1,502	1,628	 (向上)
評価	各年度4月1日現在の数値									 (低)

基本事業04 子育ての経済的負担の軽減

指標①	子育ての経済負担の軽減総額				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	子ども政策課	百万円	1,612	1,730	2,159	—	 —
評価	(原因) 児童手当の改正や物価高対応子育て応援手当等の物価高騰対策に伴う手当があったことが要因です。									 —

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 04 高齢者福祉の推進

施策の目指す姿

高齢者が自立し、いきいきと活躍できる社会が形成されることで、生涯にわたり安心してその人らしく暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	自立高齢者の割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	%	83.9	82.5	82	82.3	(横ばい)														
評価	(原因) 介護予防事業(総合事業)の推進や、地域での介護予防活動は行われているものの、超高齢社会の進展に伴い、要介護等認定者が増加していることが要因と考えられます。				(%)<table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>83.9</td></tr><tr><td>R03</td><td>82.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>82.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>82.3</td></tr><tr><td>R06</td><td>82.0</td></tr><tr><td>R07</td><td>81.8</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	83.9	R03	82.5	R04	82.5	R05	82.3	R06	82.0	R07	81.8	目標達成度
					項目	値 (%)																		
基準	83.9																							
R03	82.5																							
R04	82.5																							
R05	82.3																							
R06	82.0																							
R07	81.8																							
					(高)																			

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生きがい活動の推進

指標①	生きがいを持っている高齢者の割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	94.2	92.9	92.5	→	
評価	(原因) 定年延長による高年齢期での活躍、家族の団らんや友人・知人との交流を中心に、社会性が維持されていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					 (横ばい)
										 目 標 達成度 (高)

基本事業02 介護予防の推進

指標①	介護保険の認定を新たに受けた市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	%	3.3	3.8	3.7	—	
評価	介護保険認定を新たに受けた人数/第1号被保険者数				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					 目 標 達成度 (低)
	(原因) 要支援1から要介護1までの認定者が増えており、日常生活動作や認知機能の一部に支援が必要な段階で、早めに通所型サービスの利用を希望する方が増えたことが要因と考えられます。									

基本事業02 介護予防の推進

指標②	介護予防のための行動平均実践項目数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	項目	6.02	5.87	5.78	→	
評価	40歳以上の市民対象				(項目) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					 (横ばい)
	(原因) 特に60歳代における項目数が減少しており、定年延長による生活変化が要因と考えられます。一方で、定期的な運動教室の実施や自宅でする介護予防の取組の発信により、活動が維持されているものと考えられます。									 目 標 達成度 (低)

基本事業03 日常生活の支援

指標①	介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	572	921	943	—	
評価	(原因) 65歳以上の人口に対する利用者割合は、前期基準値取得年度の平成31年度が3.7%、令和7年度は5.8%となっています。令和5年度以降の上昇率はほぼ一定であり、日常生活動作や認知機能の一部に支援が必要な段階で、早めにサービスの利用を始めた方が身体機能を維持していることが要因と考えられます。				(人/年) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					 目 標 達成度 (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 地域包括ケアの充実

指標①	連携している在宅医療機関、介護事業所の数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	か所	70	80	84	80	☀ (向上)
評価					(か所) 					目標 達成度
	(原因) 普段から各種事業や相談を通じて医療機関や介護事業所と顔の見える関係づくりを行っており、その一環として開催している研修会へ参加する関係機関が増えていることが要因です。									☑ (達成)

基本事業05 認知症対策の推進

指標①	認知症の方への対応方法を知っている市民数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	人	3,551	4,947	5,701	6,901	☀ (向上)
評価	認知症サポーター養成講座受講者数の累計				(人) 					目標 達成度
	(原因) 令和6年度に引き続き市内小中学校で認知症サポーター養成講座を開催したことにより、令和7年度も年度の目標値を上回る受講者数となりましたが、累計数は、新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数が低く推移した影響が出ていることが要因と考えられます。									■ (低)

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 05 障害者（児）福祉の推進

施策の目指す姿

障害者（児）がその適性や能力に応じて、安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	障害者（児）がその適性や能力に応じて安心して暮らしていると思う割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	介護・障害福祉課	%	62.8	—	—	→	
評価	障害者計画策定時実施のアンケート結果				(%) 100 90 80 70 60 50 基準 R03 R04 R05 R06 R07					---
	（原因）障害者（児）を対象にしたアンケートによる指標であり、令和6年度、令和7年度はアンケートを実施していないため、実績値を取得していません。 令和8年度中に調査を実施し、数値取得予定です。 【前期基準値取得年度は、平成29年度です。】									目標 達成度

□基本事業の成果状況と評価

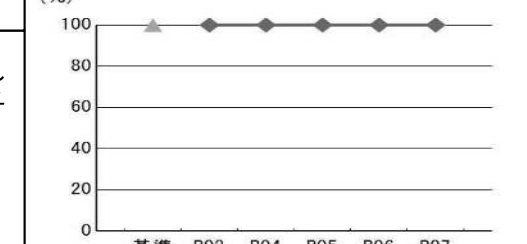
基本事業01 自立支援の推進

指標①	自立支援給付の延べ利用者数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	1,172	1,540	1,621	—	— 目 標 達 成 度 —														
評価	(原因) 障害者の人数が増えていることによって、全体的にサービス利用者数が増加していることが要因です。特に放課後等デイサービス、児童発達支援、就労系サービス、共同生活援助(グループホーム)、生活介護の利用者数が増加しており、サービス利用に必要となる計画相談利用者数も増加しています。				(人/年) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>1,172</td></tr><tr><td>R03</td><td>1,360</td></tr><tr><td>R04</td><td>1,400</td></tr><tr><td>R05</td><td>1,500</td></tr><tr><td>R06</td><td>1,580</td></tr><tr><td>R07</td><td>1,621</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	1,172	R03	1,360	R04	1,400	R05	1,500	R06	1,580	R07	1,621
											項目	値												
基準	1,172																							
R03	1,360																							
R04	1,400																							
R05	1,500																							
R06	1,580																							
R07	1,621																							

基本事業02 地域生活支援事業の利用促進

指標①	地域生活支援事業の延べ利用者数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標の うごき												
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	10,002	9,388	9,491	—	— 目 標 達成度 —												
評価	(原因) 福祉タクシー利用助成事業・障害者自動車等燃料費助成事業の制度改正により、当該事業の対象者が減少したことが要因です。				(人/年) <table><thead><tr><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>10,002</td><td>9,500</td><td>9,400</td><td>10,000</td><td>9,300</td><td>9,491</td></tr></tbody></table>						基準	R03	R04	R05	R06	R07	10,002	9,500	9,400	10,000	9,300	9,491
基準	R03	R04	R05	R06	R07																	
10,002	9,500	9,400	10,000	9,300	9,491																	

基本事業03 児童発達支援の推進

指標①	適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標の うごき														
	成果	課独自調査	上がると良い	介護・障害福祉課	%	100	100	100	→	 (横ばい)														
評価	児童発達支援利用者対象のアンケート結果				(%)  <table border="1"><caption>実績値データ</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>達成率 (%)</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>						項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	達成率 (%)	100	100	100	100	100	100
	項目	基準	R03	R04							R05	R06	R07											
達成率 (%)	100	100	100	100	100	100																		
	(原因) 児童の状態等を踏まえた個別支援計画を作成し、専門職による適切な支援を行うことで、児童の発達を促し、保護者の不安軽減にもつながっていることが要因と考えられます。				目標達成度  (達成)																			

基本事業03 児童発達支援の推進

指標②	発達相談を受けた児童の数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	181	144	146	—	— 目 標 達 成 度 —														
評価	児童発達支援センターと母子健康センターで発達相談(専門職相談)を受けた児童の数				(人/年) <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>人/年</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>181</td></tr><tr><td>R03</td><td>200</td></tr><tr><td>R04</td><td>150</td></tr><tr><td>R05</td><td>160</td></tr><tr><td>R06</td><td>140</td></tr><tr><td>R07</td><td>146</td></tr></tbody></table>						年次	人/年	基準	181	R03	200	R04	150	R05	160	R06	140	R07	146
	年次	人/年																						
基準	181																							
R03	200																							
R04	150																							
R05	160																							
R06	140																							
R07	146																							
	(原因) 児童発達支援センター太陽の家を中核とした相談支援体制の充実を図っています。児童の状況や特性、保護者の障害受容の状況等を踏まえた支援を行うために児童発達支援センター太陽の家において専門職相談を実施しますが、通院治療や診断を受ける必要がある場合は、医療機関の受診を促していることが要因です。																							

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 各種手当・医療費等助成の給付

指標①	延べ特別障害者手当等給付件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	件/年	935	841	865	—	
評価	(原因) 重度の障害のため新規に支給開始する方も増えていますが、死亡や転出、施設入所等により受給資格を喪失している方もおり、全体として、手当の受給者が減少していることが要因と考えられます。				(件/年) 					目標 達成度

基本事業04 各種手当・医療費等助成の給付

指標②	延べ心身障害者医療費助成件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	国保年金課	件/年	27,805	28,008	27,641	—	
評価	(原因) 受給対象者数が減少したことが要因です。				(件/年) 					目標 達成度

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 06 社会保障等の充実

施策の目指す姿

社会保障制度等により、市民の生活基盤が確保されることで、誰もが安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	—			単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
		その他	社会福祉課	-	—			—	
評価	国の政策等の影響が大きいため成果指標は設定していません。								---
									目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標①	国民健康保険税の現年度収納率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	93.4	94.1	95.4	→	
評価					(%)					(横ばい) 目標達成度 (達成)
	(原因) 低所得世帯に対する負担軽減措置のほか、自主納付の勧奨や滞納整理等を行ったことが要因と考えられます。									

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標②	後期高齢者医療保険料の現年度収納率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	99.2	99.5	99.6	→	
評価					(%)					(横ばい) 目標達成度 (達成)
	(原因) 年金からの特別徴収により保険料を納付する被保険者割合が高いことが要因です。									

基本事業01 保険制度の適正な運営

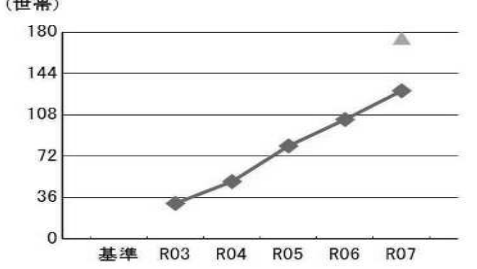
指標③	介護保険料の現年度収納率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	%	99.4	99.7	99.7	→	
評価					(%)					(横ばい) 目標達成度 (達成)
	(原因) 年金からの特別徴収により保険料を納付する被保険者割合が高いことが要因です。									

基本事業01 保険制度の適正な運営

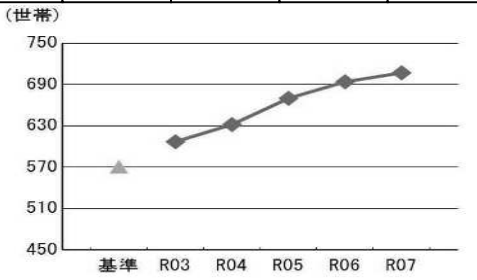
指標④	1人当たりの国民健康保険医療費				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	国保年金課	円/年	378,790	460,126	461,441	—	
評価					(円/年)					— 目標達成度 —
	(原因) 被保険者数は減少したものの、医療費総額が増加していることが要因です。									

□基本事業の成果状況と評価

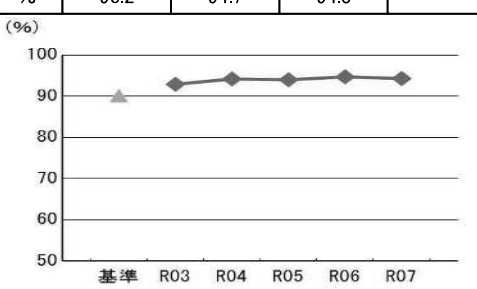
基本事業02 生活保護受給者（世帯）への自立支援

指標①	自立による生活保護廃止世帯件数（累計）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	社会福祉課生活保護室	世帯	—	104	129	175	 (横ばい)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 （原因）令和7年度の廃止世帯121世帯中、就労や収入の増加に伴う廃止が25世帯であり、就労支援員及び担当ケースワーカーによる各種支援の効果が一定程度見られますが、保護受給者の大半が高齢者や疾病を持っている方であり、就労による自立を目指すことが困難な方々が増加していることが要因と考えられます。									目標 達成度  (低)

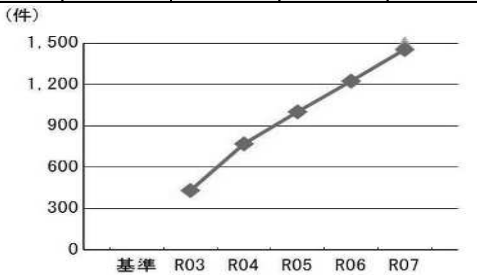
基本事業02 生活保護受給者（世帯）への自立支援

指標②	生活保護受給世帯数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課生活保護室	世帯	571	694	707	—	—
評価	（原因）高齢世帯や傷病等による収入の不安定さを理由とした保護開始件数が増加したことが要因です。一方で、物価高騰の影響が懸念されましたが、各種生活困窮者向け緊急経済対策等による支援があったことで、急増には至っていません。									目標 達成度 —

基本事業03 公営住宅の適正な運営

指標①	低所得者の入居割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	都市計画課	%	90.2	94.7	94.3	—	—
評価	収入超過していない世帯の割合 （原因）低額所得者の入居が進んだことや収入超過世帯の入居者の収入減・退去したことが要因と考えられます。									目標 達成度 —

基本事業04 生活困窮者への自立支援

指標①	生活困窮者に係る支援により課題が解決した件数（累計）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	社会福祉課	件	—	1,225	1,454	1,500	 (横ばい)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 （原因）複数年度にわたる相談を継続的に実施していることや、物価高騰の影響等により、生活困窮に陥った方に対する様々な制度支援の適切な紹介を行ったことが要因と考えられます。									目標 達成度  (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 介護保険サービスの適切な利用

指標①	施設サービスを利用している市民数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	461	542	537	—	—
評価	(原因) 介護老人福祉施設の利用者が増加していることが 主な要因です。									目標 達成度
										—

基本事業05 介護保険サービスの適切な利用

指標②	介護サービス事業者・施設への実地指導件数（累計）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	件	—	25	30	25	☀ (向上)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標 達成度
	(原因) 過去の実績を踏まえて年度ごとに実地指導の計画を立てており、概ね計画どおりに実施できていることが要因です。									🏰 (達成)

政策3

夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり
(教育文化)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策の目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える地域社会が形成されることで、子どもたちがいきいきと安全に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	38.6	37	37.9	➔	
評価	(原因) 学校・家庭・地域が連携して子どもの育ちを支える事業や地域行事は継続して実施されているものの、その成果や効果が市民の実感として十分に浸透するまでには至っていないことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標①	学校・家庭・地域が連携した取組に参加している市民割合			単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	16.4	14.4	13.4	➔														
評価	（原因）学校・家庭・地域が連携した取組が継続して実施されており、市民参加の機会が維持されていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>16.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>14.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>13.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>13.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>14.4</td></tr><tr><td>R07</td><td>13.4</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	16.4	R03	14.4	R04	13.4	R05	13.4	R06	14.4	R07	13.4
										項目	値 (%)												
基準	16.4																						
R03	14.4																						
R04	13.4																						
R05	13.4																						
R06	14.4																						
R07	13.4																						
					(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)																		

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標②	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合（小学生）			単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	77.3	82.7	80.6	➔														
評価	教育活動状況調査の結果				(%) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>77.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>72.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>74.7</td></tr><tr><td>R05</td><td>78.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>82.7</td></tr><tr><td>R07</td><td>80.6</td></tr></tbody></table>					年度	割合 (%)	基準	77.3	R03	72.7	R04	74.7	R05	78.7	R06	82.7	R07	80.6
	年度	割合 (%)																					
基準	77.3																						
R03	72.7																						
R04	74.7																						
R05	78.7																						
R06	82.7																						
R07	80.6																						
	（原因）学校・家庭・地域が連携した取組が継続して実施されており、様々な知識や経験を学ぶ機会が維持されていることが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】				☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)																		

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

指標③	学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている生徒の割合（中学生）			単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	80.9	72.6	69.2	➔														
評価	教育活動状況調査の結果				(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R03</td><td>66.6</td></tr><tr><td>R04</td><td>69.6</td></tr><tr><td>R05</td><td>72.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>71.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>69.2</td></tr></tbody></table>					年度	割合 (%)	基準	80.9	R03	66.6	R04	69.6	R05	72.6	R06	71.6	R07	69.2
	年度	割合 (%)																					
基準	80.9																						
R03	66.6																						
R04	69.6																						
R05	72.6																						
R06	71.6																						
R07	69.2																						
(原因) 学校・家庭・地域が連携した取組は継続して実施されていますが、地域住民との関わりを通じた学びや体験を「学校だけでは得られない知識や経験」として生徒が認識するまでには至らず、実感として十分に結び付かなかったことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】					☂ (低下) 目標達成度 ■ (低)																		

基本事業02 青少年の健全育成

指標①	青少年育成活動事業の延べ参加者数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	839	2,972	3,575	➔	☀ (向上)														
評価	（原因）小学校で放課後の空き教室などを活用して、子どもに体験の場を提供する放課後子ども教室や、小中学校の授業などを支援する学校支援活動が増え、参加する地域住民が増加したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(人/年) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数 (人/年)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>839</td></tr><tr><td>R03</td><td>1,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>1,500</td></tr><tr><td>R05</td><td>2,500</td></tr><tr><td>R06</td><td>2,972</td></tr><tr><td>R07</td><td>3,575</td></tr></tbody></table>					年度	参加者数 (人/年)	基準	839	R03	1,000	R04	1,500	R05	2,500	R06	2,972	R07	3,575	☀ (向上)
										年度	参加者数 (人/年)													
基準	839																							
R03	1,000																							
R04	1,500																							
R05	2,500																							
R06	2,972																							
R07	3,575																							
										目標達成度														
										🏰 (達成)														

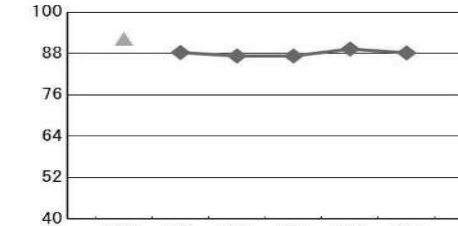
政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

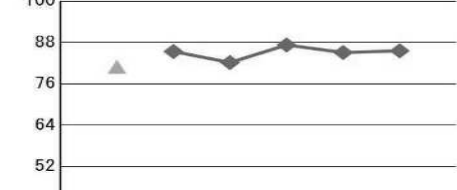
施策 02 学校教育の充実

施策の目指す姿

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれることで、夢や希望が持てる充実した学校生活を送ることができています。

施策の成果状況と評価

指標①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき															
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	92.3	89.3	88.2	➔	 (横ばい)															
評価	教育活動状況調査の結果				(%)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合 (%)</td><td>92.3</td><td>89.3</td><td>88.2</td><td>88.2</td><td>88.2</td><td>88.2</td></tr></tbody></table>						項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	割合 (%)	92.3	89.3	88.2	88.2	88.2	88.2	目標達成度 (低)
	項目	基準	R03	R04							R05	R06	R07												
割合 (%)	92.3	89.3	88.2	88.2	88.2	88.2																			
(原因) 各校の工夫により、児童が前向きに学習や友達づくりに取り組んでいることで、8割以上の高い水準で推移していますが、勉強が難しいと感じている児童割合が、学年が上がるに従い増える傾向にあることが要因と考えられます。																									

指標②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	81	85.1	85.6	➔	 (向上)														
評価	教育活動状況調査の結果				(%)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合 (%)</td><td>81</td><td>85.1</td><td>85.6</td><td>85.6</td><td>85.6</td><td>85.6</td></tr></tbody></table>						項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	割合 (%)	81	85.1	85.6	85.6	85.6	85.6
	項目	基準	R03	R04							R05	R06	R07											
割合 (%)	81	85.1	85.6	85.6	85.6	85.6																		
(原因) 各校の工夫により、安心して過ごせる環境の中、探究的な学習活動や行事等に取り組むことができたことが要因と考えられます。				目標達成度  (達成)																				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の育成

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	90.3	88.5	87.8	→	
評価	教育活動状況調査の結果									 (横ばい)
	（原因）指導内容と児童の理解度に乖離がある可能性があることが、基準値を若干下回った要因として考えられます。ICT機器の活用やグループでの調べ活動、話し合いの機会を確保することで、児童同士が学び合いを行い、より主体的に学習に取り組めるように工夫しています。									 目 標 達成度 (低)

基本事業01 確かな学力の育成

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	80.7	75.9	74.5	→	
評価	教育活動状況調査の結果									 (低下)
	（原因）学習習慣が十分に身についておらず、指導内容と生徒の理解度に乖離がある可能性が考えられます。加えて、学習に対する理解が十分に積み上がっておらず、基礎的な内容の定着が不十分な生徒がいることが要因と考えられます。									 目 標 達成度 (低)

基本事業02 豊かな心の育成

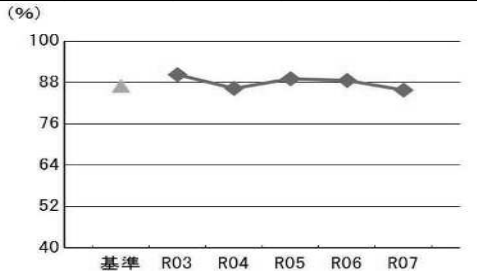
指標①	不登校出現率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	2.4	5.8	5.6	→	
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出									 (低下)
	（原因）学校生活や家庭生活に対する悩みや不安を抱え、集団活動に馴染みにくく、登校渋りとなる児童・生徒が増加しています。また、保護者の不登校に対する受け止め方の変化や、軽い風邪等の症状で大事をとって学校を欠席させる家庭が増え、年間30日以上欠席した児童・生徒が小学校低学年を中心に増加したことが要因と考えられます。									 目 標 達成度 (低)

基本事業02 豊かな心の育成

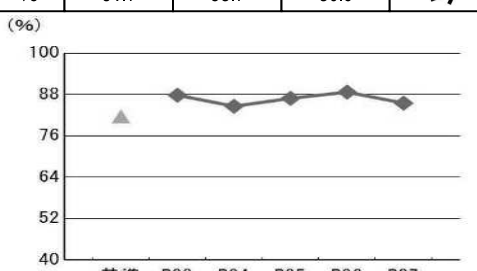
指標②	再登校率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	教育総務課	%	19.8	35.4	39.5	—	
評価	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出									 目 標 達成度
	（原因）不登校児童・生徒に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談対応、学び支援教室等の別室登校による対応、たがじょう子どもの心のケアハウスの運営など様々な支援を行ってきたことが要因と考えられます。 【令和3年度から指標のとり方を変更しています。】									

□基本事業の成果状況と評価

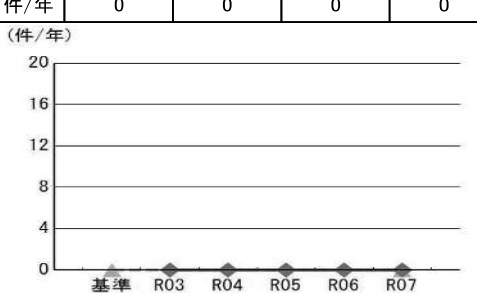
基本事業03 健やかな体の育成

指標 ①	基本的生活習慣を身に付けている児童割合（小学生）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	87.1	88.6	85.8	→	 (横ばい)
評価	全国学力・学習状況調査の結果 （原因）朝食や睡眠の重要性は理解していても、保護者の就労時間の多様化が、朝食を毎日食べている児童の割合の低下や、日によって就寝時間にばらつきが見られる要因と考えられます。									目標 達成度  (低)

基本事業03 健やかな体の育成

指標 ②	基本的生活習慣を身に付けている生徒割合（中学生）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	81.7	88.7	85.5	→	 (向上)
評価	全国学力・学習状況調査の結果 （原因）学校での継続的な保健指導や保護者の意識向上が、朝食を毎日食べている生徒の割合の増加や睡眠習慣改善の要因と考えられます。									目標 達成度  (達成)

基本事業04 教育環境の保全と運営

指標 ①	授業及び学校生活に支障をきたした件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	 (横ばい)
評価	（原因）学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設整備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当するなど、きめ細かい対応を行ったことが要因と考えられます。									目標 達成度  (達成)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 03 生涯学習の促進

施策の目指す姿

生涯を通じて学び、活躍できる機会や場があることで、生きがいを持って社会に参加し、心豊かに暮らすことができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習を行っている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	71.3	73.5	73.3	➔	
評価	(原因) 公民館などでの講座や教室、サークル活動のほか、インターネットなどの方法でいつでも自由に多様な学習機会が提供される環境が整ってきていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 (横ばい)
										目標 達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標①	学習機会に満足している市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	88.3	90	91.7	➔	
評価	(原因) 公民館などでの講座や教室、サークル活動のほか、インターネット等を活用した多様な学習手段により、時間や場所にとらわれず学習できる環境が整ってきていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									☀ (横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

指標②	学習成果を生かしている市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	66.4	66.1	67	➔	
評価	(原因) 学習機会が多様化したことで学ぶ場が増えたことにより、学習成果を自身の仕事や就職、趣味・健康・日常生活、地域活動・社会活動に生かすことができていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									☀ (横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 文化芸術の振興

指標①	文化芸術の直接鑑賞をしている市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.3	64.7	67.7	➔	
評価	(原因) 文化芸術に関するイベントや機会の充実に加え、市民の間で鑑賞や参加が日常的なものとして定着し、映画や音楽の鑑賞、地域の祭りへの参加等、自ら足を運ぶ動きが広がっていることが要因と考えられます。									☀ (向上)
										目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 文化芸術の振興

指標②	文化芸術活動をしている市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	18.6	22.6	20	➔	
評価	(原因) 創作活動や発表、習い事、地域の伝統行事への参加など、市民自らが文化芸術活動を行うことができる環境が整ってきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									☀ (横ばい)
										目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生涯学習施設の保全と運営

指標 ①	生涯学習施設を利用している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	代替	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	52.2	60.6	56.3	➔																
評 価	(原因) 各種事業やイベントの充実により生涯学習施設の利用機会は継続的に提供されており、市民が利用しやすい環境が維持されていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>52.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>55.0</td></tr><tr><td>R04</td><td>50.0</td></tr><tr><td>R05</td><td>52.0</td></tr><tr><td>R06</td><td>60.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>56.3</td></tr></tbody></table>					年度	割合 (%)	基準	52.2	R03	55.0	R04	50.0	R05	52.0	R06	60.6	R07	56.3		(横ばい)
										年度	割合 (%)														
基準	52.2																								
R03	55.0																								
R04	50.0																								
R05	52.0																								
R06	60.6																								
R07	56.3																								
									目 標 達成度		(高)														

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 04 市民スポーツ社会の促進

施策の目指す姿

運動・スポーツに親しむ機会や場があり、生涯を通じて、運動・スポーツの楽しさや感動を分かち合うことで、活力をもって暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上運動・スポーツをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	46.2	44.4	44.5	➔	
評価	(原因) 各種スポーツ事業や運動機会の提供を通じて、市民が継続的に運動・スポーツに親しめる環境づくりを進めていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 (横ばい)
										目標 達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標①	運動・スポーツ機会に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	81.7	85	86.8	→	
評価	(原因) ウォーキングやランニングなどの個人で運動・スポーツを行う人が増加しており、集団で行う競技スポーツを併せ、多様な運動・スポーツの機会を持つことができていることが要因と考えられます。									(向上)
										目標 達成度
										(達成)

基本事業01 スポーツ機会の確保

指標②	スポーツ等の教室・大会の参加者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	5,330	9,438	8,451	5,500	
評価	(原因) 社会体育事業やスポーツ団体の活動が活発に開催されており、市民が参加する機会が増えたことが要因と考えられます。									(向上)
										目標 達成度
										(達成)

基本事業02 社会体育施設等の保全と運営

指標①	社会体育施設等の利用者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	296,806	250,719	270,203	350,000	
評価	市内公有社会体育施設及び学校開放施設の利用者数です。 (原因) 集団で運動・スポーツを行う利用者の利用機会が減少していることが要因と考えられます。									(横ばい)
										目標 達成度
										(低)

政策 03 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

施策 05 文化財の保護と活用

施策の目指す姿

文化財が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されることで、市民が歴史と文化を身近に感じることができています。

施策の成果状況と評価

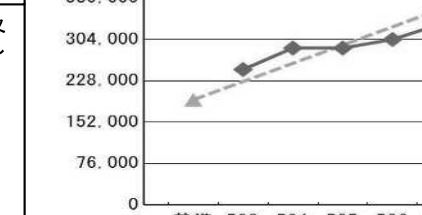
指標 ①	市の歴史と文化を身近に感じている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	55.2	66.4	66	➔	☀ (向上)															
評価	(原因) 令和6年の多賀城碑の国宝指定や令和7年の多賀城南門復元整備完了に伴う一般公開開始について、多くのマスメディアから情報発信され、多賀城跡一帯への市民の来訪が増加したことが要因と考えられます。				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>55.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>58.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>60.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>64.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>66.4</td></tr><tr><td>R07</td><td>66</td></tr></tbody></table>						項目	値 (%)	基準	55.2	R03	58.4	R04	60.4	R05	64.4	R06	66.4	R07	66	目標 達成度
											項目	値 (%)													
基準	55.2																								
R03	58.4																								
R04	60.4																								
R05	64.4																								
R06	66.4																								
R07	66																								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標①	適正に調査・保護された文化財の件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件	188	215	199	—	— 目 標 達成度 —
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数				(件)					
	(原因) 埋蔵文化財包蔵地の届出等件数については、宅地造成・住宅需要、現状変更申請件数については、多賀城跡の既存住宅の改築、解体案件や文化財用地を活用したイベントの実施数の増加が要因です。									

基本事業02 文化財の活用促進

指標 ①	活用されている文化財の面積				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	193,393	304,214	333,581	360,895	 (向上)														
評 価	(原因) 中央公園、多賀城跡あやめ園の一部の供用開始及び多賀城南門復元整備事業完了に伴い、活用面積が増加したことが要因です。				(m²)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>193,393</td></tr><tr><td>R03</td><td>304,214</td></tr><tr><td>R04</td><td>333,581</td></tr><tr><td>R05</td><td>360,895</td></tr><tr><td>R06</td><td>360,895</td></tr><tr><td>R07</td><td>360,895</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	193,393	R03	304,214	R04	333,581	R05	360,895	R06	360,895	R07	360,895
											項目	値												
基準	193,393																							
R03	304,214																							
R04	333,581																							
R05	360,895																							
R06	360,895																							
R07	360,895																							
										 (高)														

基本事業02 文化財の活用促進

指標②	市内所在の文化財等訪問者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	代替	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	135,009	186,102	123,477	170,000	☔ (低下)														
評価	(原因) 令和7年度に多賀城跡ガイダンス施設がオープンし、政庁跡来訪者数の計測方法を、多賀城跡ガイダンス施設来訪者数に変更したことが主な減少の要因と考えられます。				(人/年)	<table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>135,009</td></tr><tr><td>R03</td><td>186,102</td></tr><tr><td>R04</td><td>123,477</td></tr><tr><td>R05</td><td>170,000</td></tr><tr><td>R06</td><td>186,102</td></tr><tr><td>R07</td><td>123,477</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	135,009	R03	186,102	R04	123,477	R05	170,000	R06	186,102	R07	123,477	■ ■ ■ (低)
										項目	値													
基準	135,009																							
R03	186,102																							
R04	123,477																							
R05	170,000																							
R06	186,102																							
R07	123,477																							

基本事業03 文化財の普及啓発

指標 ①	市内所在文化財等の平均認知項目数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	8.06	7.8	7.8	➡	☁ (横ばい)														
評価	(原因) 多賀城南門復元整備完了に伴う一般公開、多賀城 政庁全施設復元について、多くのメディアから情報発信され たことにより、多賀城跡の認知度は向上した一方で、そ 他の市内文化財については例年並みの普及活動にとどま ったことが要因と考えられます。				(項目) <table><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>認知項目数</td><td>8.06</td><td>7.8</td><td>7.8</td><td>8.06</td><td>7.8</td><td>7.8</td></tr></tbody></table>						項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	認知項目数	8.06	7.8	7.8	8.06	7.8	7.8
											項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07							
認知項目数	8.06	7.8	7.8	8.06	7.8	7.8																		
	■■■ (低)																							

政策4

都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり
(生活環境)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 01 自然と生活環境の調和

施策の目指す姿

市民、事業者、行政により地球環境に優しい取組と生活環境を守る取組が行われることで、調和のとれた自然環境と生活環境の中で暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	成果 市民アンケート 上がると良い 環境施設課	%	48	49.8	45.1	→	☁ (横ばい)
評価	(原因) 特に「冷房28℃以上、暖房20℃以下に設定している」の割合が過去数年より低い結果となっており、猛暑の影響により熱中症対策のため、冷房温度を低くしている人が多かったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】						目標達成度 ■■■ (高)

指標	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
②	成果 市民アンケート 上がると良い 環境施設課	%	54.1	58.8	61	→	☀ (向上)
評価	(原因) 本市には史跡群と一体となって保存されてきた自然環境があり、自然体験学習や環境展示などの環境啓発活動において継続的に調査保全を実施しており、市内の豊かな自然環境が認識されていることが要因と考えられます。						目標達成度 ☎ (達成)

指標	快適な生活環境になっていると思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
③	成果 市民アンケート 上がると良い 環境施設課	%	63.2	65	68.8	→	☀ (向上)
評価	(原因) 騒音、犬・猫の管理、樹木・雑草の繁茂、ごみ集積所の管理等の個々の生活に伴う改善要望はあるものの、改善要望に対して適切に対応していることや広報多賀城、市ホームページ等により啓発を行っていることで、意識改革につながっていることが要因と考えられます。						目標達成度 ☎ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 環境啓発の推進

指標①	市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	1,556	681	468	1,711	傘 (低下)
評価	(原因) 環境講座は一定程度開催できたものの、小中学生向けの講座が多く、一般向けの講座が少なかったことで、参加者数の伸びにつながらなかったことが要因と考えられます。									目標達成度 ■ (低)

基本事業01 環境啓発の推進

指標②	子どもを対象とした環境教育の参加者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	946	888	910	1,027	傘 (低下)
評価	環境講座参加者数を除く。 (原因) 小学校の協力により、対象児童に対して環境副読本の提供及びこどもエコ日記の回収を行っているものの、児童数の減少等により回収数が減少していることが要因です。									目標達成度 ■ (低)

基本事業02 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	67	136	145	—	—
評価	(原因) 騒音や悪臭のほか、隣地の雑草や樹木の繁茂に対する苦情が半数以上を占めており、適切に管理がされていないことが要因と考えられます。									目標達成度 —

基本事業02 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	24	56	47	—	—
評価	(原因) 騒音や油漏れのほか、雑草や樹木の繁茂に対する苦情が多数を占めており、適切に管理されていないことが要因と考えられます。									目標達成度 —

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 水質環境等の向上

指標 ①	河川の水質基準の達成割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	社会	業務取得	その他	環境施設課	%	99	99.5	98.5	—																
評価	市・県の公共用水域水質測定の結果				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>99</td></tr><tr><td>R03</td><td>99.5</td></tr><tr><td>R04</td><td>99.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>98.5</td></tr><tr><td>R06</td><td>99.5</td></tr><tr><td>R07</td><td>98.5</td></tr></tbody></table>						項目	達成率 (%)	基準	99	R03	99.5	R04	99.5	R05	98.5	R06	99.5	R07	98.5	目標達成度
	項目	達成率 (%)																							
基準	99																								
R03	99.5																								
R04	99.5																								
R05	98.5																								
R06	99.5																								
R07	98.5																								
	(原因) 市と県により水質測定を砂押川3か所及び貞山運河1箇所の4箇所において毎月実施していますが、特定の時期において、河川周辺の環境の影響により、一部基準を満たさない検査項目があったことが要因と考えられます。																								

基本事業03 水質環境等の向上

指標②	特定事業所の水質基準の達成割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	上がると良い	施設整備課	%	76	92.9	92.9	100	(横ばい)														
評価	(原因) 計画的に特定事業所への指導を実施していることが要因と考えられます。				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>76</td></tr><tr><td>R03</td><td>92.9</td></tr><tr><td>R04</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R05</td><td>92.9</td></tr><tr><td>R06</td><td>92.9</td></tr><tr><td>R07</td><td>92.9</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	76	R03	92.9	R04	80.9	R05	92.9	R06	92.9	R07	92.9
					項目	値																		
基準	76																							
R03	92.9																							
R04	80.9																							
R05	92.9																							
R06	92.9																							
R07	92.9																							

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 02 循環型社会の促進

施策の目指す姿

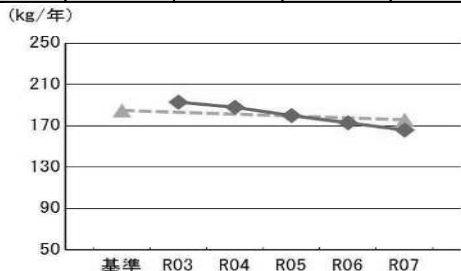
ごみの適切な処理と再資源化の促進により、環境負荷の少ない循環型社会を形成することができています。

施策の成果状況と評価

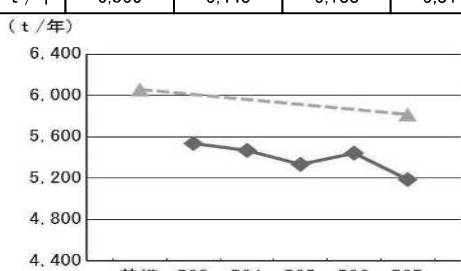
指標 ①	市民 1 人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	50	46	42	48	
評価	（原因）広報多賀城、市ホームページ及びごみカレンダー等により、ごみの分別やりサイクルについて働きかけていることが要因と考えられます。				(kg/年) 					(向上)
										目標 達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

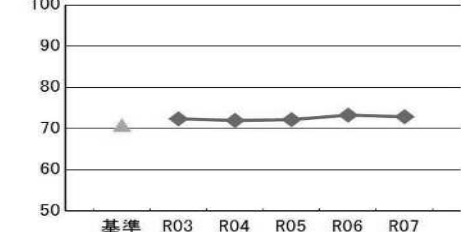
基本事業01 ごみの適切な処理

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	185	173	166	176	 (向上)														
評価	（原因）広報多賀城、市ホームページ及びごみカレンダー等により、ごみの分別やりサイクルについて働きかけていることが要因と考えられます。				(kg/年) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値 (kg/年)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>185</td></tr><tr><td>R03</td><td>190</td></tr><tr><td>R04</td><td>180</td></tr><tr><td>R05</td><td>175</td></tr><tr><td>R06</td><td>170</td></tr><tr><td>R07</td><td>166</td></tr></tbody></table>					項目	値 (kg/年)	基準	185	R03	190	R04	180	R05	175	R06	170	R07	166	 目標達成度
										項目	値 (kg/年)													
基準	185																							
R03	190																							
R04	180																							
R05	175																							
R06	170																							
R07	166																							
									 (達成)															

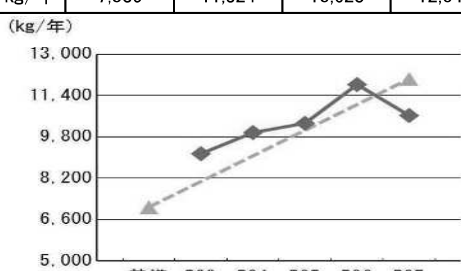
基本事業01 ごみの適切な処理

指標②	事業系ごみの年間排出量				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	t / 年	6,059	5,443	5,188	5,817	 (向上)														
評価	(原因) これまで事業系ごみの減量・分別について啓発を行ってきたことや社会的にもごみの減量につながる取組が進んできていることが要因と考えられます。				(t / 年)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (t/年)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>6,059</td></tr><tr><td>R03</td><td>5,550</td></tr><tr><td>R04</td><td>5,400</td></tr><tr><td>R05</td><td>5,250</td></tr><tr><td>R06</td><td>5,400</td></tr><tr><td>R07</td><td>5,188</td></tr></tbody></table>					項目	値 (t/年)	基準	6,059	R03	5,550	R04	5,400	R05	5,250	R06	5,400	R07	5,188	 目標 達成度
										項目	値 (t/年)													
基準	6,059																							
R03	5,550																							
R04	5,400																							
R05	5,250																							
R06	5,400																							
R07	5,188																							
									 (達成)															

基本事業02 再資源化等の促進

指標 ①	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	70.9	73.3	72.9	➡	 (横ばい)
評価	(原因) 広報多賀城、市ホームページ及びごみカレンダー等により、ごみ分別やリサイクルの啓発を行っているほか、社会的にも脱プラスチックをはじめ、ごみの減量につながる取組が進んでいることで、「ごみの減量・分別・適正な処理やリサイクルを行っている」割合が高くなっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%)  基準 R03 R04 R05 R06 R07					目標 達成度
										 (高)

基本事業02 再資源化等の促進

指標②	小型家電回収量				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき																					
	成果	業務取得	上がると良い	環境施設課	kg/年	7,085	11,824	10,628	12,044	 (横ばい)																					
評価	(原因) リユース・リサイクルショップ、パソコン回収など 民間回収ルートの利用拡大により排出量の減少が進んだことが 要因と考えられます。				(kg/年)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>-</td><td>7,085</td><td>8,000</td><td>8,800</td><td>11,824</td><td>10,628</td></tr><tr><td>目標値</td><td>6,600</td><td>7,500</td><td>8,500</td><td>9,500</td><td>11,500</td><td>12,000</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	実績値	-	7,085	8,000	8,800	11,824	10,628	目標値	6,600	7,500	8,500	9,500	11,500	12,000	 目標 達成度
					項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07																				
実績値	-	7,085	8,000	8,800	11,824	10,628																									
目標値	6,600	7,500	8,500	9,500	11,500	12,000																									
					 (低)																										

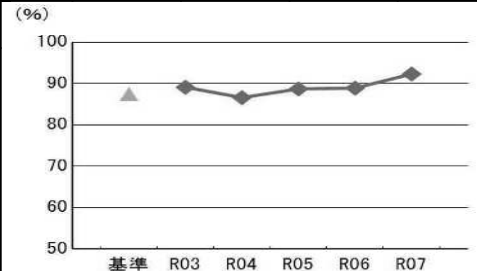
政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 03 良好なまちなみの保全

施策の目指す姿

住環境と景観を守る取組が行われることで、緑ある快適なまちなみが形成されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	良好なまちなみの保全に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	87.5	88.9	92.3	➔	
評価	(原因)「多賀城市都市計画マスタープラン」に基づいてまちづくりを進めているとともに、多賀城駅周辺の中心市街地整備が進んだこと、地区計画などのまちづくりのルールが徹底されていることや、多賀城南門・多賀城跡ガイダンス施設の整備により歴史的景観の向上と来訪環境の充実が進んだことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				 (%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					☀ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 住環境づくりの推進

指標①	住宅の耐震化率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	都市計画課	%	86.8	—	91.8	95	☀ (横ばい)
評価	昭和56年以前建築物が対象。県に準じ住宅・土地統計調査(5年毎)の結果を用いて算定した割合									目標達成度 (低)
	(原因) 対象建築物の世帯主に占める65歳以上の割合が高い状況にあり、耐震改修工事の自己負担額への懸念や後継者不在等を背景として、工事に踏み切れないケースが多いことが要因と考えられます。 【前期基準値は、平成30年度実施の国調査結果(平成31年度公表)を基に、令和2年度に算出しています。】									

基本事業01 住環境づくりの推進

指標②	耐震改修工事の補助件数(累計)				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	都市計画課	件	—	35	37	50	☀ (横ばい)
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標達成度 (低)
	(原因) 固定資産税の納税通知書への同封により全世帯への案内を送付したほか、広報等において積極的な周知を行ったものの、耐震改修に係る自己負担額への懸念や、将来的な建替え意向等を理由として申請に至らないケースがあったことが要因と考えられます。									

基本事業02 公園の保全と整備

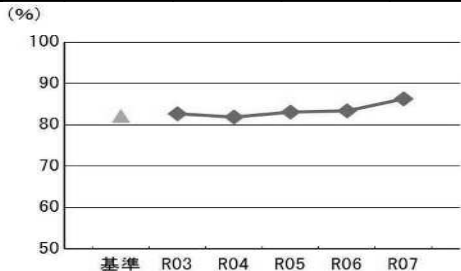
指標①	公園の維持管理状況に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市整備課	%	80.8	79.6	84.1	→	☀ (横ばい)
評価										目標達成度 (高)
	(原因) 定期的な公園パトロールの実施や情報収集等により、異常箇所の早期発見及び早期修繕を実施したことや樹木の剪定等維持管理を適切に行ってきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

指標①	まちの景観に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	83.2	86.8	88.2	→	☀ (向上)
評価										目標達成度 (達成)
	(原因) 用途地域や地区計画における秩序ある良好なまちなみの形成、街路樹や公園等の整備による緑の確保、市民等による花のまちづくりの活動を実施していることが要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

指標②	まちの緑化状況に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	82.2	83.4	86.3	→	 (横ばい)
評価	(原因) 開発行為や中高層建築物に関する緑の確保、地区計画による生垣の設置、また、花のまちづくり補助による緑化など都市緑化を推進していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				 (高)					 (高)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 04 都市インフラの保全

施策の目指す姿

インフラが計画的に保全されることで、安全で快適な生活環境を保つことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	都市インフラの保全に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	84.3	83.7	87.4	➔	
評価	(原因) 市内のインフラを適切に維持していることで、市民の利便性が一定程度保たれていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 (横ばい)
										 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 都市計画の推進

指標	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	—	—	—	—	—	—
評価	この基本事業は、都市計画に基づくものであるため、指標は設定していません。					目標達成度 —

基本事業02 道路の保全と整備

指標	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	道路の維持管理状況に満足している市民割合	%	74.9	72.9	75.8	→
評価	(原因) 定期的な市道パトロールの実施や情報収集等により、異常箇所の早期発見及び早期修繕を実施したことや、舗装補修工事及び道路改良工事により生活道路を維持していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					目標達成度 ■■■ (高)

基本事業03 雨水施設の保全と整備

指標	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	下水道雨水面の整備率	%	51.7	54.1	54.1	55.3
評価	(原因) 雨水幹線等の事業については、関係機関と協議を実施していたことが要因です。					目標達成度 ■■ (低)

基本事業04 水道水の安全で安定的な供給

指標	単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	水道管耐震化率	%	34.8	38.6	39	37.3
評価	対象となる水道管は、口径75mm以上の配水管です。 (原因) 口径75mm以上の配水管の整備を計画的に行っていることが要因です。					目標達成度 ■■■ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

指標①	市内を円滑に移動できると思う市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	77	77.8	81.8	➡	☀ (横ばい)														
評価	（原因）市内の道路整備が計画的に進捗していることや、地域公共交通の利便性を維持していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>77</td></tr><tr><td>R03</td><td>77.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>77.8</td></tr><tr><td>R05</td><td>77.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>77.8</td></tr><tr><td>R07</td><td>81.8</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	77	R03	77.8	R04	77.8	R05	77.8	R06	77.8	R07	81.8
					項目	値																		
基準	77																							
R03	77.8																							
R04	77.8																							
R05	77.8																							
R06	77.8																							
R07	81.8																							

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

指標②	公共交通の平均利用者数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標の うごき													
	社会	業務取得	その他	都市計画課	人/日	12,522	10,235	10,617	—	—													
評価	多賀城駅、国府多賀城駅及び下馬駅の乗降客数並びに市内運行バスの乗客数の合計				(人/日) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>12,522</td></tr><tr><td>R03</td><td>10,235</td></tr><tr><td>R04</td><td>10,617</td></tr><tr><td>R05</td><td>10,617</td></tr><tr><td>R06</td><td>10,617</td></tr><tr><td>R07</td><td>10,617</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	12,522	R03	10,235	R04	10,617	R05	10,617	R06	10,617	R07
	項目	値																					
基準	12,522																						
R03	10,235																						
R04	10,617																						
R05	10,617																						
R06	10,617																						
R07	10,617																						
	(原因) 新型コロナウイルス感染症や社会環境の変化により利用者が減少して以降、徐々に回復していることや、バス運賃無料化の社会実験の取組により、多賀城東部線・多賀城西部線の利用者数が増加したことが要因と考えられます。				目 標 達成度					—													

政策5

地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり
(産業活気)

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 01 農業の振興

施策の目指す姿

農業生産額が増加し、農業所得が向上することで、農業を将来にわたり希望を持って取り組む産業として継承することができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	農業総生産額				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき													
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	百万円	180	249	251	—														
評価	指標は2か年前の県統計実績値				(百万円) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (百万円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R03</td><td>200</td></tr><tr><td>R04</td><td>250</td></tr><tr><td>R05</td><td>220</td></tr><tr><td>R06</td><td>250</td></tr><tr><td>R07</td><td>255</td></tr></tbody></table>						年度	実績値 (百万円)	R03	200	R04	250	R05	220	R06	250	R07	255	☀ (向上)
	年度	実績値 (百万円)																					
R03	200																						
R04	250																						
R05	220																						
R06	250																						
R07	255																						
	(原因) 令和4年度にほ場整備が完了し、作業効率が向上しました。また、機械化による省力化が図られ、これらにより、作付の安定化や拡大が進み、生産性が向上したことが要因と考えられます。				目標 達成度 ---																		

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 農地の保全

指標①	遊休未利用農地面積				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	産業振興課	ha	0.8	0.8	0.4	0.8	☀ (向上)
評価	(原因) 計画的な農業経営を実践している認定農業者をはじめとした担い手が、耕作困難となった農地を積極的に借り受け、遊休未利用農地の発生防止に努めていることが要因と考えられます。				実績値 (R06): 0.8, 実績値 (R07): 0.4, 目標値 (R07): 0.8					☀ (向上)
										目標達成度 ☀ (達成)

基本事業01 農地の保全

指標②	農業水利施設の不具合件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	産業振興課	件/年	0	0	0	0	☀ (横ばい)
評価	(原因) 宝堰加瀬溜井管理組合が主体となり施設の維持管理に努め、定期点検や維持補修を実施することで、故障等の未然防止が図られ、良好な状態を維持できていることが要因です。				実績値 (R06): 0, 実績値 (R07): 0, 目標値 (R07): 0					☀ (横ばい)
										目標達成度 ☀ (達成)

基本事業02 農業経営基盤の強化

指標①	農地集積率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	%	56.7	69.4	69.4	70	☀ (横ばい)
評価	担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積				実績値 (R06): 69.4, 実績値 (R07): 69.4, 目標値 (R07): 70					☀ (横ばい)
	(原因) ほ場整備が完了し、担い手への耕作の委託等、集積が順調に進んでいることが要因と考えられます。									目標達成度 ☀ (高)

基本事業02 農業経営基盤の強化

指標②	主食用米からの転作作付面積				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	ha	44.9	90.4	68.3	100	☀ (横ばい)
評価	(原因) 転作に対する補助を行い、転作作付面積の増加を図りましたが、主食用米価格の上昇による作付け意向の変化が生じたことが要因と考えられます。				実績値 (R06): 90.4, 実績値 (R07): 68.3, 目標値 (R07): 100					☀ (横ばい)
										目標達成度 ☀ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 農業担い手の育成支援

指標①	担い手農業者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき																
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	61	42	42	61	☔ (低下)																
評価	(原因) 農業経営基盤強化促進法の改正により、令和7年度から、10年後の地域農業を担う営農者を担い手農業者と位置付けることとされたことに伴い、数値の計上方法が変更となったことが要因です。				(人) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>61</td></tr><tr><td>R03</td><td>42</td></tr><tr><td>R04</td><td>42</td></tr><tr><td>R05</td><td>42</td></tr><tr><td>R06</td><td>42</td></tr><tr><td>R07</td><td>42</td></tr><tr><td>目標</td><td>61</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	61	R03	42	R04	42	R05	42	R06	42	R07	42	目標	61	目標 達成度
					項目	値																				
基準	61																									
R03	42																									
R04	42																									
R05	42																									
R06	42																									
R07	42																									
目標	61																									
					■ ■ ■ (低)																					

基本事業03 農業担い手の育成支援

指標②	農業生産組織数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき															
	代替	業務取得	上がると良い	産業振興課	組織	4	4	4	5	☀ (横ばい)															
評価	(原因) 社会情勢の変化や地域の実情をふまえると、個人経営から組織経営へ移行することに不安を感じる農業者も多く、新たに組織化へ踏み切る経営体が現れないことが要因と考えられます。				(組織) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4</td></tr><tr><td>R03</td><td>4</td></tr><tr><td>R04</td><td>4</td></tr><tr><td>R05</td><td>4</td></tr><tr><td>R06</td><td>4</td></tr><tr><td>R07</td><td>5</td></tr><tr><td>目標 (R07)</td><td>5</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	4	R03	4	R04	4	R05	4	R06	4	R07	5	目標 (R07)	5
										項目	値														
基準	4																								
R03	4																								
R04	4																								
R05	4																								
R06	4																								
R07	5																								
目標 (R07)	5																								
					■ (高)																				

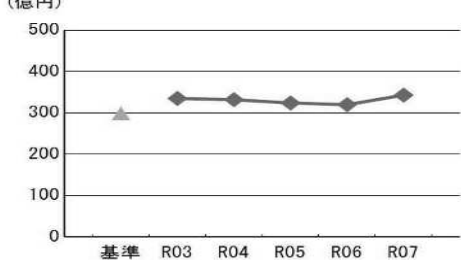
政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

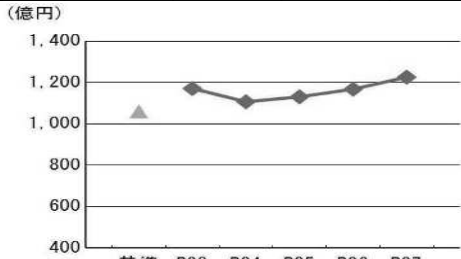
施策 02 商工業の振興

施策の目指す姿

産業の成長と新たな挑戦を支えることで、地域の商工業が活性化し、意欲と希望のあるなりわいを支えることができています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内総生産額(第二次産業)				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	299	320	343	—	 (向上)
評価	指標は2か年前の県統計実績値 (原因) 復興需要の収束と資材や人件費の高騰により建設業の業績低下がみられるものの、製造業の生産額が増加していることが要因と考えられます。				(億円) 					目標 達成度 —

指標②	市内総生産額(第三次産業※公務除く)				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	1,061	1,168	1,226	—	 (向上)
評価	指標は2か年前の県統計実績値を基に第三次産業から公務を除いた値 (原因) 震災復興を契機とした都市機能再編と、人口・交流の集積を意識した施策が相互に作用していることが要因と考えられます。				(億円) 					目標 達成度 —

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域商業の活性化

指標①	食料品や日用品を市内で購入している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	94.4	92.3	90.7	→	
評価										(横ばい)
	(原因) オンラインショッピング等の活用が定着した中でも、市内小売店舗の充実により減少幅が抑制されたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標 達成度
										■ (高)

基本事業01 地域商業の活性化

指標②	市内の飲食店を利用する市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	63.6	59.2	57.5	→	
評価										(低下)
	(原因) 物価高騰による利用控えの影響が要因と考えられます。									目標 達成度
										■ (低)

基本事業02 商工業経営力の向上

指標①	市内の事業者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	事業者	1,644	1,644	1,615	—	
評価										(横ばい)
	(原因) 物価高騰や人材不足の影響を大きく受けた建設業が減少しましたが、宿泊・飲食サービス業をはじめとする多くの業種で増加したことが要因と考えられます。									目標 達成度
										—

基本事業03 起業・挑戦の促進

指標①	市の創業支援を受けて創業した人の数（累計）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	—	12	18	25	
評価										(向上)
	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標 達成度
	(原因) 創業支援事業を通じ、創業者も増えつつありますが、実際に創業に至るまでには、ある程度の期間を要することが要因と考えられます。									■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 就労環境向上の促進

指標 ①	有効求人倍率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	倍	0.97	0.73	0.77	—																
評 価	塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率				(倍) <table><thead><tr><th>指標</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>0.97</td></tr><tr><td>R03</td><td>0.73</td></tr><tr><td>R04</td><td>0.77</td></tr><tr><td>R05</td><td>0.77</td></tr><tr><td>R06</td><td>0.77</td></tr><tr><td>R07</td><td>0.77</td></tr></tbody></table>						指標	値	基準	0.97	R03	0.73	R04	0.77	R05	0.77	R06	0.77	R07	0.77	
	指標	値																							
	基準	0.97																							
R03	0.73																								
R04	0.77																								
R05	0.77																								
R06	0.77																								
R07	0.77																								
(原因) 物価高騰と賃金引上げによる企業コストの増加が採用抑制につながったことが要因と考えられます。				(低下)																					
					目 標 達成度																				
					—																				

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 03 地域資源を活用した賑わいの創出

施策の目指す姿

本市ならではの魅力的な資源の付加価値を高めることで、観光客が増加し、賑わいを創り出すことができています。

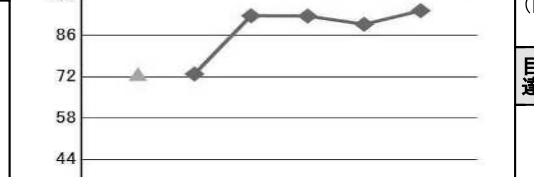
施策の成果状況と評価

指標①	まちに賑わいがあると感じる市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化観光課	%	27.5	37.7	38.8	➔	
評価	(原因) 多賀城創建1300年の節目の年を経て、賑わい創出につながる様々な取組を継続的に行っていることに加え、多賀城南門と多賀城跡ガイダンス施設、宮城オルレ多賀城コース、中央公園スケートパークの開設もあって、市内外からの注目を浴びて、市民をはじめ多くの方々が来訪している状況がメディアに取り上げられたことが要因と考えられます。				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					(向上)
										目標達成度 (達成)

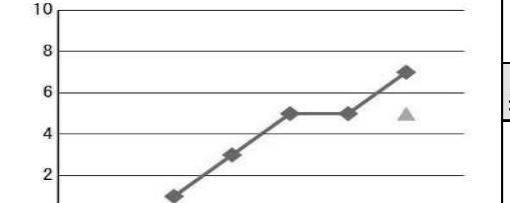
指標②	観光客入込数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化観光課	千人/年	651	807	1,653	670	
評価	暦年での人数。県観光統計実績値 (原因) 既存の入込数調査地点等の入込数は、多賀城創建1300年記念事業により増加していた令和6年度から減少しましたが、全体としては東北随一の文化交流拠点を目指す多賀城市立図書館(多賀城駅北ビルA棟)が調査地点に加わったことにより基準値を大きく超えています。そのほか、多賀城南門や宮城オルレ多賀城コース等の新たな文化観光資源が旅行ツアーの経由地に組み入れられることなど、観光コンテンツとして認知されてきたことが要因と考えられます。				(千人/年) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					(向上)
										目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光受入体制の構築

指標 ①	観光客の満足度				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき													
	成果	課独自調査	上がると良い	文化観光課	%	73	89.8	94.4	➡	 (向上)													
評価	(原因) 宮城オルレ多賀城コース造成や古代衣装の着付体験コンテンツの整備など、地域資源を活用した新たな魅力が創出されており、本市を訪れた観光客から評価されたことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(%)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>満足度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>73</td></tr><tr><td>R03</td><td>72</td></tr><tr><td>R04</td><td>89.8</td></tr><tr><td>R05</td><td>89.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>86</td></tr><tr><td>R07</td><td>94.4</td></tr></tbody></table>				年度	満足度 (%)	基準	73	R03	72	R04	89.8	R05	89.8	R06	86	R07	94.4	 (向上)
									年度	満足度 (%)													
基準	73																						
R03	72																						
R04	89.8																						
R05	89.8																						
R06	86																						
R07	94.4																						
									目 標 達成度														
										 (達成)													

基本事業02 地域資源の付加価値創造

指標 ①	新たな魅力が創出された地域資源等の個数（累計）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	上がると良い	文化観光課	個	—	5	7	5	 (向上)														
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計				(個)  <table border="1"><caption>地域資源等の個数（累計）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>個数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>0</td></tr><tr><td>R03</td><td>1</td></tr><tr><td>R04</td><td>3</td></tr><tr><td>R05</td><td>5</td></tr><tr><td>R06</td><td>5</td></tr><tr><td>R07</td><td>7</td></tr></tbody></table>					年度	個数	基準	0	R03	1	R04	3	R05	5	R06	5	R07	7	目標 達成度
	年度	個数																						
基準	0																							
R03	1																							
R04	3																							
R05	5																							
R06	5																							
R07	7																							
	（原因）特別史跡多賀城跡附寺跡や市内の歌枕を経由する宮城オルレ多賀城コースが造成され、同コースを活用したツアーや体験プログラムが生まれたこと、史都多賀城万葉まつりで使用されている万葉衣装や多賀城創建1300年記念事業として制作された天平衣装と古代兵士の鎧が、着付体験のコンテンツとして整備されたことが要因と考えられます。									 (達成)														

政策6

地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり
(地域創生)

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 01 地域経営の振興

施策の目指す姿

地域の自治活動などの公益的活動に多くの市民が参加し、自立的で継続的な地域経営が行われ、地域課題の解決やまちの良さの向上が図られることで、人とまちが共に輝く地域づくりを進めることができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地域自治活動に参加している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.7	35.4	31.6	➔	
評価	(原因) 自治活動の必要性は感じているものの、共働き世帯の増加、長時間労働、介護・子育て負担など時間的・生活的制約の増大により参加が難しい状況や、参加しなくても生活が成り立つ社会構造となりつつあることが要因と考えられます。									傘 (低下)
										目標 達成度 ■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域経営の基盤構築

指標①	地域経営の仕組や体制の構築に向けた協議等の回数（累計）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	回	—	42	59	30	
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									 (向上)
	(原因) それぞれの自治会・町内会での取組、課題等について、既存の会議を活用し、情報を共有できたことが要因です。									 目標達成度

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

指標①	自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.9	34.9	38.6	➔	
評価	(原因) 自治会・町内会独自の事業が開催されるなど、自治会・町内会活動に触れる機会が増え、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じる機会が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 (横ばい)
										 目標達成度

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

指標②	自治会・町内会の加入率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	85.1	83.4	82	86	
評価	(原因) 自治会・町内会活動の必要性を理解してはいるものの、共働き世帯の増加、長時間労働、介護・子育て負担など時間的・生活的制約の増大により、加入を見合わせる世帯が拡大していることが要因と考えられます。									 (低下)
										 目標達成度

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 02 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進

施策の目指す姿

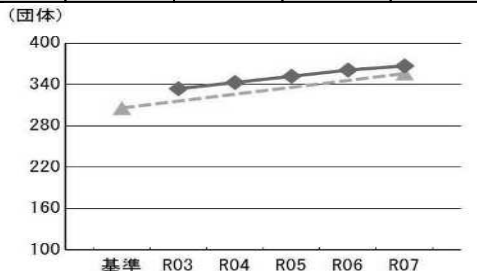
市民活動団体や企業など多様な主体との連携や協働により、活動の輪が広がることで、誰もが暮らしやすいまちを形成することができています。

施策の成果状況と評価

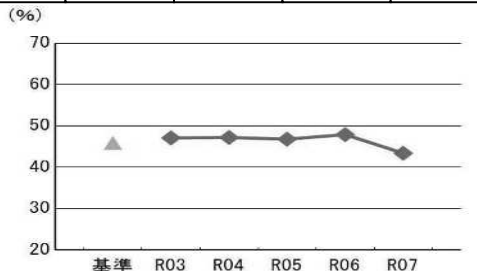
指標 ①	多様な主体がまちづくりに関わっていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	42.5	41.3	44	➔	☀ (横ばい)
評価	(原因) 市民活動団体や企業など多様な主体がまちづくりに関わっている機会が増えてきたことが要因と考えられます。特に30代で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答する割合が増加しており、子育てや教育を通じた関わりの中で多様な主体の活動に触れる機会が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					目標 達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

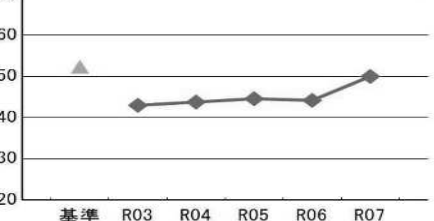
基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

指標①	団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	306	361	367	356	 (向上)
評価	各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象				(団体) 					 目標 達成度
	(原因)福祉・子ども関連等の分野で登録団体数が増加しました。市民活動サポートセンターでの相談対応を経て、新たな取組を始めた団体が増えたことが要因と考えられます。									 (達成)

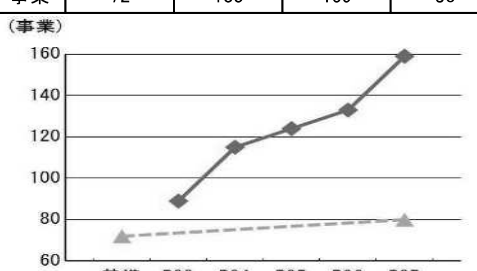
基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

指標②	市民活動等への参画意思のある市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	45.9	47.9	43.4	➔	 (横ばい)
評価	(原因) 64歳以下において半数以上が「興味や関心がないので、参加する気はない」と回答しており、施策の展開が市民の市民活動やボランティア活動に対する関心に届くまでに至らなかったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%)  基準 R03 R04 R05 R06 R07					 目標達成度
										 (高)

基本事業02 共生社会の推進

指標①	性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思える市民割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき													
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	52.4	44.2	50	➔	 (横ばい)													
評価	(原因) 4割が「わからない」と回答している状況に変わりありませんが、男女共同参画や人権に関する各種講座、啓発活動を行ったことで、多くの世代で、性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されているまちだと理解されつつあることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>52.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>44.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>44.2</td></tr><tr><td>R05</td><td>44.2</td></tr><tr><td>R06</td><td>44.2</td></tr><tr><td>R07</td><td>50</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	52.4	R03	44.2	R04	44.2	R05	44.2	R06	44.2	R07	50	 目標達成度
									項目	値													
基準	52.4																						
R03	44.2																						
R04	44.2																						
R05	44.2																						
R06	44.2																						
R07	50																						
									 (高)														

基本事業03 職員の協働実践意識の醸成

指標①	市民参画や協働を取り入れている事業数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	事業	72	133	159	80	 (向上)														
評価	(原因) 市民が主体的に関わる取組や、市、市民、市民活動団体等が対等な立場で協力し、各種事業に取り組むことができたことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】				(事業)  <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>72</td></tr><tr><td>R03</td><td>133</td></tr><tr><td>R04</td><td>133</td></tr><tr><td>R05</td><td>159</td></tr><tr><td>R06</td><td>159</td></tr><tr><td>R07</td><td>159</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	72	R03	133	R04	133	R05	159	R06	159	R07	159	 目標達成度
										項目	値													
基準	72																							
R03	133																							
R04	133																							
R05	159																							
R06	159																							
R07	159																							
									 (達成)															

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 03 地域資源を活用した市民文化の創造

施策の目指す姿

本市ならではの地域資源がいかされることで、このまちへの愛着や誇りといったシビックプライドが醸成され、市民が主体的に創造的な活動を行おうとする環境を育むことができます。

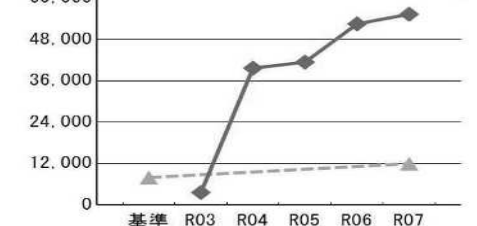
施策の成果状況と評価

指標①	暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化観光課	%	22.8	30.5	30.8	➔	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城創建1300年記念事業を継続的に進めることにより市民の認知度が高まるとともに、宮城オルレ多賀城コースの開設によって沿線自治会・町内会との関係が深まり、また、マスコミにも取り上げられたことにより、「多賀城の魅力」、「多賀城らしさ」を認識する機会となったことが要因と考えられます。									目標達成度 ☀ (達成)

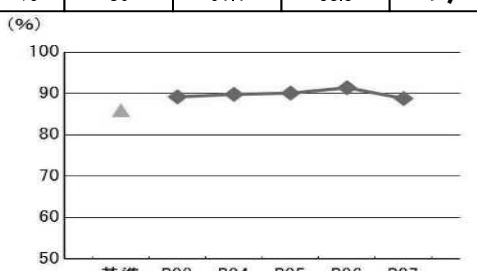
指標②	多くのことにチャレンジできるまちだと思える市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	企画課	%	18.6	27.5	28.1	➔	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城創建1300年を記念して始めた取組の継続的な実施に加え、令和7年11月の宮城オルレ多賀城コース開設、アーバンスポーツへの挑戦を促すワークショップなどを経て令和8年3月にオープンした中央公園スケートパークによりチャレンジできるまちという機運が高まったことや、市内で起業や挑戦を希望される方々への支援体制を構築できていることが要因と考えられます。									目標達成度 ☀ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

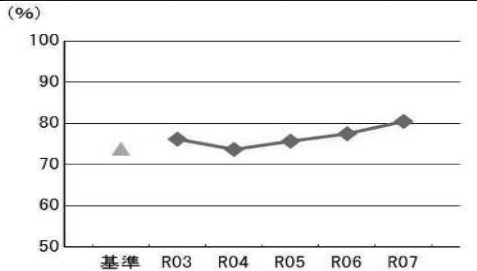
基本事業01 まちの魅力発見の推進

指標①	歴史文化資源活用事業参加者数				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき																					
	代替	業務取得	上がると良い	文化観光課	人/年	7,976	52,538	55,339	12,000	 (向上)																					
評価	(原因) 多賀城創建1300年の節目の年からの継続的な事業の推進及び宮城オルレ多賀城コースの開設によって、これまで多賀城跡を訪れたことのない層の市民や来訪者等が歴史的資源に足を運ぶようなキッカケを創出することができたことが要因と考えられます。				(人/年)  <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>-</td><td>5,000</td><td>37,000</td><td>39,000</td><td>52,538</td><td>55,339</td></tr><tr><td>目標値</td><td>12,000</td><td>12,000</td><td>12,000</td><td>12,000</td><td>12,000</td><td>12,000</td></tr></tbody></table> 基準 目標達成度  (達成)						年次	基準	R03	R04	R05	R06	R07	実績値	-	5,000	37,000	39,000	52,538	55,339	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
											年次	基準	R03	R04	R05	R06	R07														
実績値	-	5,000	37,000	39,000	52,538	55,339																									
目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000																									

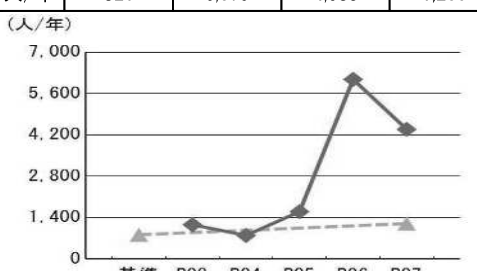
基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

指標①	まちの情報を多様な媒体から得ている市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	86	91.4	88.8	➡	☀ (横ばい)
評価	(原因) 広報多賀城から情報を得ているという回答が最も高く7割を超えており、次いでテレビ、自治会・町内会の回覧板、市公式LINE、議会だより、市ホームページ、新聞の順となっています。市民が自分に合った媒体で市から情報を得ることができるよう多様な媒体を設けていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標 達成度
										☀ (高)

基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

指標②	まちづくりへの意見を伝える機会や手段に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	73.9	77.5	80.5	➡	☀ (向上)
評価	(原因) 窓口や電話での問合せ対応をはじめ、市政提言箱「さざんか」、電子メールや市ホームページのメールフォーム等の問合せ環境を整備していることが、満足度の向上につながっている要因と考えられます。									目標 達成度
										☀ (達成)

基本事業03 ふれあい交流の促進

指標①	ふれあいの場・機会への参加者数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	文化観光課	人/年	821	6,079	4,388	1,200	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城創建1300年の節目の年である令和6年度よりも減少していますが、通年レベルの事業規模として継続的に実施し、前期目標を達成しています。宮城オルレ多賀城コースの開設に伴い、コース沿線の自治会・町内会等が来訪者をおもてなしする機運が高まり、参加者数増加につながっているため、市民と来訪者のふれあいの機会とまちへの親しみを深める機会が増えていることが要因と考えられます。									目標 達成度
										☀ (達成)

政策7

縮減社会への対応 持続可能な行財政経営
(行財政経営)

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 01 適正な事務の執行と行政サービスの提供

施策の目指す姿

行政事務が適正に執行され、市民からの理解と信頼の得られるサービスを提供することができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民からの理解と信頼の得られる行政サービスが提供されていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	70.9	76.4	79.2	➔	
評価	(原因) 行政事務が適正に執行されたことが要因と考えられます。									(向上)
										目標 達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 適正な契約事務の執行

指標①	入札契約監視委員会の改善事項数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	財政課	件/年	0	0	0	0	
評価	入札契約監視委員会は、令和2年度から設置しています。				(件/年)					☀ (横ばい)
	(原因) 関係法令に基づき入札及び契約手続きを適正に実施していることやこれまでの入札制度の改善による成果が要因と考えられます。									目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 適正な会計事務の執行

指標①	例月出納検査の指導件数割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	会計課	%	0.03	0.09	0.03	→	
評価	(原因) 会計伝票処理の電子決裁移行に伴い、不慣れだったシステム操作や処理手順が定着したことが要因と考えられます。				(%)					☀ (横ばい)
										目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標①	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	選挙管理委員会事務局	件/年	0	0	0	0	
評価	(原因) 事務従事職員説明会で適切な説明を行ったことや選挙機器を配備したことが要因と考えられます。				(件/年)					☀ (横ばい)
										目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標②	選挙の投票率 (衆議院)				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	53.8	49.58	57.32	—	
評価	(原因) SNS及び動画サイトでの啓発活動や配信等により有権者(市民)の政治・社会に対する関心が高くなってきていることが要因と考えられます。				(%)					—
										目標達成度 —

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標 ③	選挙の投票率（参議院）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	51.94	—	56.21	—	—
評 価	(原因) SNS及び動画サイトでの啓発活動や配信等により有権者(市民)の政治・社会に対する関心が高くなってきていることが要因と考えられます。									目 標 達成度
										—

基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標 ⑥	選挙の投票率（県知事）				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	54.5	—	47.14	—	—
評 価	(原因) SNS及び動画サイトでの啓発活動や配信等により、有権者(市民)の政治・社会に対する関心が高くなっているものの、比較対象の選挙が、国政選挙と同日の選挙であったことが低くなった要因と考えられます。※直近の単独選挙と比較すると高くなっています(平成25年39.59%)。									目 標 達成度
										—

基本事業04 公正な監査事務の執行

指標 ①	定期監査指摘事項等の改善率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	100	100	→	☀ (横ばい)
評 価	(原因) 措置状況の報告を求めることを徹底し、改善を促していることが要因と考えられます。									目 標 達成度
										🏰 (達成)

基本事業04 公正な監査事務の執行

指標 ②	例月出納検査指摘事項等の改善率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	100	100	→	☀ (横ばい)
評 価	(原因) 改善内容の報告を求めることで改善を促していることが要因と考えられます。									目 標 達成度
										🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標 ①	情報漏えい事件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	下がると良い	企画課 I C T 推進室	件/年	1	6	28	0	☔ (低下)														
評価	(原因) 受け付けた申請書類の管理、書類の送付の際の確認体制に不備があったことなどが要因です。				(件/年) <table><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>1</td></tr><tr><td>R03</td><td>3</td></tr><tr><td>R04</td><td>7</td></tr><tr><td>R05</td><td>6</td></tr><tr><td>R06</td><td>6</td></tr><tr><td>R07</td><td>28</td></tr></tbody></table>						年度	件数	基準	1	R03	3	R04	7	R05	6	R06	6	R07	28
					年度	件数																		
基準	1																							
R03	3																							
R04	7																							
R05	6																							
R06	6																							
R07	28																							

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 02 組織・人事マネジメントの推進

施策の目指す姿

組織力と職員力が向上し、発揮されることで、めまぐるしく変化する社会環境と、多様化する行政課題に対応することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	70.1	72.8	75.7	➔	
評価	(原因) 育成評価制度の継続的な運用を行うことによって人材育成基本方針の求められる多賀城市職員像が意識・習得・実践されたため、職員間での連携を深めて業務を進める取組が推進されたことが要因と考えられます。				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					☀ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

指標②	組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	78.6	83	➔	
評価	(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加している中であっても、行政評価や育成評価制度の運用によって職員の目的意識が醸成され、改善・解決のための様々な取組が推進されたことが要因と考えられます。				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人材の育成

指標①	研修受講等によって、能力等の向上が図られたと思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	69.6	74.4	73.1	➔	
評価	(原因) 研修受講による能力の向上だけでなく、日常業務を通じた自己研鑽やメンター制度を含めた上司・先輩等からのOJT等による育成環境が機能していることが要因と考えられます。									 目標達成度

基本事業02 組織力の向上と適正な人事管理

指標①	能力等を発揮し、意欲的に業務に取り組める職場だと思ふ職員割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	76.4	77.3	➔	
評価	(原因) 行政評価や育成評価制度の継続的な運用を行うことによって人材育成基本方針の求められる多賀城市職員像が意識・習得・実践されたため、成長する意欲を持ち、課題に挑戦する意識が醸成され、積極的な業務への取組が推進されたことが要因と考えられます。									 目標達成度

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

指標①	健康で安心して働くことができると思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	72.8	80.6	77.8	➔	
評価	(原因) ハラスメント防止研修やメンター制度の実施により、職場環境改善に対する意識醸成・実践や相談体制が確保されたことで、職員の心理的安全性が高まったことが要因と考えられます。									 目標達成度

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

指標②	公務中に発生した労働災害件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	5	1	2	0	
評価	(原因) 公用車の運行に伴う事故の防止を始めとして、公務中における事故や怪我の防止に対する職員の高い意識が組織内で広く浸透しつつあるものの、施設における不審者訓練等の際に不慮の事故が発生したことが要因と考えられます。									 目標達成度

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 03 健全な企業経営の推進

施策の目指す姿

能率的な企業経営が発揮されることで、将来にわたり持続可能な事業運営を行うことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	経常収支比率（水道事業）				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	107.3	111.3	107.6	109.1	(横ばい)														
評価	（原因）令和2年度に水道料金の減額改定を行ったため給水収益が減少し、また岡田水源の廃止による資産減耗費の増加等により費用が増加したことが要因です。				(%)<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>107.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>111.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>107.6</td></tr><tr><td>R05</td><td>109.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>107.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>109.1</td></tr></tbody></table>						年度	実績値 (%)	基準	107.3	R03	111.3	R04	107.6	R05	109.1	R06	107.6	R07	109.1
					年度	実績値 (%)																		
基準	107.3																							
R03	111.3																							
R04	107.6																							
R05	109.1																							
R06	107.6																							
R07	109.1																							
					目標達成度 (低)																			

指標②	経常収支比率（下水道事業）				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	—	109.2	111.9	105.7	目標 達成度 (達成)														
評価	令和2年度から企業会計方式へ移行したことから、基準値を「—」としています。				(%)	<table><caption>経常収支比率（下水道事業）実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>—</td></tr><tr><td>R03</td><td>109.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>111.9</td></tr><tr><td>R05</td><td>105.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>105.7</td></tr><tr><td>R07</td><td>105.7</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (%)	基準	—	R03	109.2	R04	111.9	R05	105.7	R06	105.7	R07	105.7
	年度	実績値 (%)																						
基準	—																							
R03	109.2																							
R04	111.9																							
R05	105.7																							
R06	105.7																							
R07	105.7																							
	(原因) 汚水事業については、汚水処理に要する経費を下水道使用料だけで賄える状況には達していませんが、雨水事業における利益が汚水事業における損失を上回っていることが要因です。																							

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

指標①	料金回収率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	101.8	95.9	100.6	103.7	(横ばい)
評価	(原因) 令和2年度に水道料金の減額改定を行ったため給水収益は減少し、また岡田水源の廃止による資産減耗費の増加により費用が増加したことが要因です。									目標 達成度
										(低)

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

指標②	企業債残高対給水収益比率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	183	202.9	185.9	188.4	(横ばい)
評価	(原因) 令和2年度の水道料金の減額改定により給水収益は減少していますが、企業債の計画的な発行や償還に努めた結果、企業債残高が減少していることが要因です。									目標 達成度
										(達成)

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

指標①	経費回収率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	85.2	87.9	89.1	100	(向上)
評価	(原因) 企業債残高の減少に伴い支払利息が減少したこと等が要因です。									目標 達成度
										(低)

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

指標②	企業債残高対事業規模比率				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	719	536.9	444.5	640.2	(向上)
評価	(原因) 企業債の計画的な発行や償還に努めた結果、企業債残高が毎年減少していることが要因です。									目標 達成度
										(達成)

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 04 環境変化に対応した行財政経営の推進

施策の目指す姿

行財政経営資源が適切に把握、投資されることで、時勢の変化に対応した効果的・効率的な行財政経営を行うことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	67.2	71.9	77	➔	
評価	(原因) 縮充の基本方針のもと、限られた行財政資源を効果的・効率的に投資しており、事務のデジタル化を積極的に活用する等、持続可能な行財政経営を行えていることが要因と考えられます。									☀ (向上)
										目標 達成度 🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 行政評価による事業のマネジメント

指標①	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	94.1	95.6	94.5	→	☀ (横ばい)
評価	(原因) 行政評価によるPDSマネジメントサイクルの仕組みが職員に定着してきたことが要因と考えられます。									目標達成度 ☀ (達成)

基本事業02 健全な財政の維持

指標①	単年度基礎的財政収支（プライマリーバランス）				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	財政課	百万円	4,189	1,055	-117	0	☂ (低下)
評価	目標値は0以上。(歳入決算額-市債借入額)-(歳出決算額-市債償還額)									目標達成度 ☂ (低)
	(原因) 定期償還に加え繰上償還を実施した基準年度である平成31年度に比べ、令和7年度においては、定期償還のみを実施したこと及び市庁舎耐震対策等事業や学校環境整備事業[山王小学校]等比較的大きな起債借入れを行ったことが要因と考えられます。									

基本事業02 健全な財政の維持

指標②	市税の収納率				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	収納課	%	97.9	98.4	98.6	→	☀ (向上)
評価	税目:市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税									目標達成度 ☀ (達成)
	(原因) 現年課税分及び滞納繰越分ともに収納率の向上が見られました。個人所得がゆるやかに回復してきているほか、地方税統一QRコードを利用した納付方法の導入などにより利便性が向上したことが要因と考えられます。									

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

指標①	計画的な改修達成率				単位	基準値	実績値(R06)	実績値(R07)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	その他	環境施設課	%	90	—	—	100	—
評価	公共施設等総合管理計画で当該年度に更新予定の施設数に対する達成率									目標達成度 — —
	(原因) 令和6年3月の多賀城市公共施設等総合管理計画改訂により、当該年度に更新予定の施設数の記載を見直したため、令和6年度から指標値が計測不可となりました。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

指標②	事故発生による保険金支払い件数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	財政課	件/年	0	0	1	0	---
評価	(原因) 市有財産の定期点検等は実施していたものの、経年劣化への対応が不十分だったことが要因です。				(件/年) 					目標 達成度 (低)

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

指標①	Web上で手続きが可能な業務数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	企画課ICT推進室	件	12	229	253	➔	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城市役所経営プランに基づき、電子申請システムを用いたオンライン手続の拡充を推進していることに加え、Microsoft Forms及びびったりサービスの操作説明会を実施し、その活用を図ったことが要因です。				(件) 					目標 達成度 (達成)

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

指標②	ICTの活用により効率化が図られた業務数				単位	基準値	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	企画課ICT推進室	業務	53	276	291	➔	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城市役所経営プランに基づき、ICT等の積極的な利活用を推進し、Web上で手続きが可能な業務が増加したことが要因です。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(業務) 					目標 達成度 (達成)

(参考)
多賀城市まちづくりアンケート調査結果
〈令和7年度実施〉

①多賀城市まちづくりアンケートの令和7年度実施状況

多賀城市まちづくりアンケートは、総合計画の施策や基本事業に設定している指標の進捗状況を調査するため、毎年度実施しています。令和7年度の実施状況は、次のとおりです。

アンケート発送日	令和8年1月30日
アンケート発送数	3,000通
調査対象者数	2,997人
有効回収数	1,473人
回収率	49.1%

②市民の満足度と重要度の調査結果

今後のまちづくりにいかしていくことを目的として、各施策に対する市民ニーズ(満足度、重要度)の状況を、多賀城市まちづくりアンケートによって取得しています。ここでは、アンケートにより把握した29の施策に対する市民満足度と重要度の状況を5点満点で点数化し、前期基本計画の基準値である令和2年度と令和7年度の数値を比較します。

満足度	
・満足	5点
・どちらかといえば満足	4点
・普通	3点
・どちらかといえば不満	2点
・不満	1点

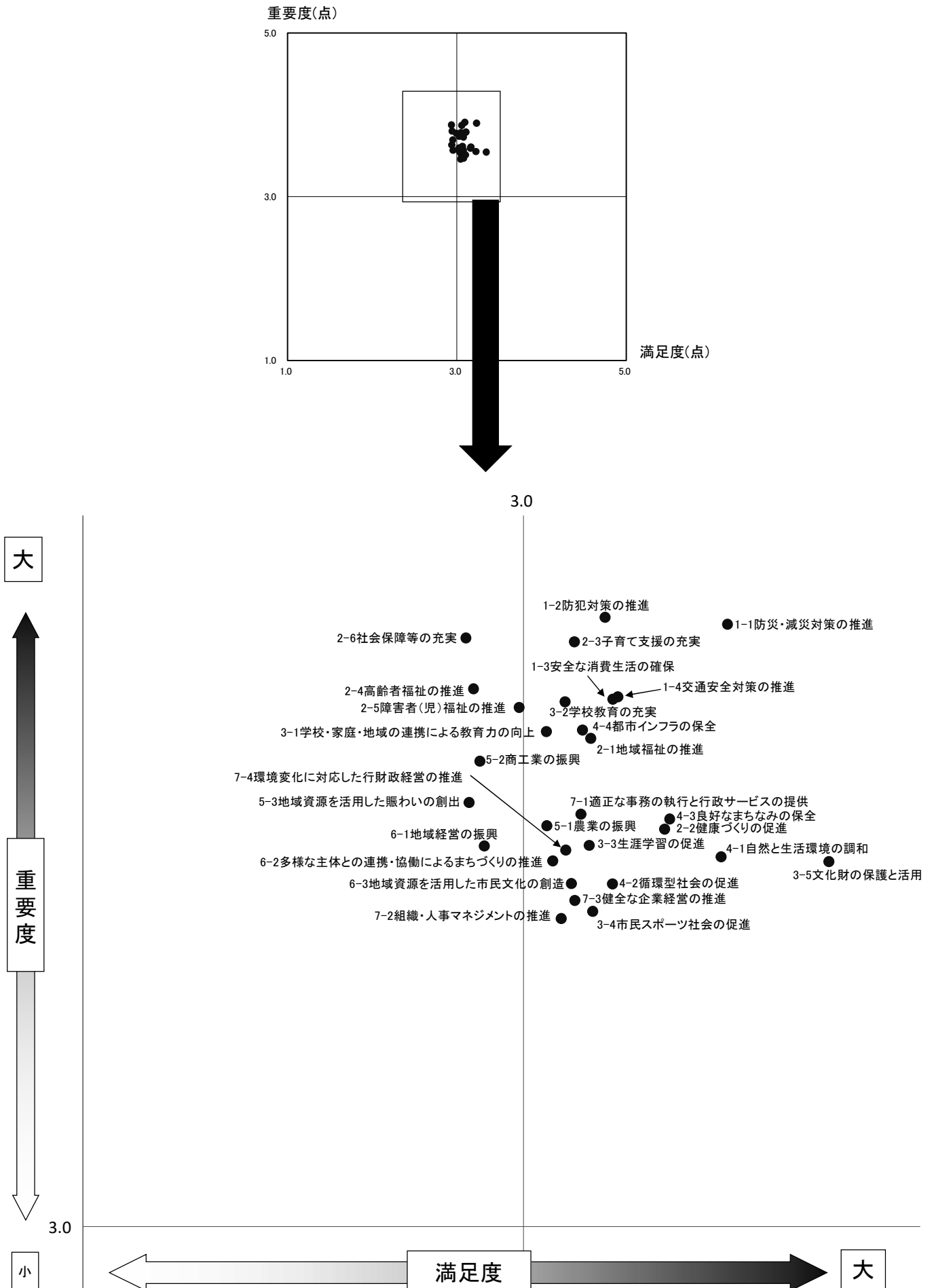
重要度	
・力を入れるべき	5点
・できれば力を入れるべき	4点
・今のままでよい	3点
・あまり力を入れなくてよい	2点
・力を入れなくてよい	1点

政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和7年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和7年度 E	対2年度比 F(E-D)
1-1	防災・減災対策の推進	3.13	3.23	0.10	3.93	3.90	△ 0.03
1-2	防犯対策の推進	3.04	3.09	0.05	3.88	3.91	0.03
1-3	安全な消費生活の確保	3.12	3.10	△ 0.02	3.60	3.79	0.19
1-4	交通安全対策の推進	3.02	3.11	0.09	3.76	3.79	0.03
2-1	地域福祉の推進	2.97	3.08	0.11	3.72	3.73	0.01
2-2	健康づくりの推進	3.06	3.16	0.10	3.59	3.59	0.00
2-3	子育て支援の充実	2.97	3.06	0.09	3.88	3.87	△ 0.01
2-4	高齢者福祉の推進	2.92	2.94	0.02	3.84	3.80	△ 0.04
2-5	障害者(児)福祉の推進	2.96	2.99	0.03	3.78	3.77	△ 0.01
2-6	社会保障等の充実	2.89	2.93	0.04	3.81	3.88	0.07

政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和7年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和7年度 E	対2年度比 F(E-D)
3-1	学校・家庭・地域の連携による 教育力の向上	2.95	3.03	0.08	3.74	3.74	0.00
3-2	学校教育の充実	2.97	3.05	0.08	3.76	3.78	0.02
3-3	生涯学習の促進	2.98	3.07	0.09	3.54	3.57	0.03
3-4	市民スポーツ社会の推進	2.98	3.08	0.10	3.44	3.47	0.03
3-5	文化財の保護と活用	3.14	3.35	0.21	3.47	3.54	0.07
4-1	自然と生活環境の調和	3.10	3.22	0.12	3.50	3.55	0.05
4-2	循環型社会の促進	2.98	3.10	0.12	3.47	3.51	0.04
4-3	良好なまちなみの保全	3.02	3.17	0.15	3.53	3.61	0.08
4-4	都市インフラの保全	2.94	3.07	0.13	3.60	3.74	0.14
5-1	農業の振興	2.98	3.03	0.05	3.45	3.60	0.15
5-2	商工業の振興	2.90	2.95	0.05	3.62	3.69	0.07
5-3	地域資源を活用した賑わいの 創出	2.84	2.94	0.10	3.65	3.63	△ 0.02
6-1	地域経営の振興	2.88	2.96	0.08	3.59	3.57	△ 0.02
6-2	多様な主体との連携・協働によ るまちづくりの推進	2.90	3.03	0.13	3.55	3.55	0.00
6-3	地域資源を活用した市民文化 の創造	2.94	3.05	0.11	3.49	3.51	0.02
7-1	適正な事務の執行と行政サー ビスの提供	2.91	3.06	0.15	3.65	3.61	△ 0.04
7-2	組織・人事マネジメントの推進	2.90	3.04	0.14	3.48	3.46	△ 0.02
7-3	健全な企業経営の推進	2.94	3.06	0.12	3.49	3.49	0.00
7-4	環境変化に対応した行財政経 営の推進	2.89	3.05	0.16	3.61	3.56	△ 0.05
	最大	3.14	3.35		3.93	3.91	
	最小	2.84	2.93		3.44	3.46	
	平均	2.97	3.07		3.63	3.66	

●満足度は上がると良い指標であり、重要度は下がると良い指標です。

まちづくりアンケート 満足度重要度結果(令和7年度)



まちづくりアンケート 満足度重要度結果 基準年(令和2年度)・令和7年度比較



政策1

- 1-1 防災・減災対策の推進
- 1-2 防犯対策の推進
- 1-3 安全な消費生活の確保
- 1-4 交通安全対策の推進

政策2

- 2-1 地域福祉の推進
- 2-2 健康づくりの促進
- 2-3 子育て支援の充実
- 2-4 高齢者福祉の推進
- 2-5 障害者(児)福祉の推進
- 2-6 社会保障等の充実

政策3

- 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
- 3-2 学校教育の充実
- 3-3 生涯学習の促進
- 3-4 市民スポーツ社会の促進
- 3-5 文化財の保護と活用

政策4

- 4-1 自然と生活環境の調和
- 4-2 循環型社会の促進
- 4-3 良好なまちなみの保全
- 4-4 都市インフラの保全

政策5

- 5-1 農業の振興
- 5-2 商工業の振興
- 5-3 地域資源を活用した賑わいの創出

政策6

- 6-1 地域経営の振興
- 6-2 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進
- 6-3 地域資源を活用した市民文化の創造

政策7

- 7-1 適正な事務の執行と行政サービスの提供
- 7-2 組織・人事マネジメントの推進
- 7-3 健全な企業経営の推進
- 7-4 環境変化に対応した行財政経営の推進

(参考)統計の見方

①アンケートの配布票数及び有効票数について

統計学的には、対象となる方々の性別、年齢、職業、居住地などをバランスよく抽出しアンケート調査を行い、有効回答が概ね1,000 票となれば、そのアンケート結果は、対象となる母集団の大小に係わらず、ほぼ変わらないとされています。この有効票数1,000 票は、日本国民全体を対象とした場合でもサンプル数としては十分となることから、テレビの支持政党の電話アンケートなどの世論調査でも活用されています。

また、1,000 票程度の有効票数が得られれば、違う人を対象に、同じアンケート調査を100 回行った場合でも、そのうち95 回は、ほぼ同じ結果が得られるとされています。そのため、傾向を判断する場合には、適切な手法ということとなります。ただし、アンケート結果がほぼ同数で回答が分かれるような内容の場合は、統計誤差の関係から、傾向の判断が難しい場合があります。

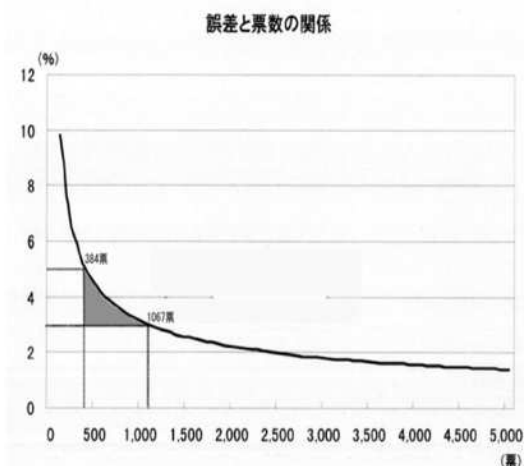
よって、今回実施した「多賀城市まちづくりアンケート」においても、概ね1,000 票の有効回答を目標に、これまで多賀城市で実施したアンケート調査結果などから回収率を約33%と想定し、配布数(対象者数)を3,000 票としました。

②アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、下図のとおり稜線を描くような関係にあります。【下図参照】

つまり、票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差:3~5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると概ね400~1,100 票程度であることが算出されています。

よって、有効回答票の回収数がこの程度あれば、住民意向の把握として十分信頼性の高い数字になると言えます。



【上記は3%~5%の範囲を示しています。】

《参考》

サンプル数(アンケートの有効回答票数)と誤差との関係式

必要なサンプル数

$$= (\text{有意水準}^2 \times P(1-P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準: 統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数(=1.96)

P: 誤差が一番大きくなるのは50%のときなので0.5

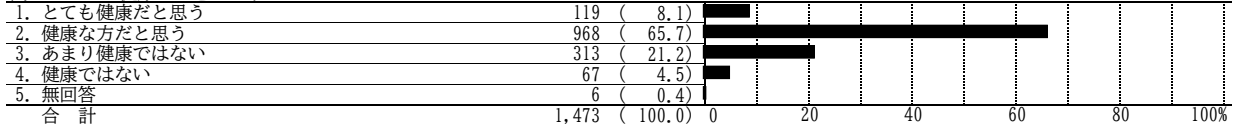
目標誤差: 3~5%以内であれば良いとされている。

③回収票数と誤差

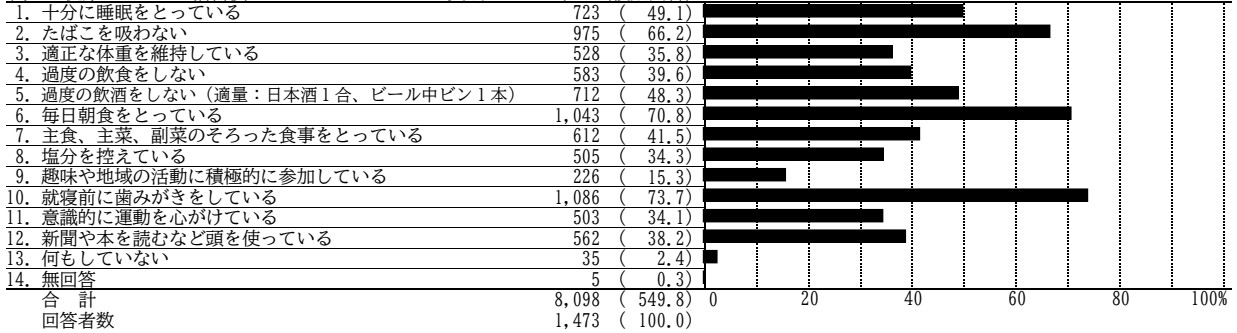
実施の結果として仮に1,000 票の回答があったとすると、上記の式に入れて逆算すると、誤差は3.1%となります。これは、例えば違う人を対象にして、今回と同じ調査を複数回実施しても、結果の%の値が±3.1ポイント以内でしか変わらないということです。

このことから、まちづくり報告書においては、異なる年度との比較を行う際には、5.0ポイントまでの差については、統計誤差として処理することとしています。

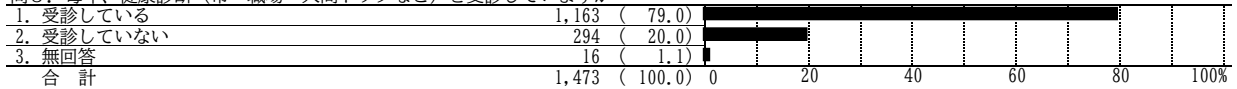
問1. ふだん健康だと思いますか



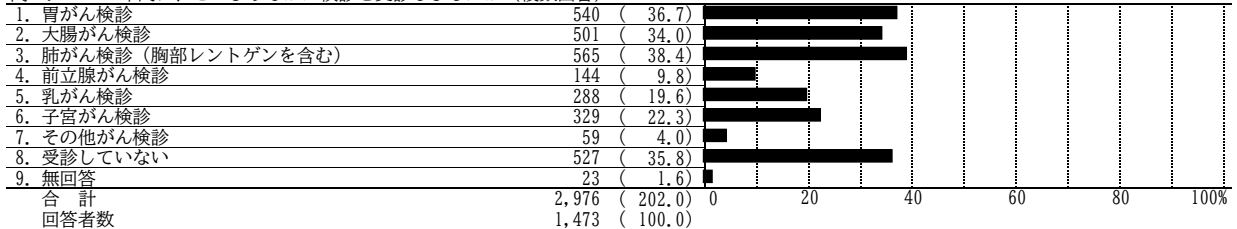
問2. 健康のために生活習慣としてどのようなことを実践していますか（複数回答）



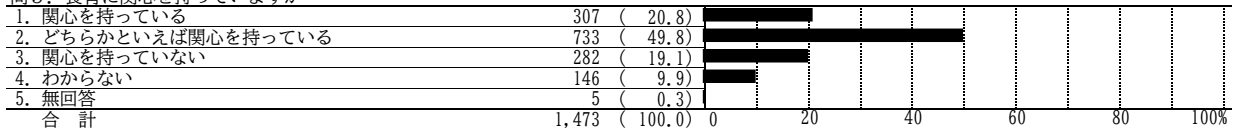
問3. 毎年、健康診断（市・職場・人間ドックなど）を受診していますか



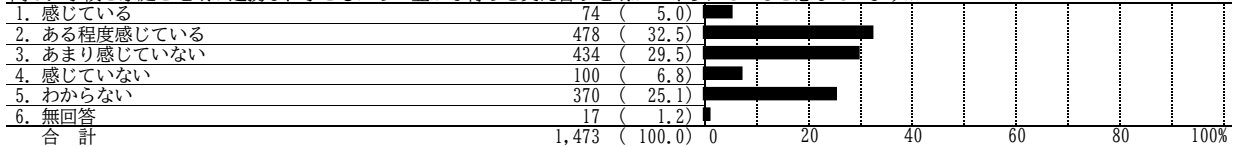
問4. この1年間に、どのようながん検診を受診しましたか（複数回答）



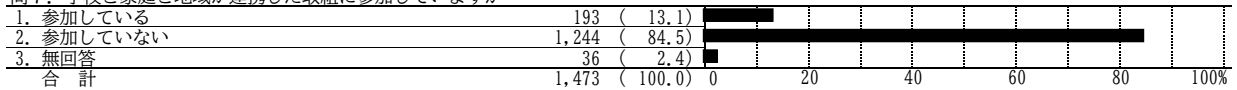
問5. 食育に関心を持っていますか



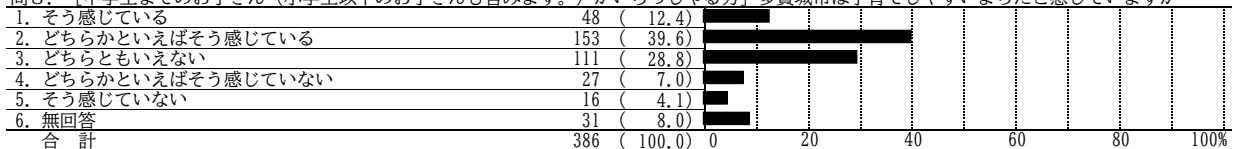
問6. 学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると感じていますか



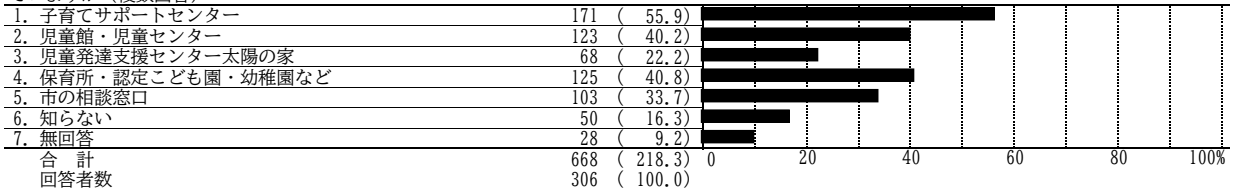
問7. 学校と家庭と地域が連携した取組に参加していますか



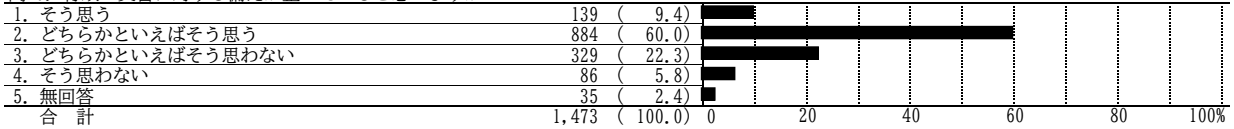
問8. 「中学生までのお子さん（小学生以下のお子さんも含みます。）がいらっしゃる方」多賀城市は子育てしやすいまちだと感じていますか



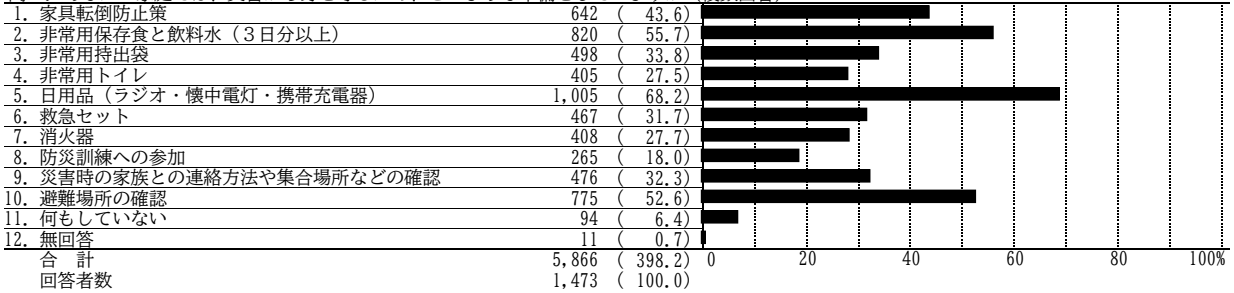
問9. 「小学生までのお子さんがいらっしゃる方」妊娠や出産、子どもの成長や発達など子育てに関する様々な悩みに対応する市の相談窓口を知っていますか（複数回答）



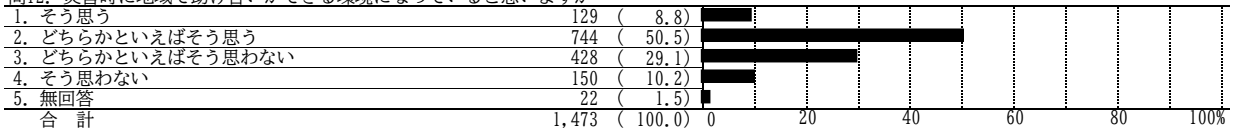
問10. 行政の災害に対する備えが整っていると思いますか



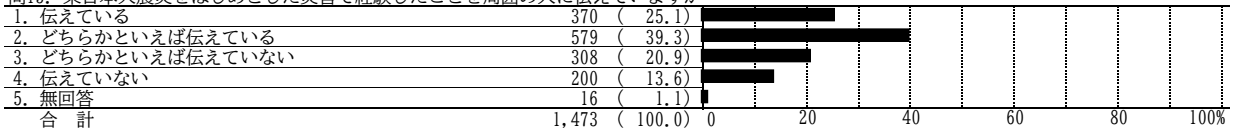
問11. あなたの家庭では、災害から身を守るため、どのような準備をしていますか（複数回答）



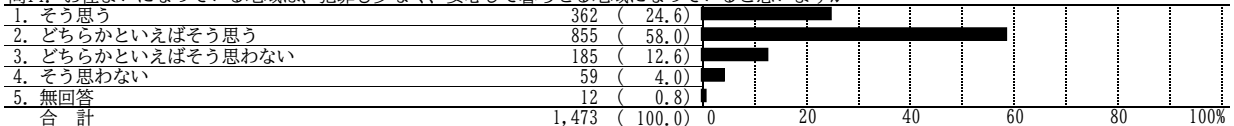
問12. 災害時に地域で助け合いができる環境になっていると思いますか



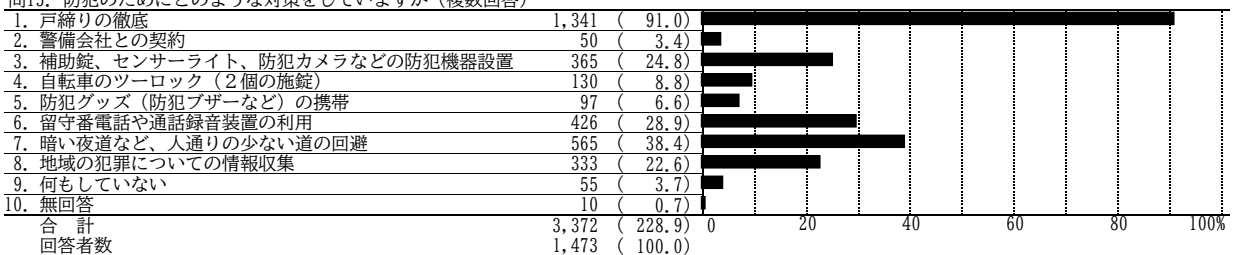
問13. 東日本大震災をはじめとした災害で経験したことを周囲の人に伝えていますか



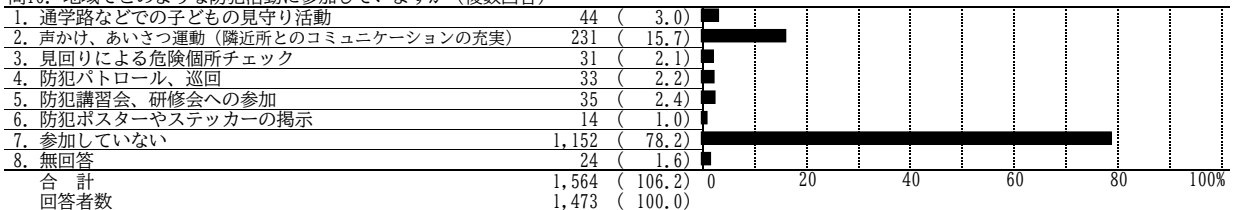
問14. お住まいになっている地域は、犯罪も少なく、安心して暮らせる地域になっていると思いますか



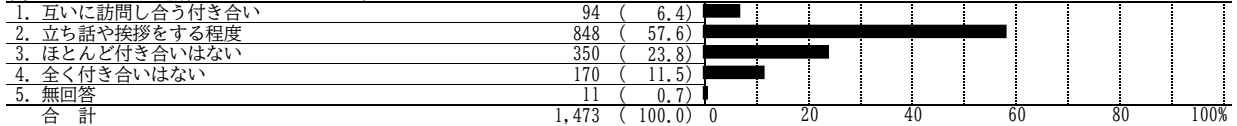
問15. 防犯のためにどのような対策をしていますか（複数回答）



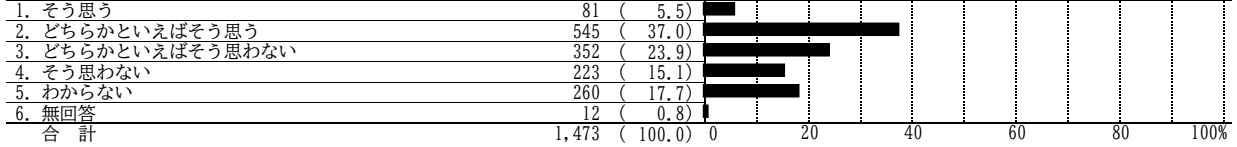
問16. 地域でどのような防犯活動に参加していますか（複数回答）



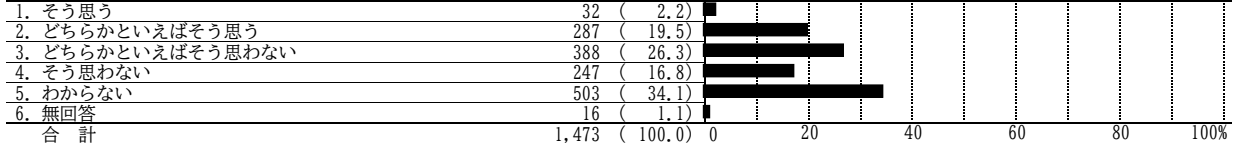
問17. どのような近所づきあいをしていますか



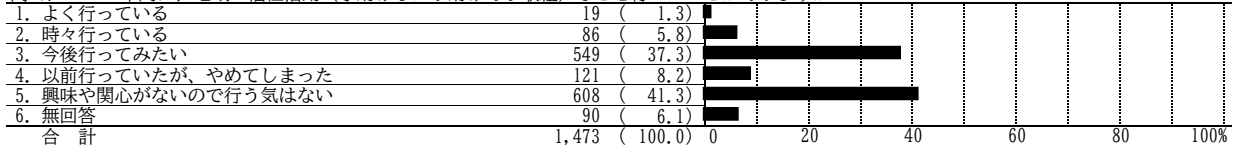
問18. 地域において、互いに助けあい支えあいができていると思いますか



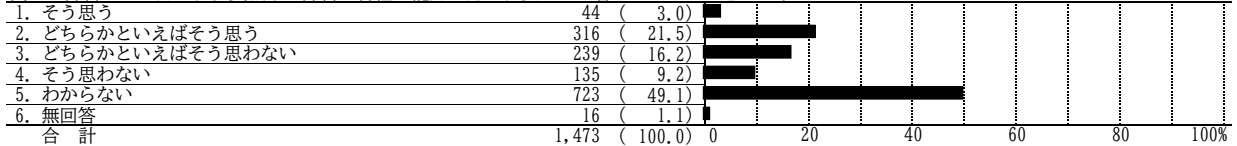
問19. 地域において、要配慮者（障害者や高齢者、75歳以上の一人暮らしの方など）を助け合う仕組みが整っていると思いますか



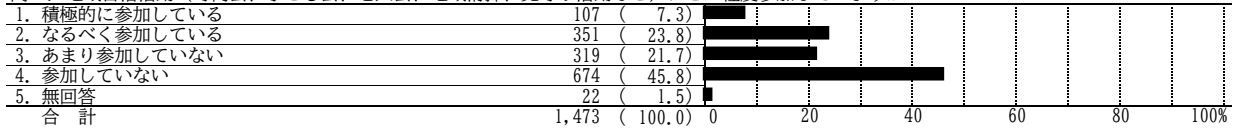
問20. この1年間に、地域の福祉活動（手助けしたり助けあう取組）などを行ったことがありますか



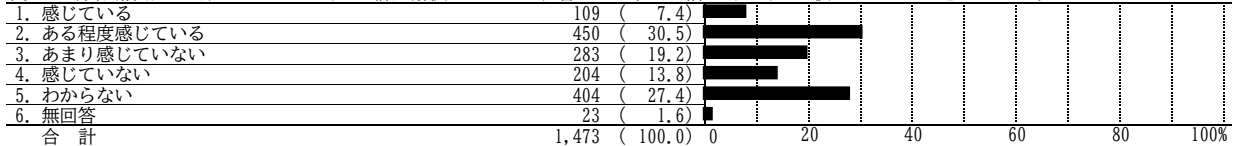
問21. 障害のある方が、多賀城市で障害の特性や能力に応じ、安心して暮らしていると思いますか



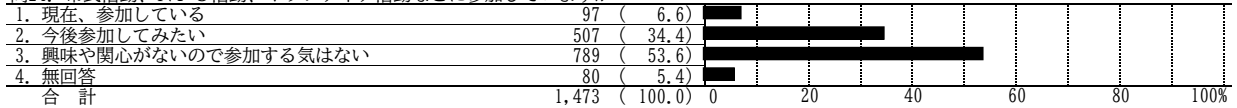
問22. 地域自治活動（町内会、子ども会、老人会、地域清掃、見守り活動など）にどの程度参加していますか



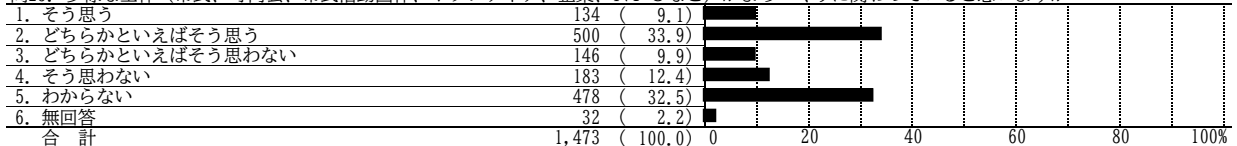
問23. 町内会活動が地域のつながりづくりや課題解決につながり、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じていますか



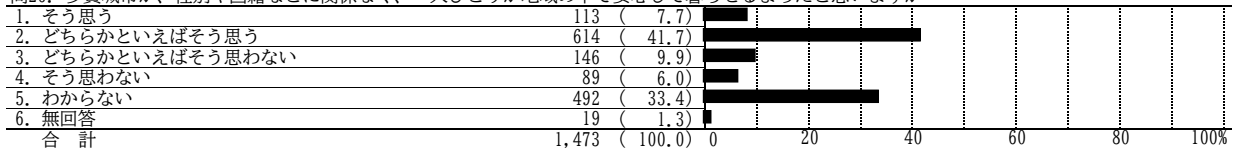
問24. 市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか



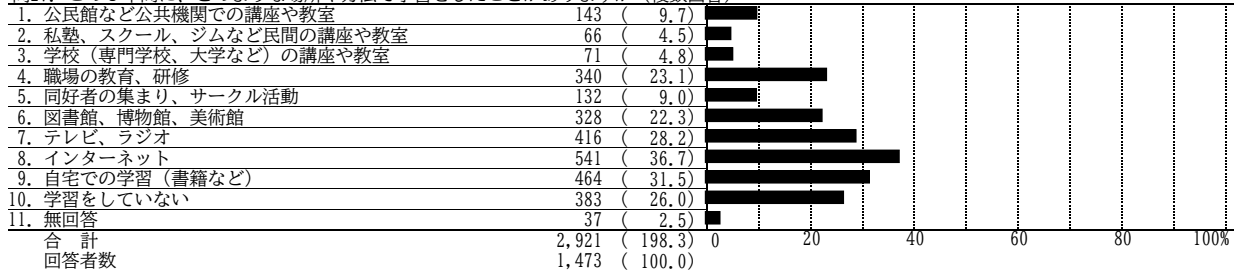
問25. 多様な主体（市民、町内会、市民活動団体、ボランティア、企業、NPOなど）がまちづくりに関わっていると思いますか



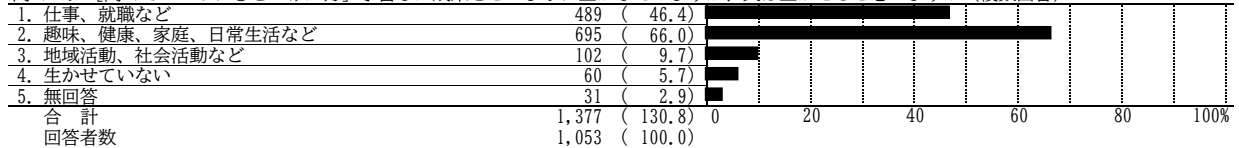
問26. 多賀城市が、性別や国籍などに関係なく、一人ひとりが地域の中で安心して暮らせるまちだと思えますか



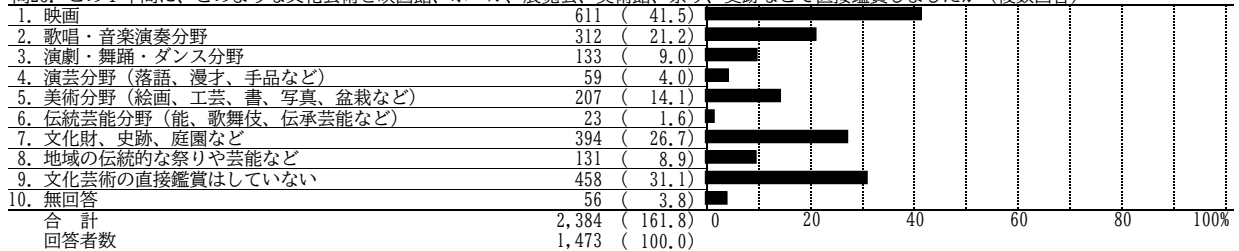
問27. この1年間に、どのような場所や方法で学習をしたことがありますか（複数回答）



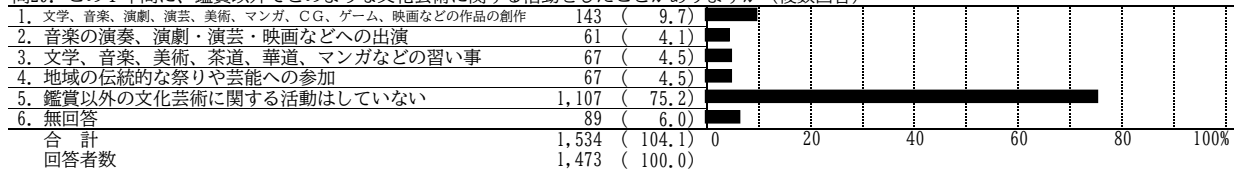
問27-2. 【問27で1～9に○をつけた方】学習した成果をどのように生かしていますか、又は生かせると思いますか（複数回答）



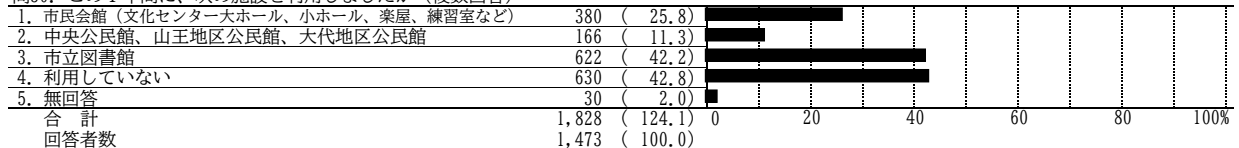
問28. この1年間に、どのような文化芸術を映画館、ホール、展覧会、美術館、祭り、史跡などで直接鑑賞しましたか（複数回答）



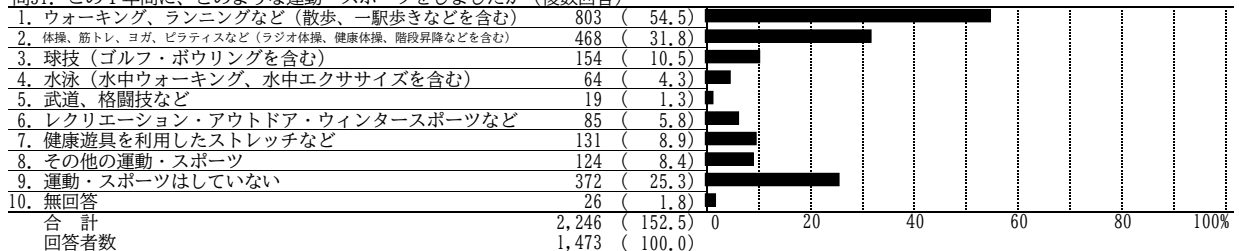
問29. この1年間に、鑑賞以外でどのような文化芸術に関する活動をしたことがありますか（複数回答）



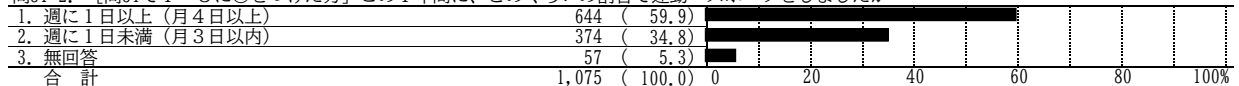
問30. この1年間に、次の施設を利用しましたか（複数回答）



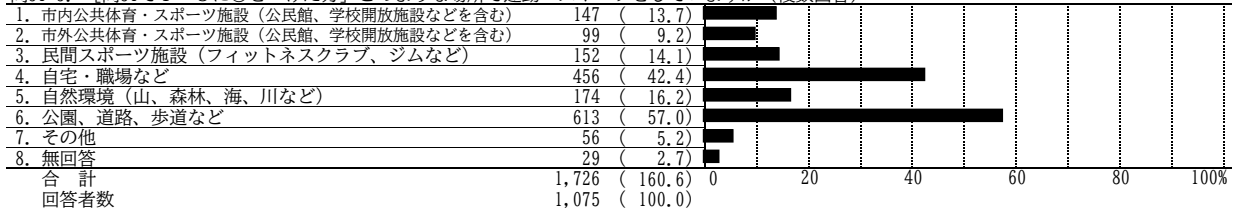
問31. この1年間に、どのような運動・スポーツをしましたか（複数回答）



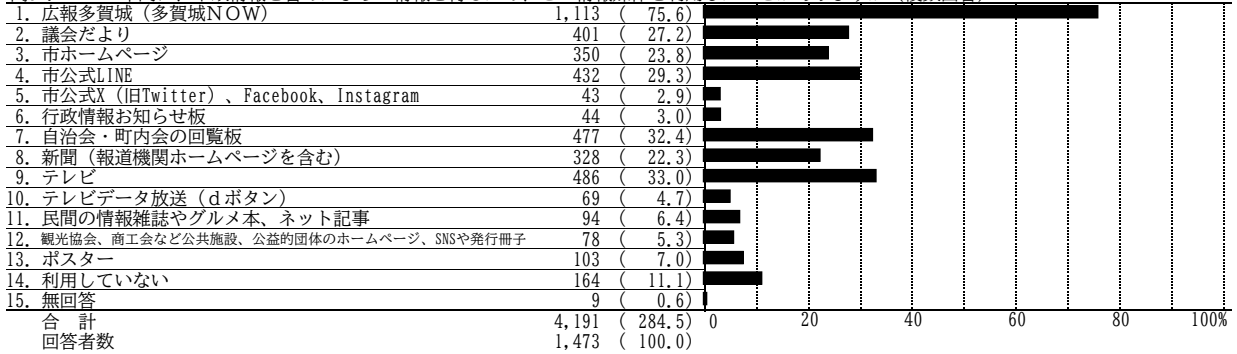
問31-2. 【問31で1～8に○をつけた方】この1年間に、どのくらいの割合で運動・スポーツをしましたか



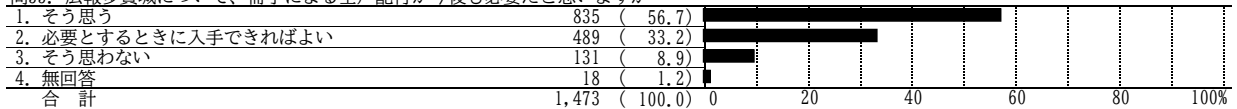
問31-3. 「問31で1～8に○をつけた方」どのような場所で運動・スポーツをしていますか（複数回答）



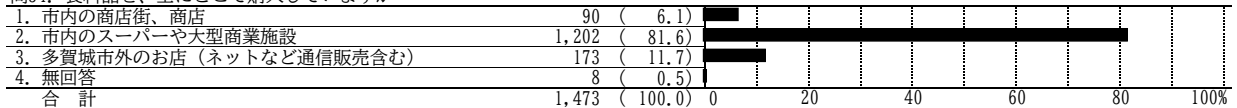
問32. この1年間に、市政情報を含めたまちの情報を得るため、どの情報媒体を利用したことがありますか（複数回答）



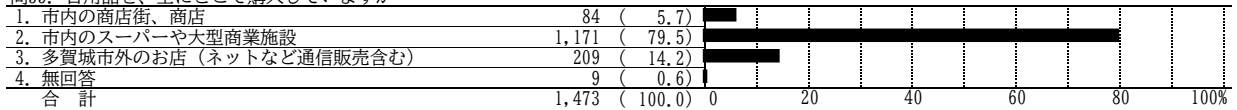
問33. 広報多賀城について、冊子による全戸配付が今後も必要だと思いますか



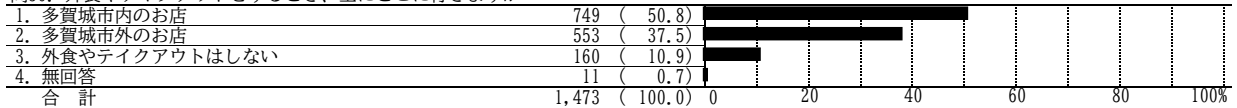
問34. 食料品を、主にどこで購入していますか



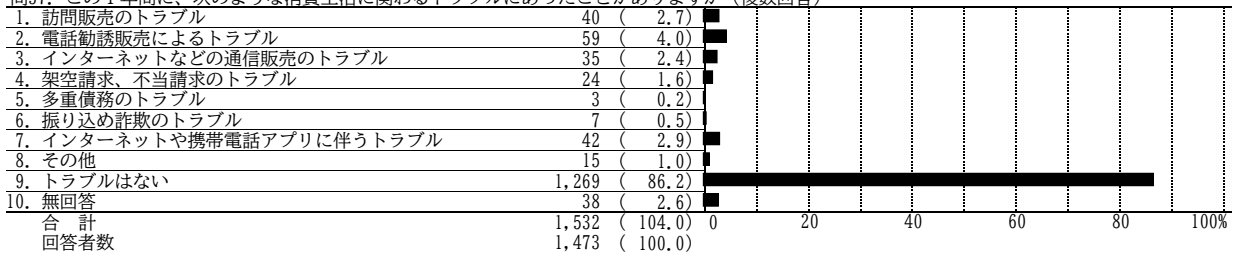
問35. 日用品を、主にどこで購入していますか



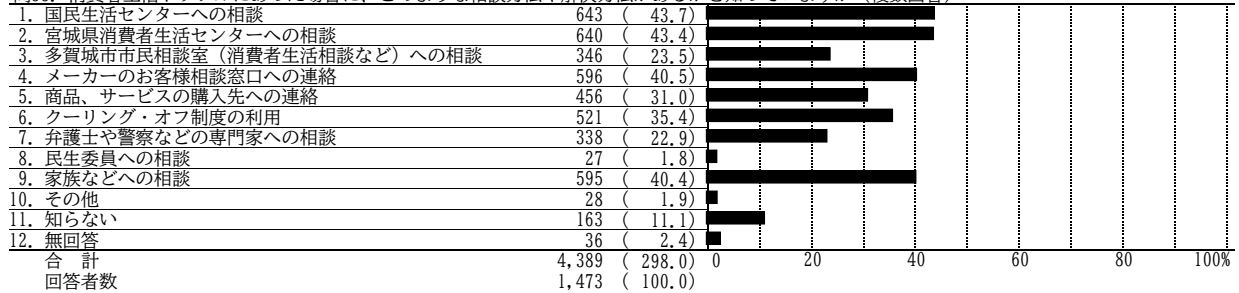
問36. 外食やテイクアウトをするとき、主にどこに行きますか



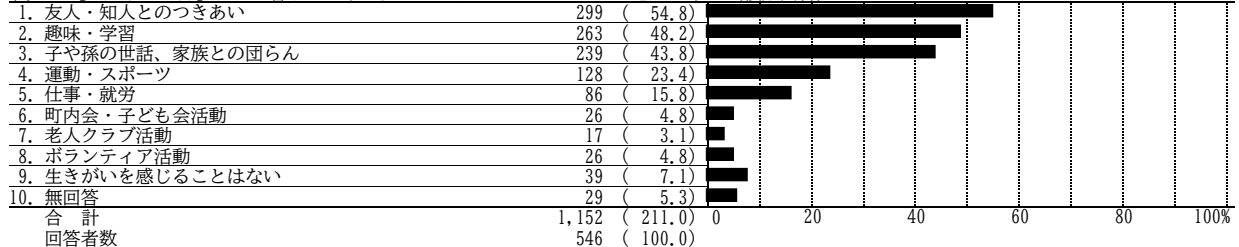
問37. この1年間に、次のような消費生活に関わるトラブルにあったことがありますか（複数回答）



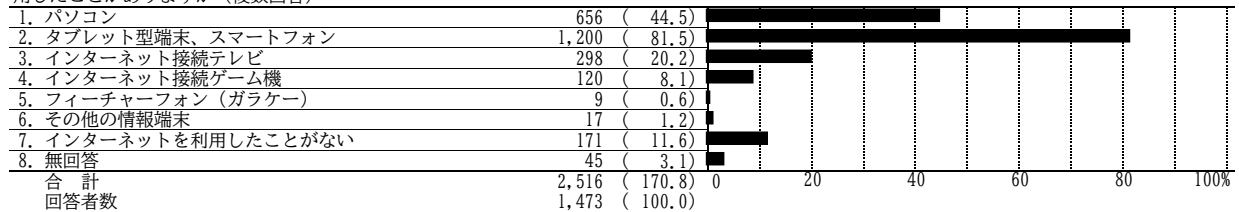
問38. 消費者生活トラブルにあった場合に、どのような相談方法や解決方法があるかを知っていますか（複数回答）



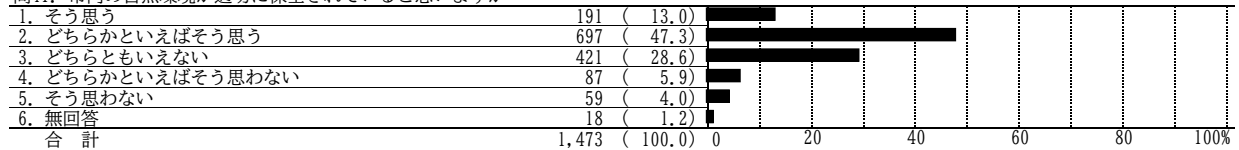
問39. [65歳以上の方] 日々の暮らしの中で、どのようなことに生きがいを感じますか（複数回答）



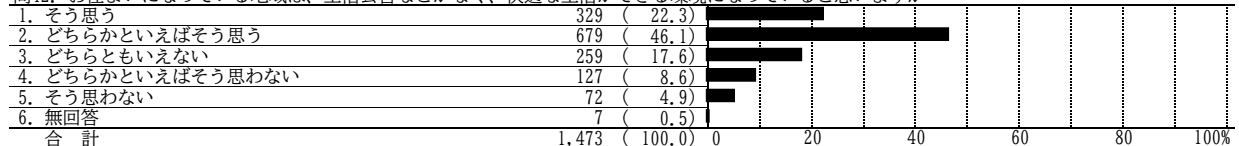
問40. この1年間に、インターネットの利用（電子メールの送受信、ホームページの閲覧、LINEなどSNSの利用など）に当たって、どの情報媒体を利用したことがありますか（複数回答）



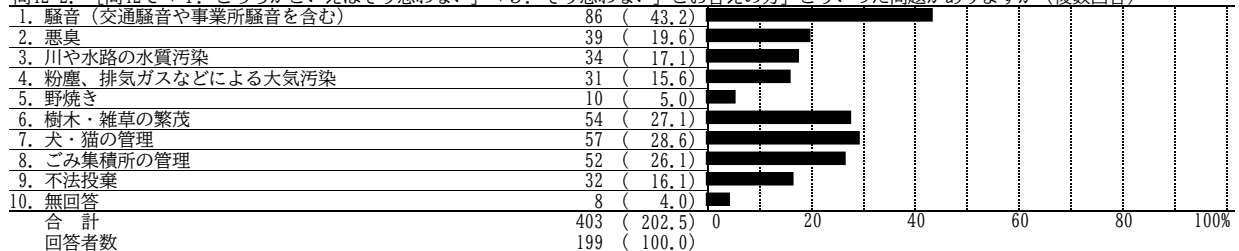
問41. 市内の自然環境が適切に保全されていると思いますか



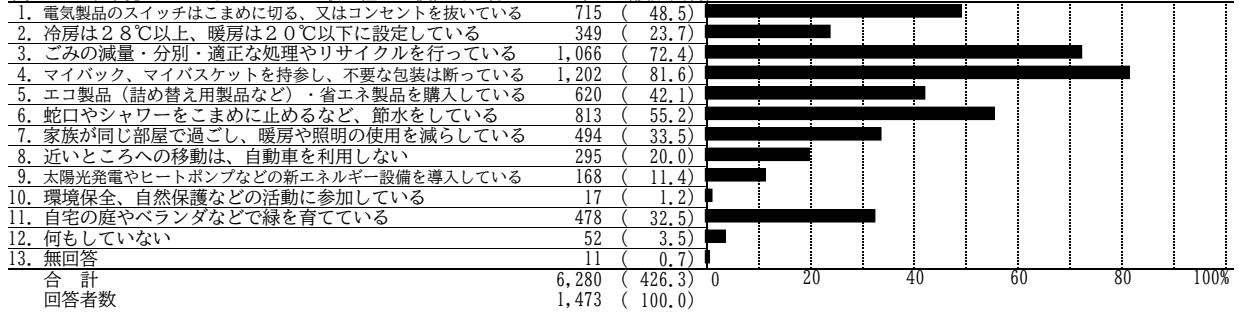
問42. お住まいになっている地域は、生活公害などがなく、快適な生活ができる環境になっていると思いますか



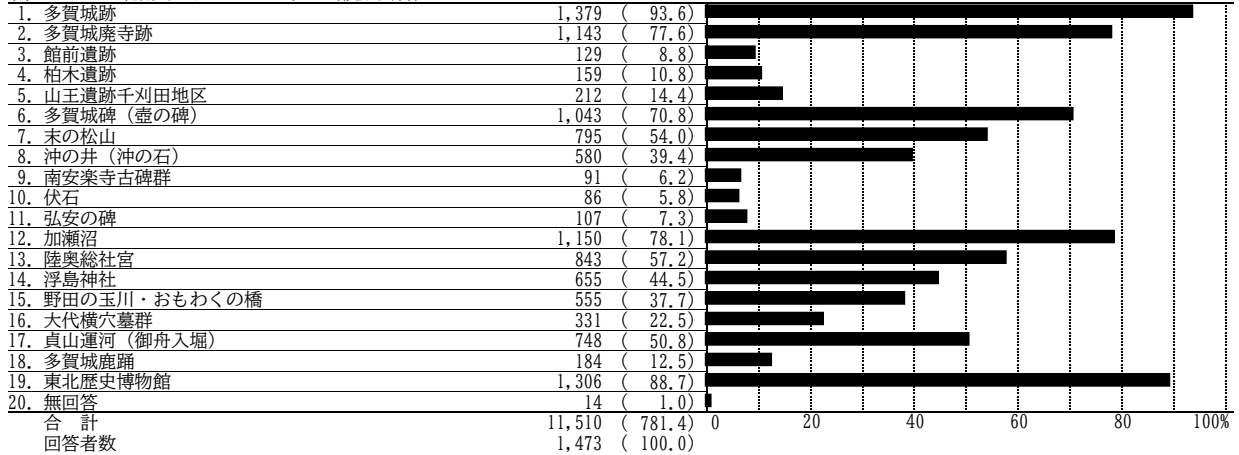
問42-2. [問42で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」とお答えの方] どういった問題がありますか（複数回答）



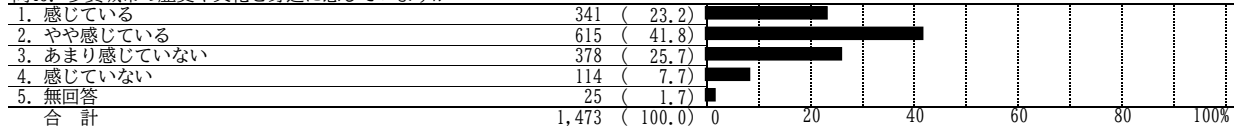
問43. 地球環境のために、どのような取り組みを積極的に行っていますか（複数回答）



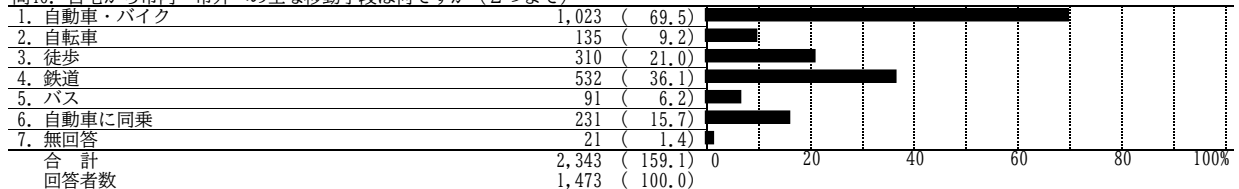
問44. 次の文化財等を知っていますか（複数回答）



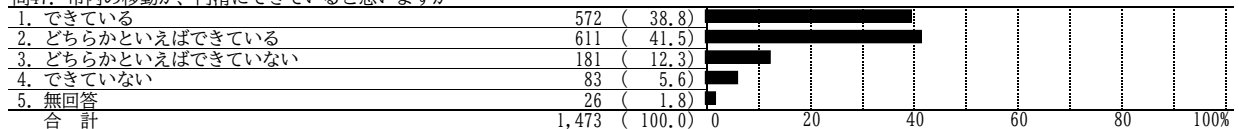
問45. 多賀城市の歴史や文化を身近に感じていますか



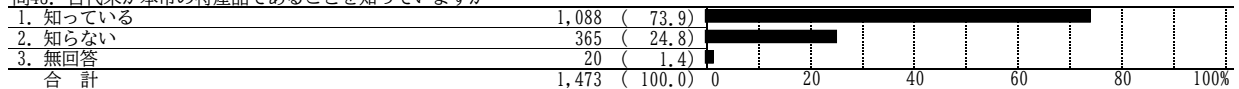
問46. 自宅から市内・市外への主な移動手段は何ですか（2つまで）



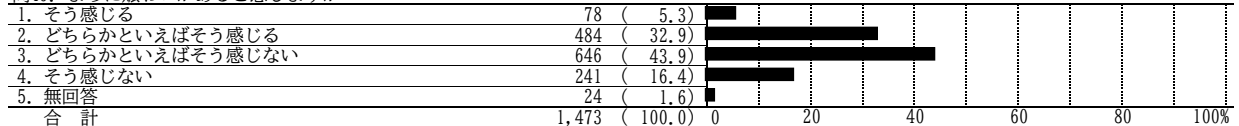
問47. 市内の移動が、円滑にできていると思いますか



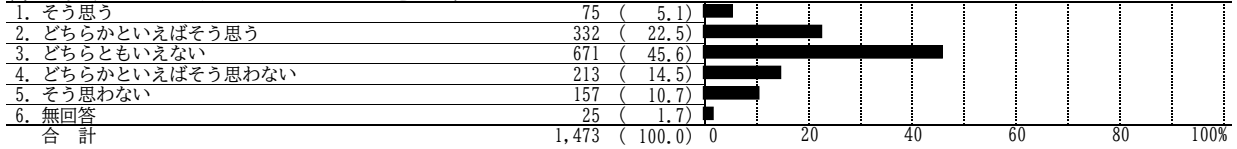
問48. 古代米が本市の特産品であることを知っていますか



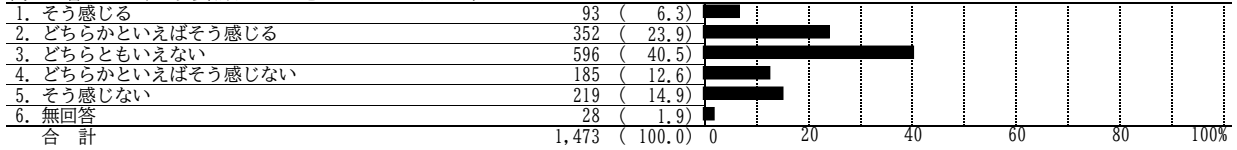
問49. まちに賑わいがあると感じますか



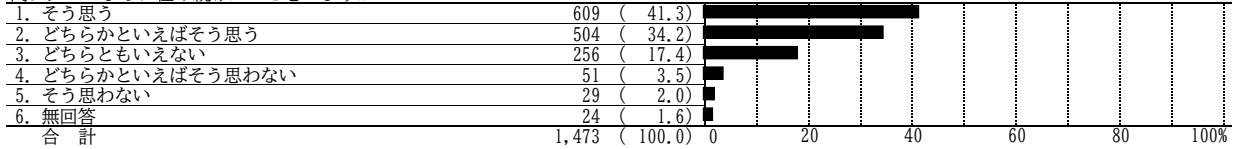
問50. 多くのことにチャレンジできるまちだと思いますか



問51. 暮らしの中で多賀城らしさを感じることがありますか

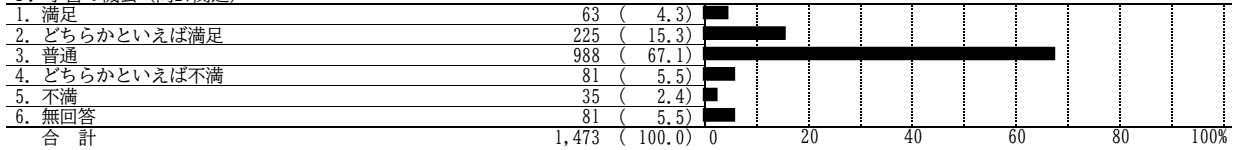


問52. このまちに住み続けたいと思いますか



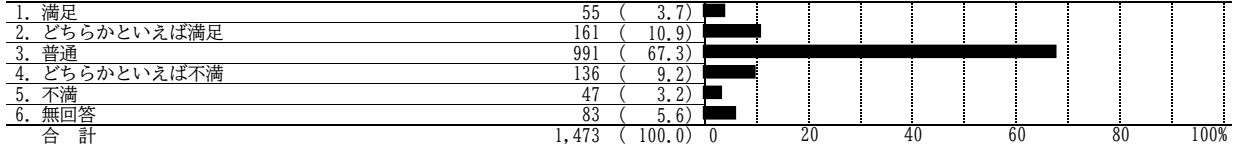
問53. 現在の満足度

1. 学習の機会（問27関連）



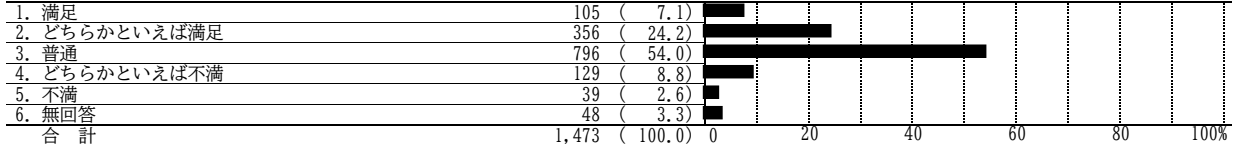
問53. 現在の満足度

2. 運動・スポーツを行う機会（スポーツイベントや教室など。問31関連）



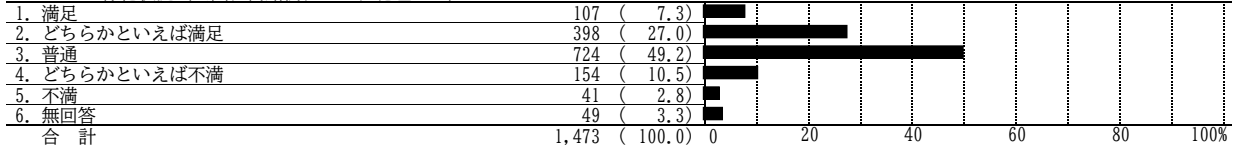
問53. 現在の満足度

3. まちなみの景観



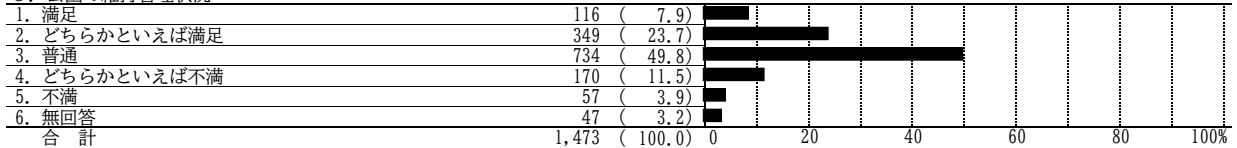
問53. 現在の満足度

4. まちの緑化状況（公園、街路樹、生垣、花壇など）



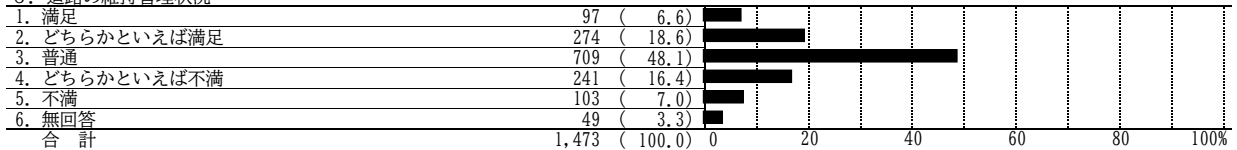
問53. 現在の満足度

5. 公園の維持管理状況



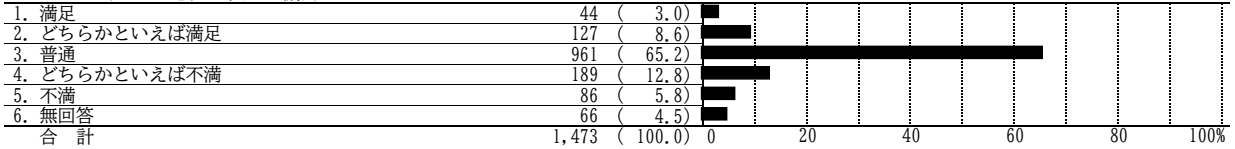
問53. 現在の満足度

6. 道路の維持管理状況



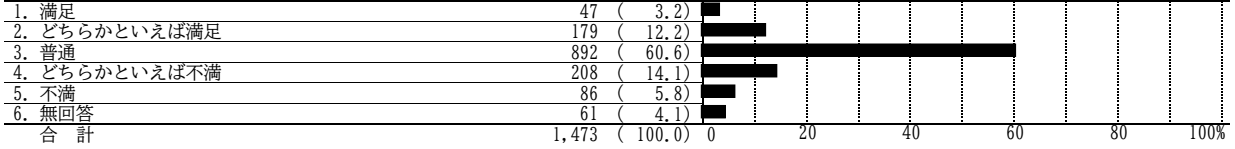
問53. 現在の満足度

7. まちづくりへの意見を伝える機会



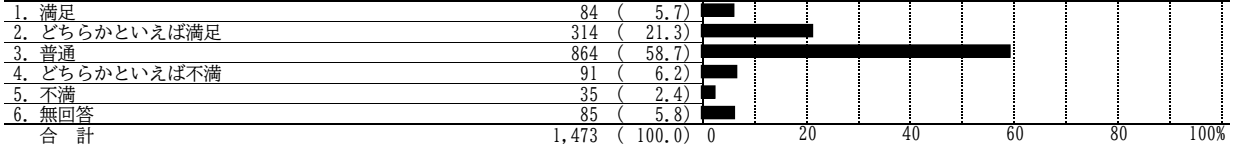
問53. 現在の満足度

8. 市民の理解と信頼に応える行政経営



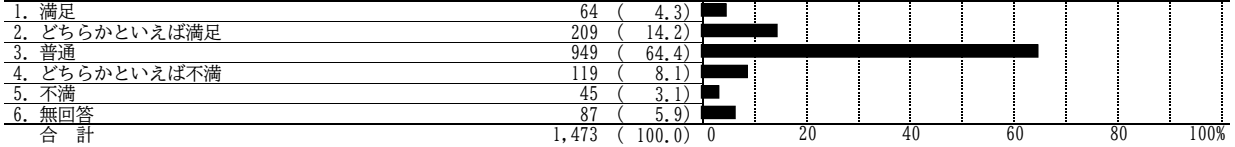
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



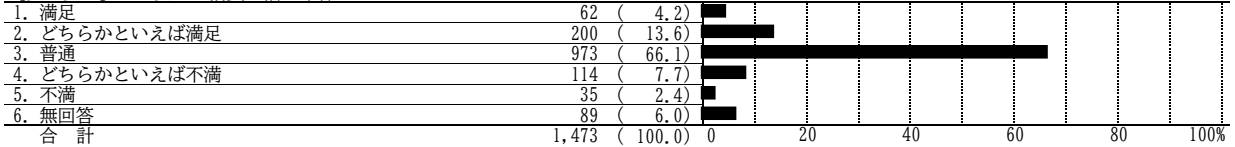
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



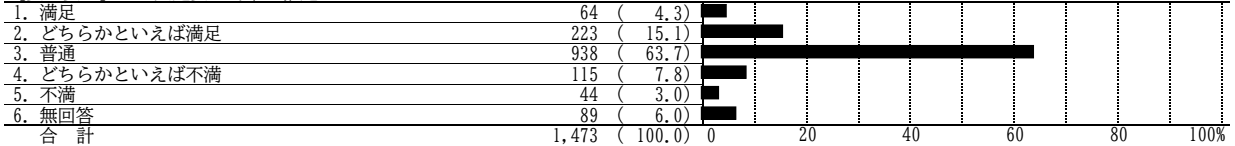
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



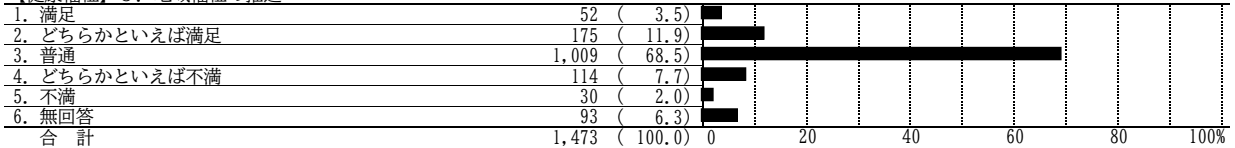
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



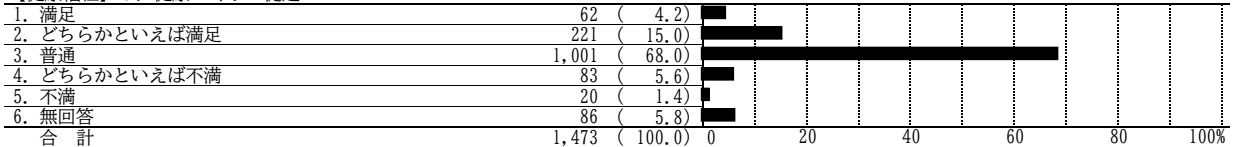
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

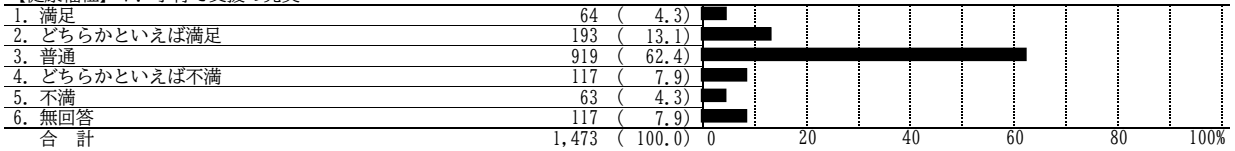
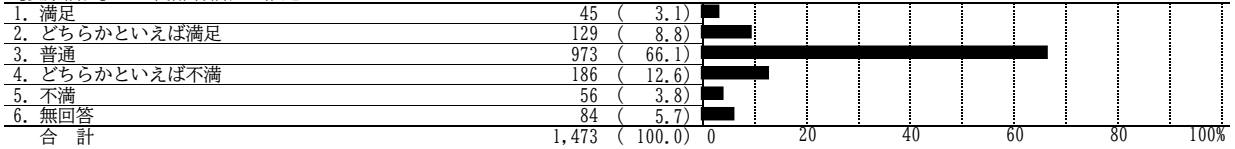
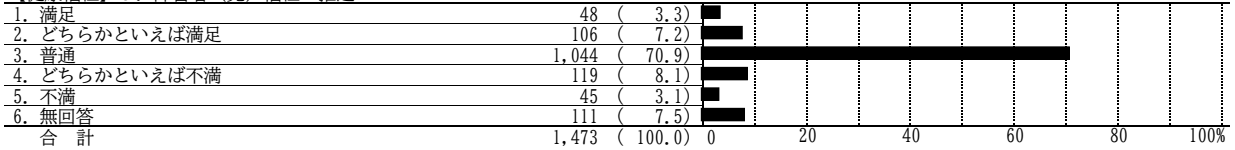
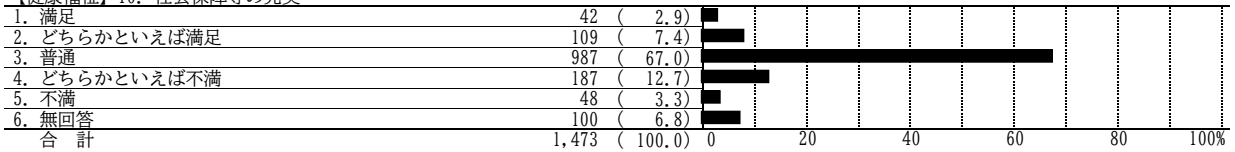
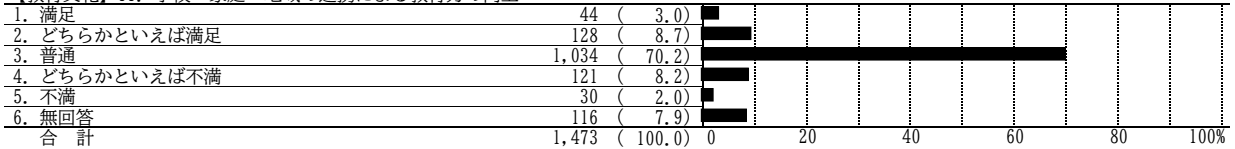
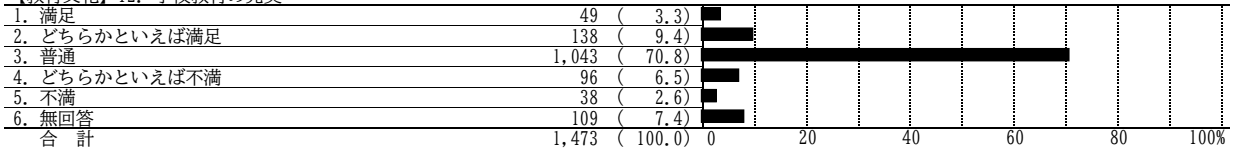
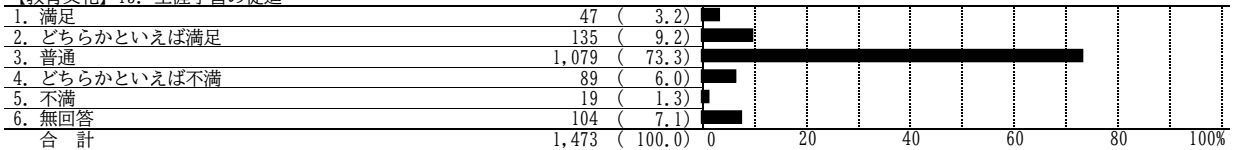
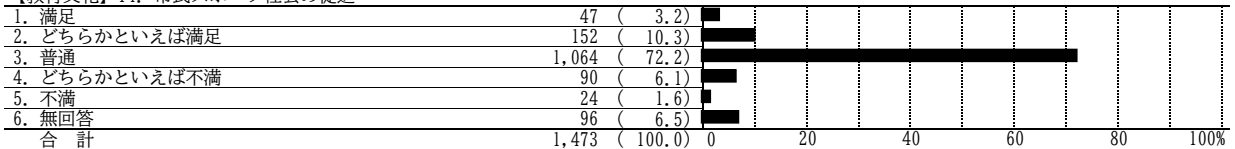
【健康福祉】5. 地域福祉の推進

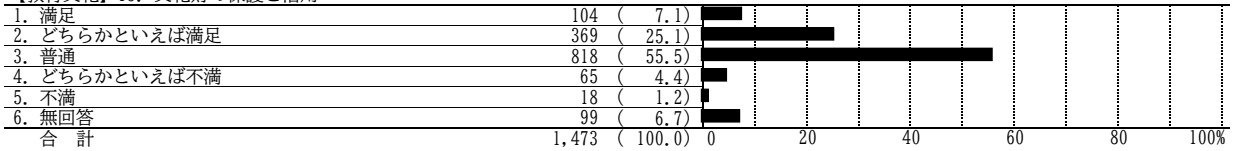


問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進

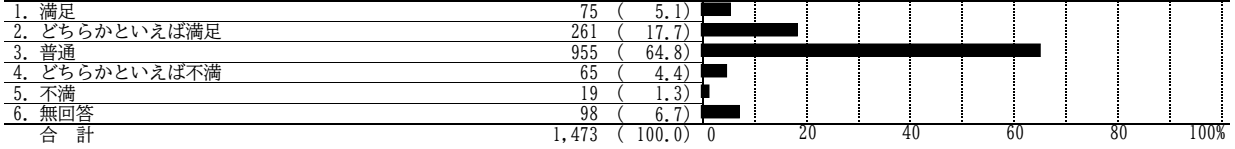


問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】7. 子育て支援の充実問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】9. 障害者(児)福祉の推進問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】10. 社会保障等の充実問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】12. 学校教育の充実問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】13. 生涯学習の促進問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進

問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】15. 文化財の保護と活用

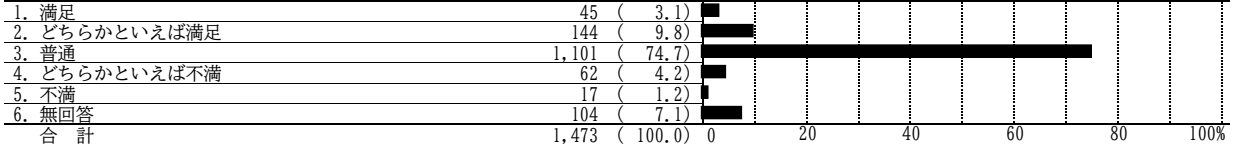
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



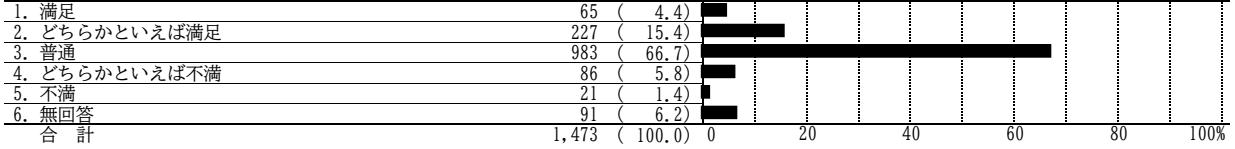
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



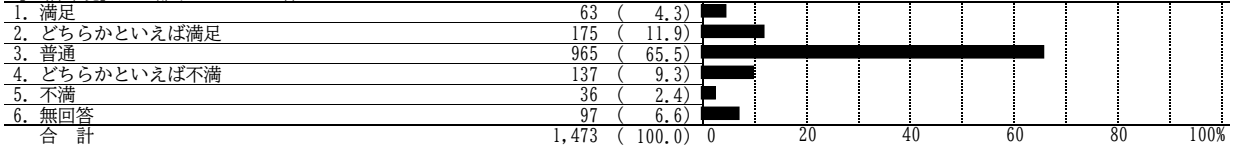
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



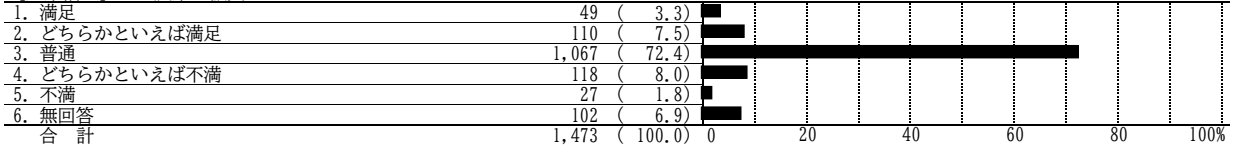
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



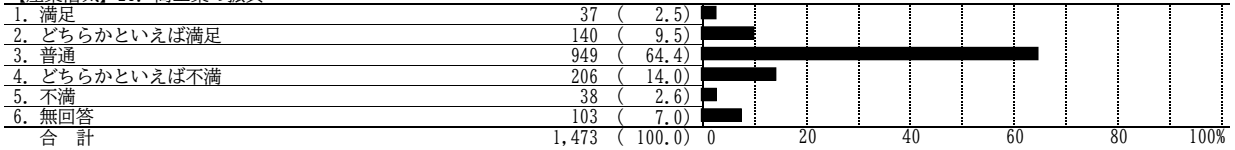
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】20. 農業の振興



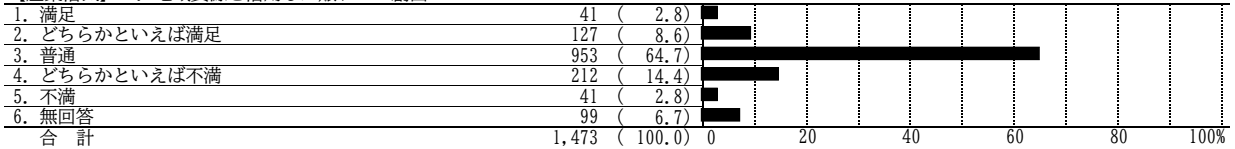
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】21. 商工業の振興



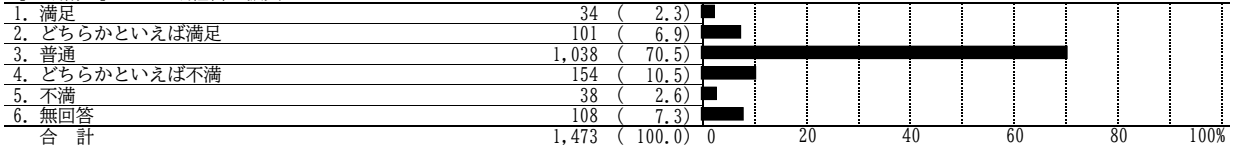
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



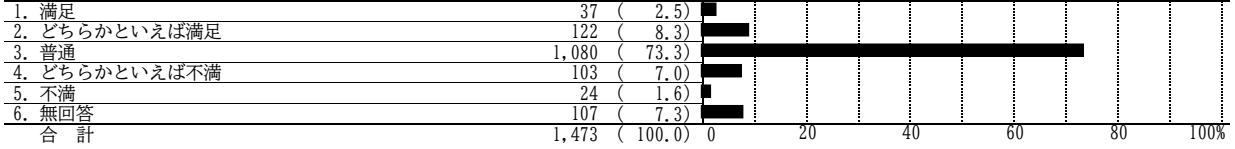
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



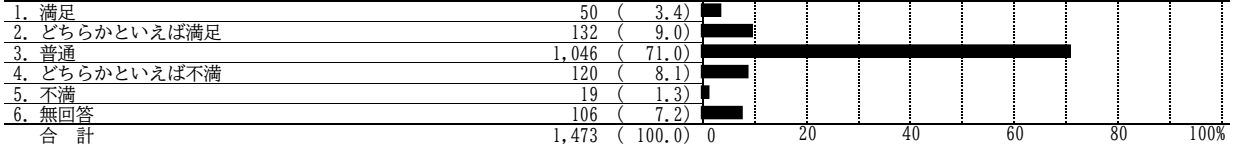
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



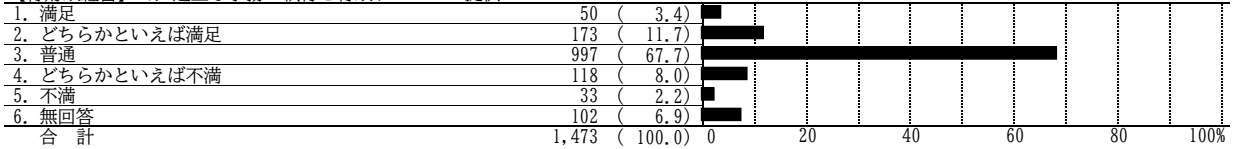
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



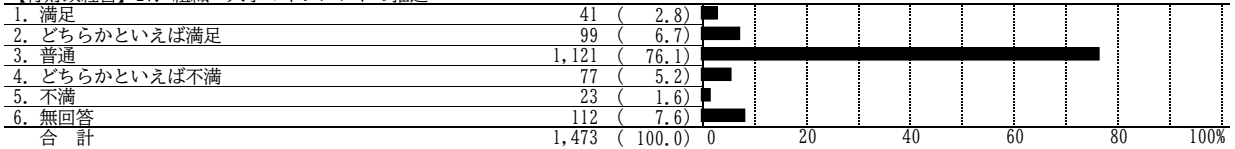
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



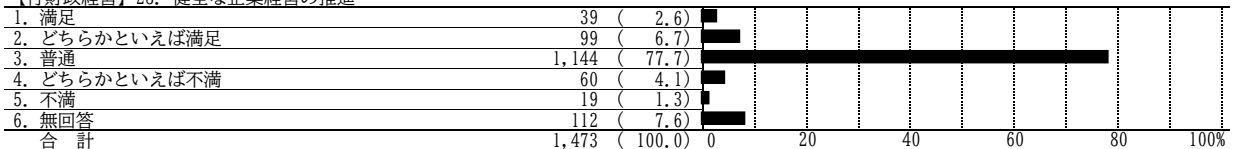
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



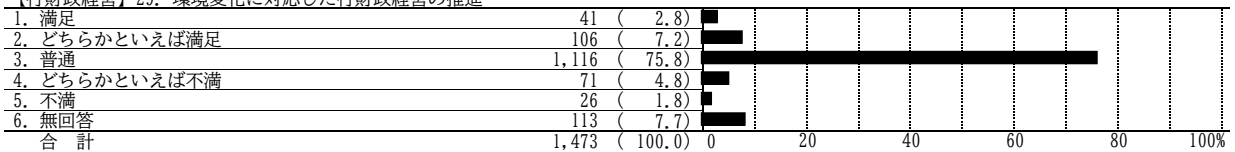
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進



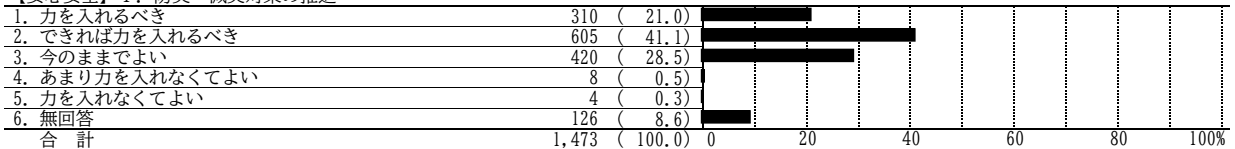
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



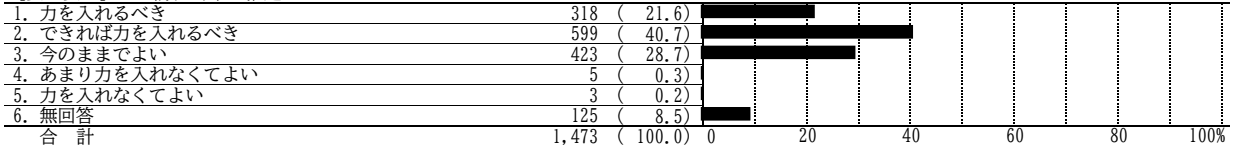
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



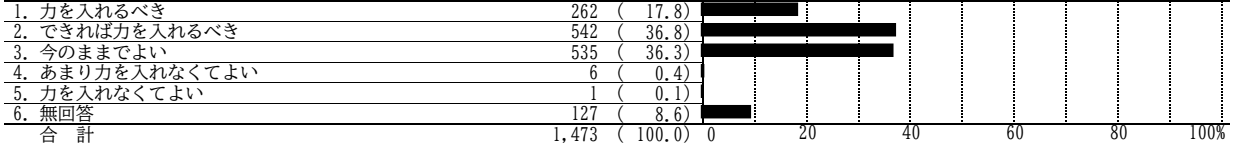
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



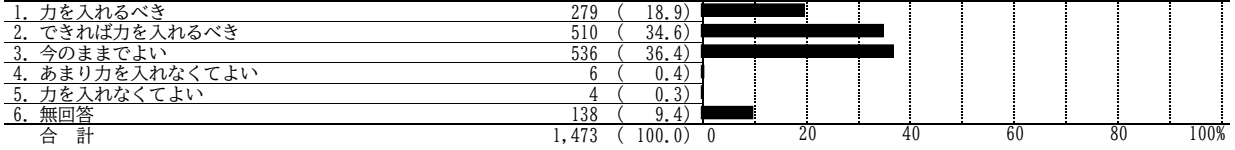
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



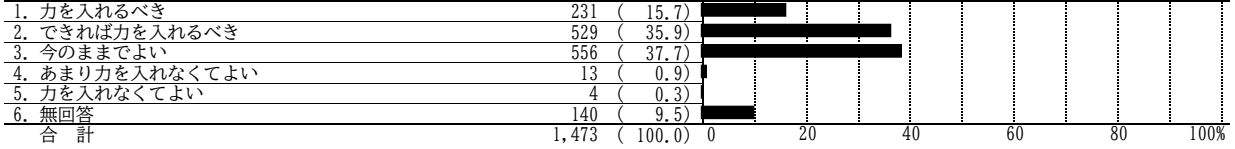
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



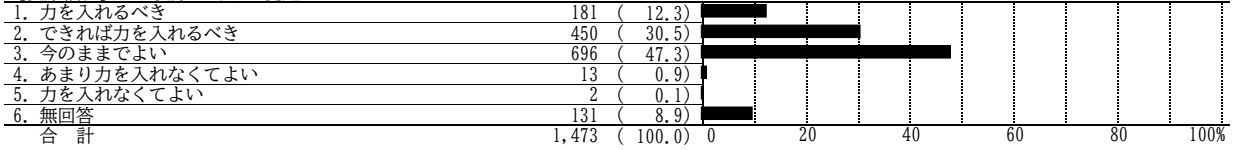
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



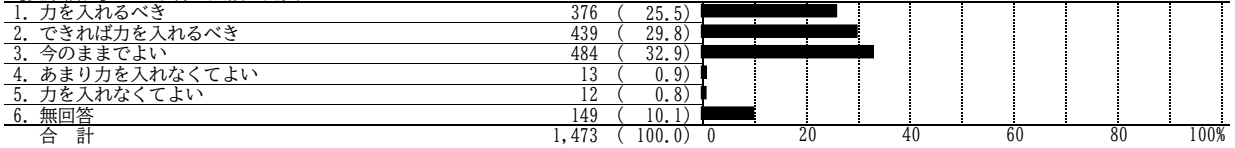
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



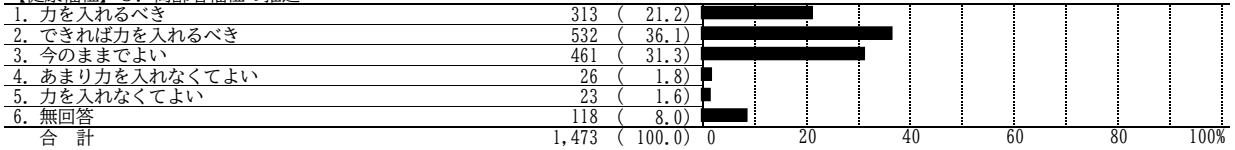
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



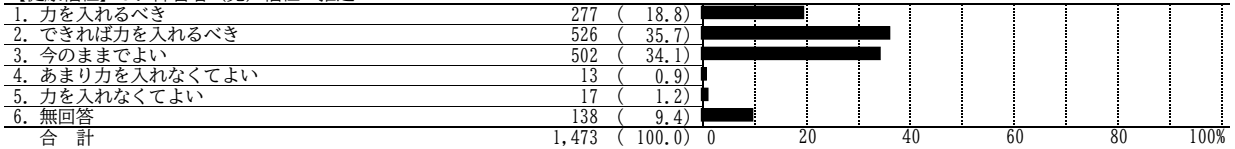
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



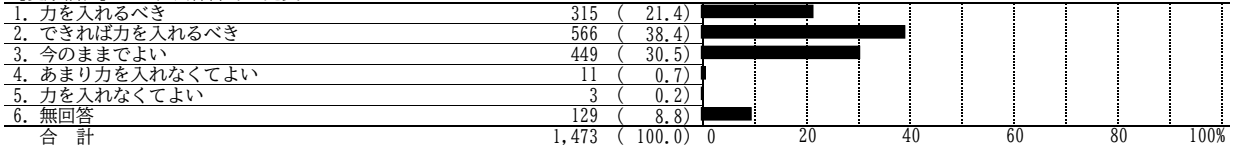
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】9. 障害者（児）福祉の推進



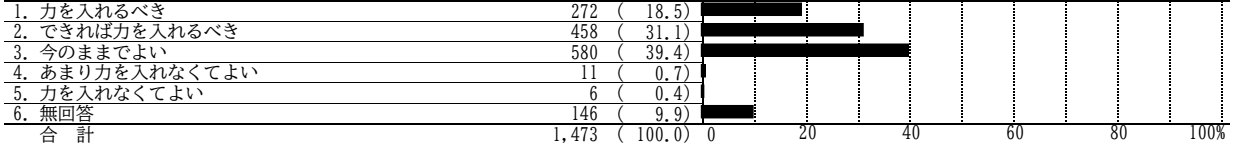
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



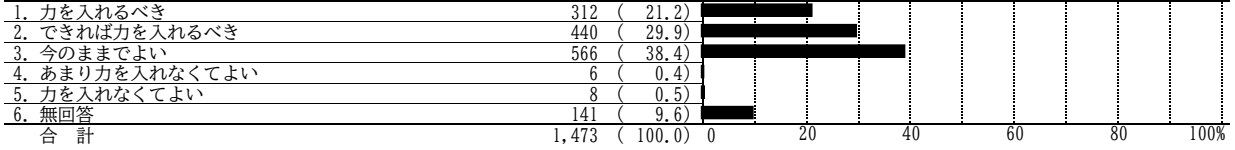
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



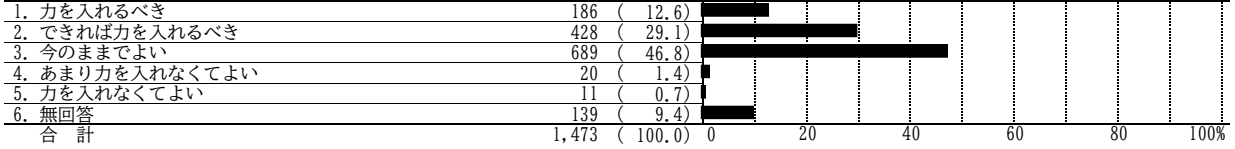
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



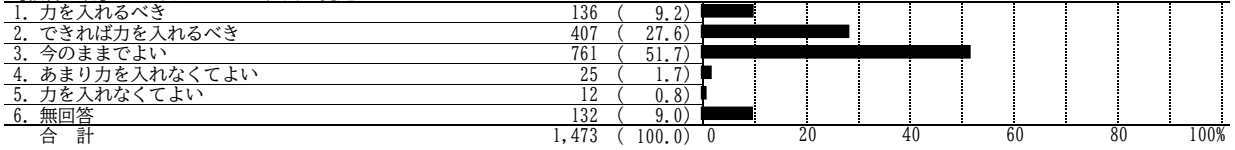
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



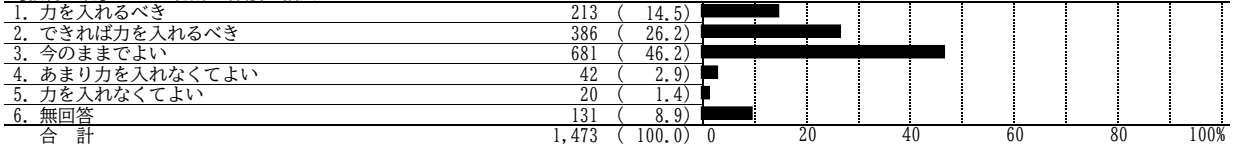
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



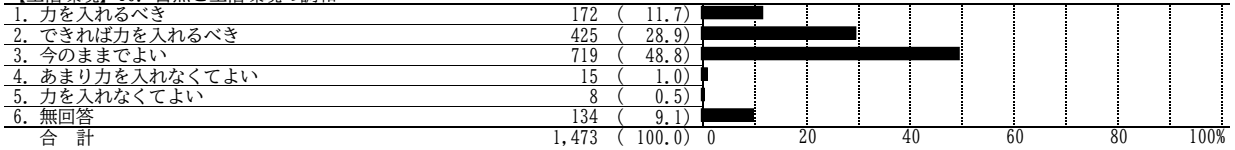
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



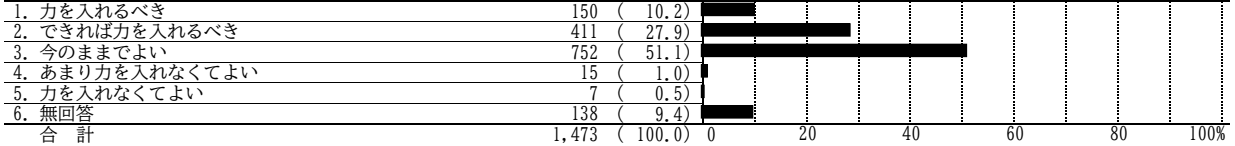
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



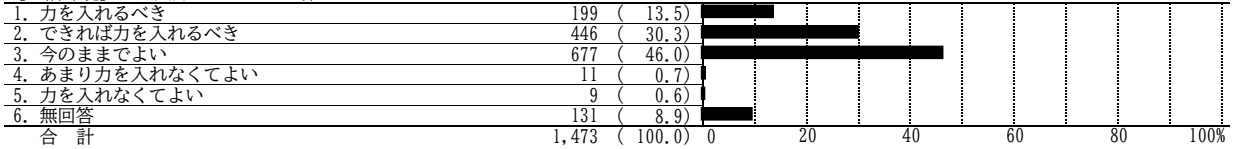
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



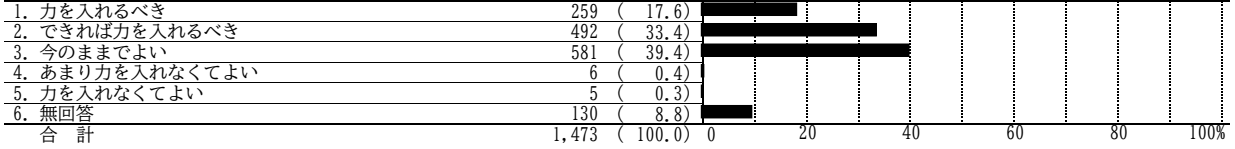
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



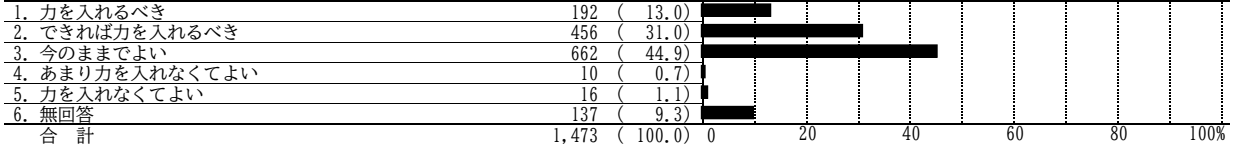
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



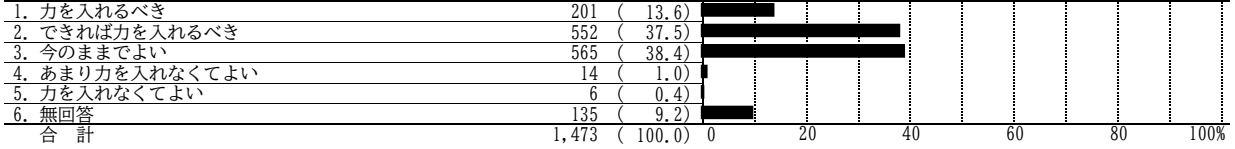
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】20. 農業の振興



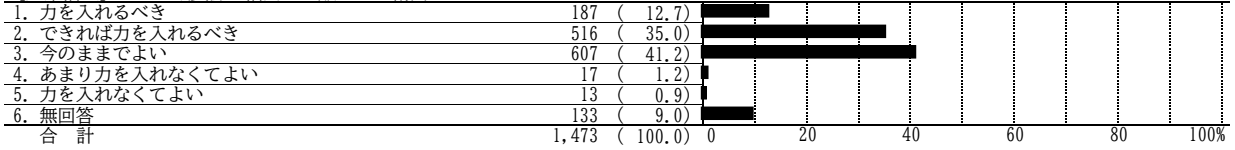
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】21. 商工業の振興



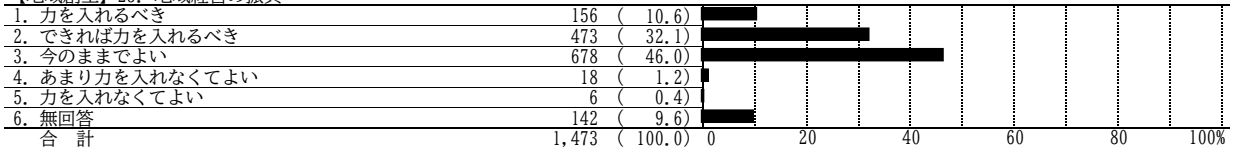
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



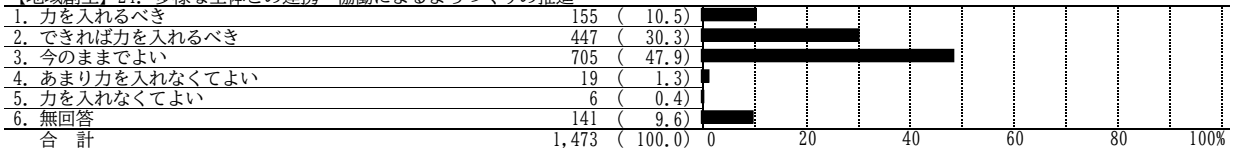
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



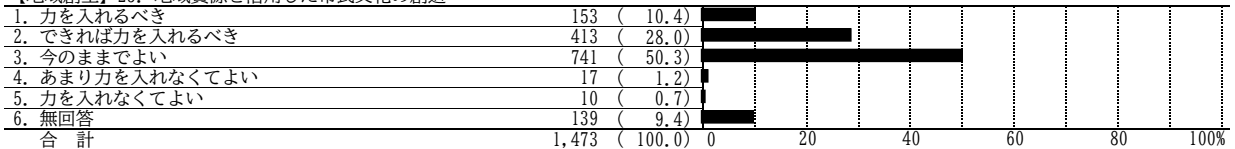
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



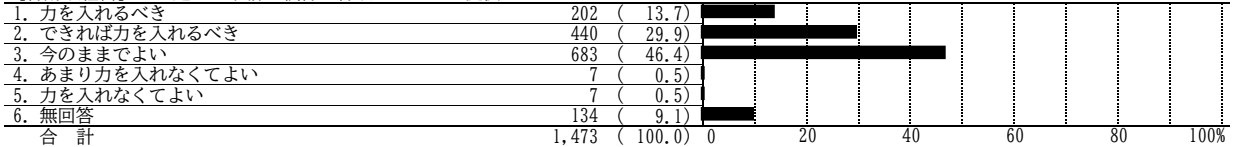
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



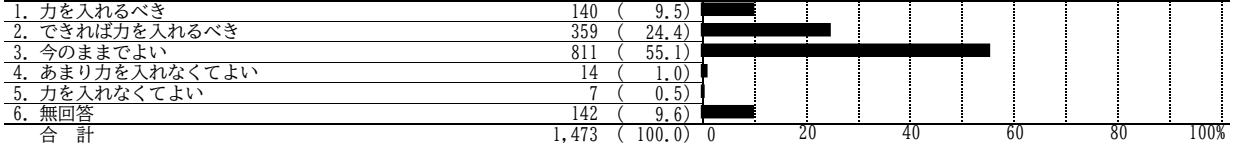
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



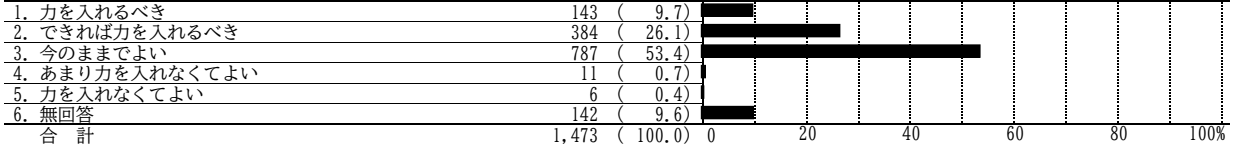
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



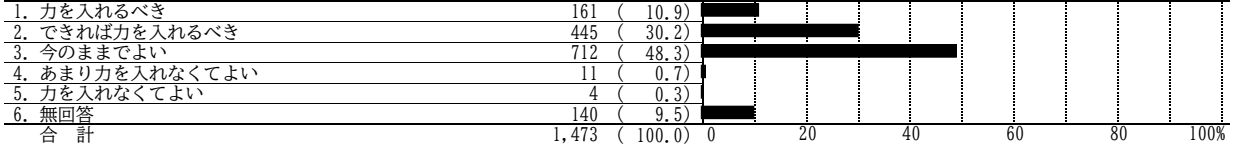
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進

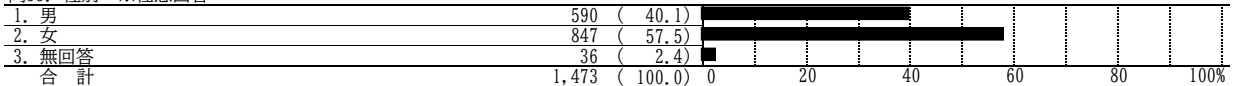


問54. まちづくりについて「今後の重要度」

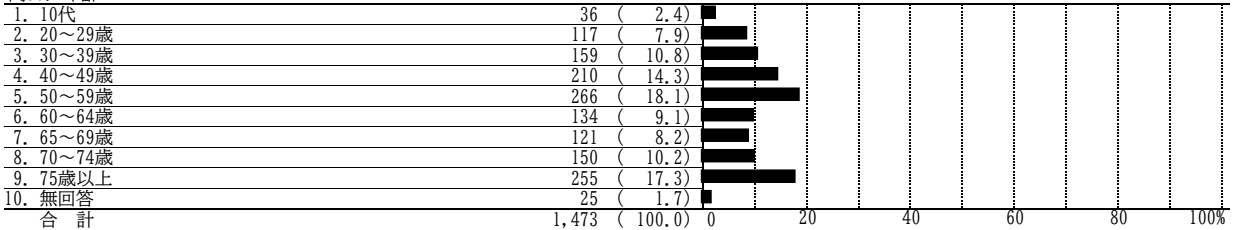
【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



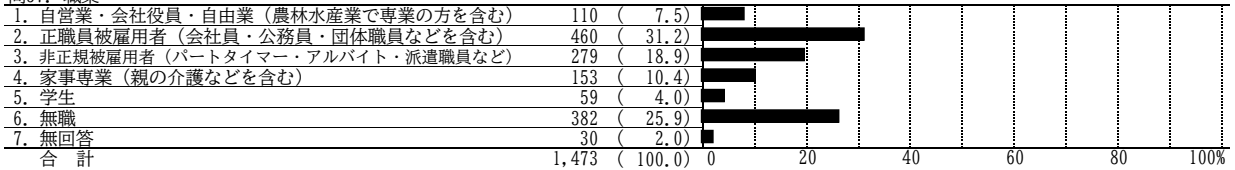
問55. 性別 ※任意回答



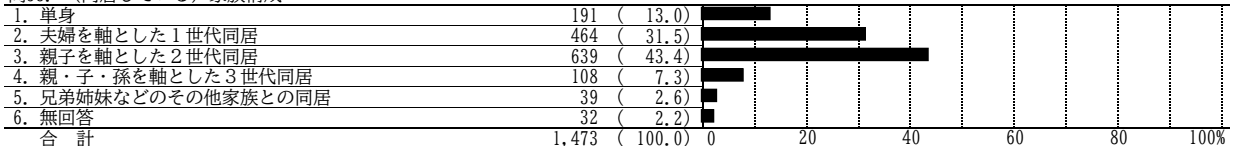
問56. 年齢



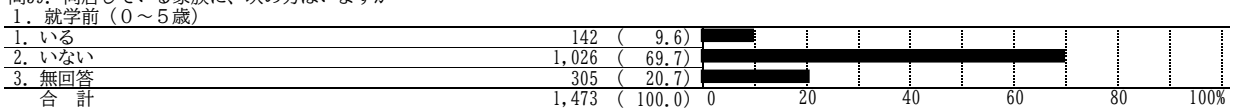
問57. 職業



問58. （同居している）家族構成

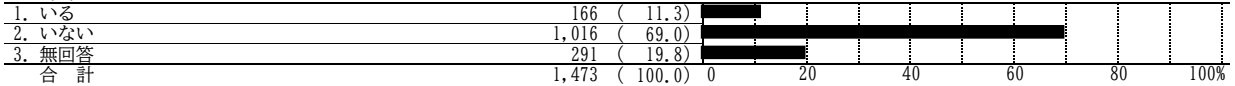


問59. 同居している家族に、次の方はいますか



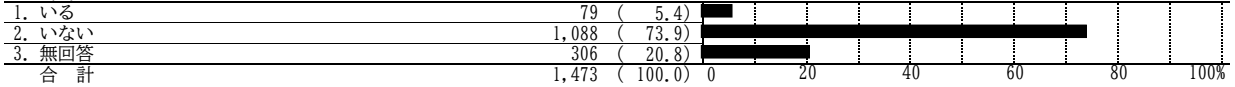
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

2. 小学生



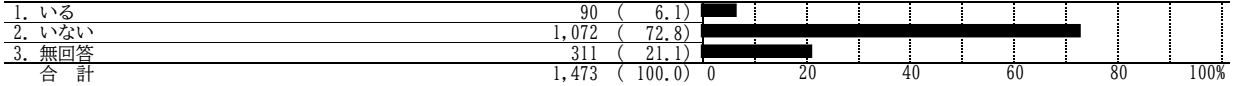
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

3. 中学生



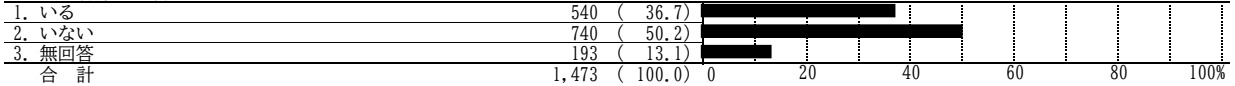
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

4. 高校生



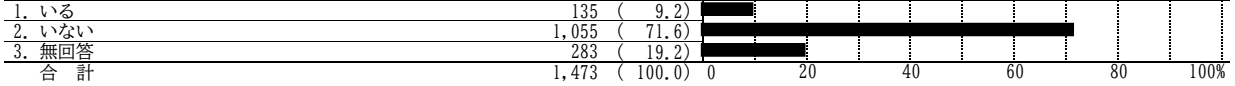
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

5. 65歳以上の方

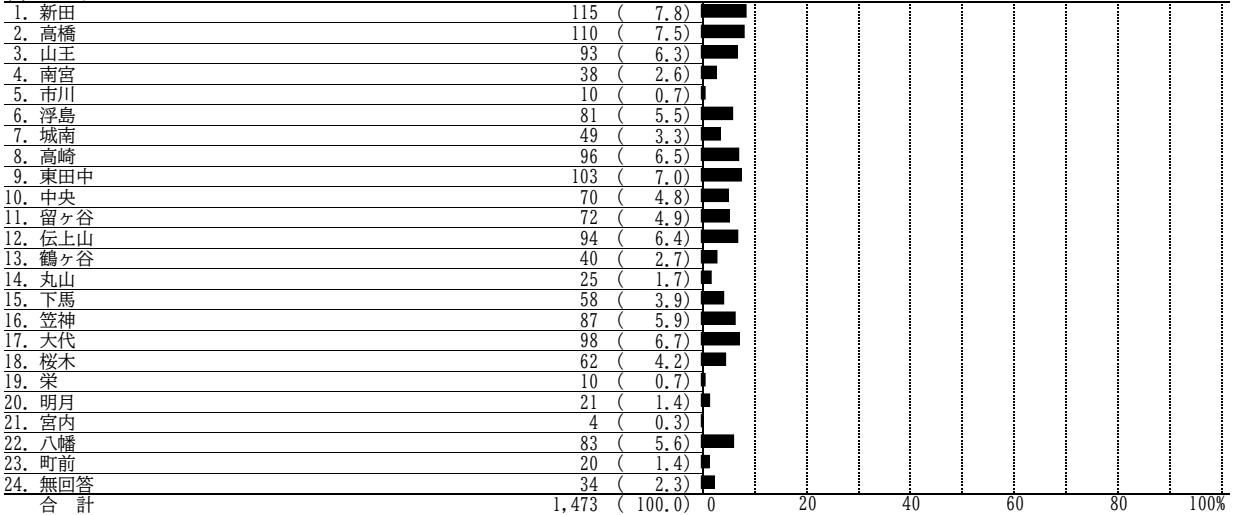


問59. 同居している家族に、次の方はいますか

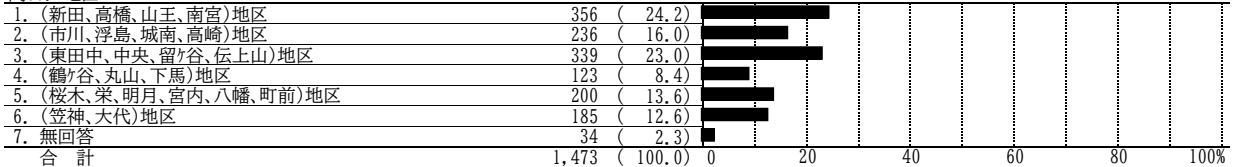
6. 障害のある方



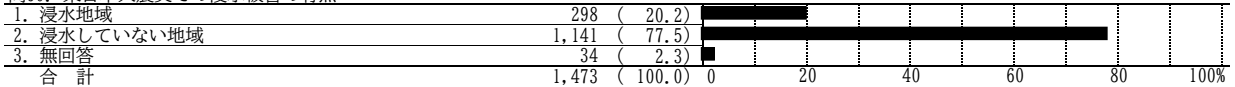
問60. 地区



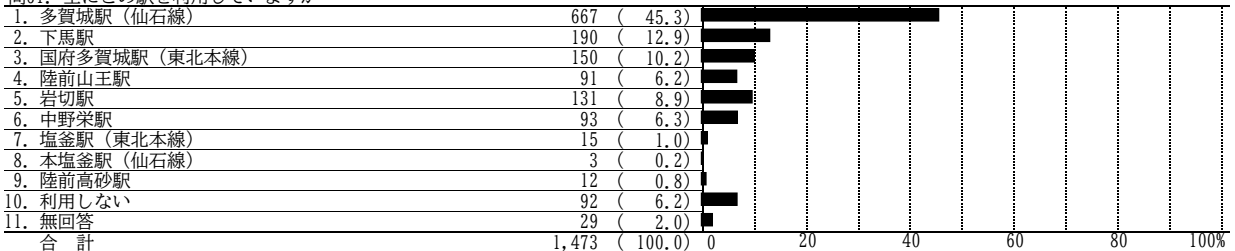
問60. 地区



問60. 東日本大震災での浸水被害の有無



問61. 主にどの駅を利用していますか



調査方法

